- 4	事業	. 名	臨海部防災	区域におけ	る地盤高情	報抗	是供	130	会計	一般会計 住宅都市費		01 07	
i	部	門	災害の防止					210 3		住宅費		02	
7	施	策	市民ととも	に築く地域	の安全			1	目	建築審査費	7	07	
	作成i	部署	住宅都市局			11	01	26 選	絡先	972 - 2	9 3 5	I	
事			対象(誰を	・何を)							にしたいのか	N)	
業	臨海	部で建	築物を建設		·			也盤高	さを浿	定するにはた	水準点等から	の測量が必要	
の目											こ建築地盤高	を把握できる	
的						J.	り敷は	也付近	の電柱	に高さの表え	示をします。		
	昭	3和34年	9月の伊勢湾	弯台風の惨袖	骨を教訓とし	して	、今	·後こ(りよう	な被害を被	らないよう.	、高潮対策	
事											定し第1種区	•	
** ては居室を有する建築物等の建築禁止、その他の区域については建築物の1階の高さを規定が、建築規制・誘導を図っています。													
の と、建築規制・誘導を図っています。 規制区域内で建築する建築主に地盤高の情報を提供するため、区域内の電柱に名古屋港													
内内 規制区域内で建築する建築主に地盤高の情報を提供するため、区域内の電柱に名古屋港 らの高さを表示しています。電柱の移設により欠落した地盤高表示を復旧するとともに、													
開	始	年 度	昭和 37	年度 根拠	処法令・要約	岡等	建築基	表準法第 3	9条の規	見定により「名古屋	市災害危険区域に関]する条例」を制定	
事	業費	・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	計	画	名古屋	新世	紀計画2010第	2次実施計画	無 頁	
事第	美費	(千円)	3, 885	3, 780	4, 100	捤	載	個別計	画			頁	
財	国•!	県支出金				事	業(の実績	単位	16年度	17年度	目標18年度	
源	地	 方 債					抽締	と高表を	Ė.				
						1		a同収/ O更正	箇所	571	561	596	
1			0.005	9.700	4 100		7111						
訳		り 財 源 () 、	,		ŕ	2							
	目叙	(人)	0.2	0. 2	0.2								
明以		- 1114 - 0 - 11	# a # m #	10.1 7 11 1 T	16 (# En	Ψ,	<u></u> .			405-	475-		
		業の目	的の成果を		指標設				単位	16年度	17年度	目標18年度	
成	事) t	注:3年間で	一度	E、電	柱表示		1 10 2		目標18年度	
成	事		のの成果を示電柱の誤) t	注:3年間で高さを測定しの修正をおこ	デー度 、 な い な い	E、電 全認及 い、建	柱表示 び表示 築主等		571	17年度 561		
	事) t	注:3年間で 高さを測定し の修正をおこ に対し、正確	一人なり	E、電 室認及 い、建 別量情	柱表示 び表示 築主等		571		目標 18年度 580	
成	事) t	注:3年間で高さを測定しの修正をおこ	一人なり	E、電 室認及 い、建 別量情	柱表示 び表示 築主等		571	561		
成	事) t	注:3年間で 高さを測定し の修正をおこ に対し、正確	一人なり	E、電 室認及 い、建 別量情	柱表示 び表示 築主等		571	561		
成果	1) t	注:3年間で 高さを測定し の修正をおこ に対し、正確	一人なり	E、電 室認及 い、建 別量情	柱表示 び表示 築主等		571	561		
成果	事) t	注:3年間で 高さを測定し の修正をおこ に対し、正確	一人なり	E、電 室認及 い、建 別量情	柱表示 び表示 築主等		571	561		
成果指	1) t	注:3年間で 高さを測定し の修正をおこ に対し、正確	一人なり	E、電 室認及 い、建 別量情	柱表示 び表示 築主等		571 目標 ()	561 標 ()		
成果指	1			差の解消	注:3年間で 高さを測定し の修正をおこ に対し、正確	一度確しな はま	でである。 では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	柱表示 び表示 数主等 報とし	箇所	571 目標 () 目標 ()	561 標 ()		
成果指標	事 ① ②	高さ表 【	示電柱の誤	差の解消] 事業開始	注:3年間で 高さを測定し の修正をおこ に対し、正 て提供してい 時からの状	一 、ななき になっ になっ	で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	柱表示 び表示 は築主等 報とし	箇所	571 目標 () 目標 () 文善点等	561 標 ()	580	
成果指標	(1) (2) (2) (2)	高さ表	示電柱の誤 素例施行後、	差の解消 	注:3年間で 高さを正をおこ の修正をを正な に対し、 て提供してい 時からの状 這柱 に地盤高	で、ななき 一、ななき	で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	社表示は独主等としています。	業の 記	571 目標 () 対善点等 平ごとに地想	561 標 ()	580 580	
成果指標	事 ① ② ②	高さ表 [示電柱の誤 素例施行後、	差の解消 事業開始 国域内 の電	注:3年間で 高さを正をおこ の修正をを正な に対し、 て提供してい 時からの状 這柱 に地盤高	で、ななき 一、ななき	で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	社表示は独主等としています。	業の 記	571 目標 () 対善点等 平ごとに地想	561 目標 () B 標 ()	580 580	
成果指標	事 ① ② ②	高さ表 [示電柱の誤 素例施行後、 也盤高の更正	差の解消 事業開始 国域内 の電	注:3年間で 高さを正をおこ の修正をを正な に対し、 て提供してい 時からの状 這柱 に地盤高	で、ななき 一、ななき	で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	社表示は独主等としています。	業の 記	571 目標 () 対善点等 平ごとに地想	561 目標 () B 標 ()	580 580	
成果指標	事 ① ② ②	高さ表 [示電柱の誤 素例施行後、 也盤高の更正	差の解消 事業開始 国域内 の電	注:3年間でしるを正さいでは、3年間でしてを正さいでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	で、ななき 一、ななき 況	で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	社表示は独主等としています。	業の 記	571 目標 () 対善点等 平ごとに地想	561 目標 () B 標 ()	580 580 の移設など ることのな	
成果指標 にパ	事 ① ② 忍和3 よ 対 並 み	高さ表 [示電柱の誤 ・ を関施行後、 也盤高の更正 なされつつあ	差の解消 事業開始 事 事 以 以 以 以 以 以	注:3年間でし 京年間でし 京を正し、 では では でして がらの状 に 大 に は に 地 地 は に は に 地 地 は に で に 地 地 に に も に も に も に も は に も に も は も に も は も も も は も は ま も も は も も も も も も も も も も も も も	で、ななきを にない。 ななほき	で である である である である である である である である である であ	柱表示示等しない事以上	業の 記	571 『 標 () 対善点等 平ごとに地想 高潮により	561 目標 () B 標 () B沈下や電柱 被害を受ける	580 580	
成果指標	事 ① ② 忍和3 よ 対 並 み	高さ表 [示電柱の誤 系側施行後、 也盤高のつま 対されつつま	差の解消 事業開始 事 以 「 「 「 「 「 「 「 」 「	注:3年間でして 3年間でして 3年間でして 3年間でして 4年に	でである。 一、ななさき	で表情 を超い量す 化 示報 であるまである。	柱で変数と な変数と な変数と なび、 、供 たとど、 たとで、 、 たとで、 、 たとで、 、 たとで、 、 たとで、 、 、 に 、 、 に に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に に 、 に 、 に に に に に に に に に に に に に	業 の は 送後3 ⁴ 大後3 ⁶ なより	571 目標 () 対善点等 下高潮により地域の多い地域は高いの多い地域は高い	561 目標 ()	580 580 の移設など ることのな	
成果指標 にパ	事 ① ② 紹 る 述 方	高さ表 [示電柱の誤 を例施行後、 也盤高のつき はされつつき はされる 4	差の解消 事業開始 事業開始 国話準度を のの地ののは ののは ののは ののは ののは ののは ののは	注言のにて まままで は まままで は まままで は まままで は は は は は は は	で 一、ななさ 一、ななさ 一、なななき 一、なななき 一、なななき 一、なななき 一、なななき 一、なななき 一、なななき 一、なななき 一、なななき 一、ではまではず	では、記されています。	柱び築報 なび。供 たどをめ、 中さし後	業 の 3 名 り	571 目標 () 対善点等 下高潮により地域の多い地域は高いの多い地域は高い	561 目標 () と沈下や電柱 被害を受ける の電柱にNP(名古 密度で、工場な	580 580 の移設など ることのな	
成果指標 にい 評	事 ① ② 和357 有達	高さ表 [示電柱の誤え を関施行後、 地盤されつつま はされつつま	差の解消 事業開始 事業開始 国話準度を のの地ののは ののは ののは ののは ののは ののは ののは	注:3年間でして 3年別を 1年間でして 3年別を 1年間でして 1年間でして 1年間でして 1年間でして 1年間でして 1年間でして 1年間でして 1年間でして 1年間では 1年間できる 1年間できる 1年間できる 1年間できる 1年間できる 1年間では 1年間できる 1年間できる 1年間では 1年間できる 1年間では	で 一、ななさ 一、ななさ 一、なななき 一、なななき 一、なななき 一、なななき 一、なななき 一、なななき 一、なななき 一、なななき 一、なななき 一、ではまではず	では、記されています。	柱び築報 なび。供 たどをめ、 中さし後	業 の 3 名 り	571 目標 () 文善点等 () 文善点等 下。潮により地域のの多い地域は高い。。。	561 目標 () と沈下や電柱 被害を受ける の電柱にNP(名古 密度で、工場な	580 580 の移設など ることのな 総合評価	
成果指標 にパ	事 ① ② 四 3 5 7 7 章	高 高 高 高 元 元 元 元 元 の の の の の の の の の の の の の	示電柱の誤え を関施行後、 地盤されつつま はされつつま	差の解消 事業開始に 事業 開始に	注言のにて	でいた。	では、現でである。 では、現でである。 では、現でである。 では、現でである。 では、現でである。 では、現でである。 では、現でである。 では、現でである。 では、現でである。 では、現でである。 では、またでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでも	柱び築報 び し提 めいまである 大きをめい 本さし後あ 中さし後あ 中さし後あ	業 の 3 名 り	571 目標 () 文善点等 () 文善点等 下。潮により地域のの多い地域は高い。。。	561 目標 () と沈下や電柱 被害を受ける の電柱にNP(名古 密度で、工場な	580 580 の移設など ることのな 総合評価	
成果指標	事 ① ② ② 和る並 有達効	高 [7年地が	示電柱の誤え を関応である。 を関節である。 を関節である。 はされつつも、 はされつつも、 はされっても、 はされっても、 はされっても、 はされっても、 はされっても、 はされっても、 はされっても、 はされっても、 はなれるななななななななななななななななななななななななななななななななななな	差の解消 事業開始電話 区をります。 「国際では、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	注:3年でしています。 おいま は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	でいた。	では、現でである。 では、現でである。 では、現でである。 では、現でである。 では、現でである。 では、現でである。 では、現でである。 では、現でである。 では、現でである。 では、現でである。 では、またでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでも	柱び築報 び し提 めいまである 大きをめい 本さし後あ 中さし後あ 中さし後あ	業 の 3 名 り	571 目標 () 文善点等 () 文善点等 下。潮により地域のの多い地域は高い。。。	561 目標 () と沈下や電柱 被害を受ける の電柱にNP(名古 密度で、工場な	580 580 の移設など ることのな 総合評価	
成果指標	事 ① ② ② 和る並 有達効	高 [7年地が	示電柱の誤え を関施行後、 地盤されつつま はされつつま	差の解消 事業開始電話 区をります。 「国際では、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	注:3年でしています。 おいま は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	でいた。	では、現でである。 では、現でである。 では、現でである。 では、現でである。 では、現でである。 では、現でである。 では、現でである。 では、現でである。 では、現でである。 では、現でである。 では、またでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでも	柱び築報 び し提 めいまである 大きをめい 本さし後あ 中さし後あ 中さし後あ	業 の 3 名 り	571 目標 () 文善点等 () 文善点等 下。潮により地域のの多い地域は高い。。。	561 目標 () と沈下や電柱 被害を受ける の電柱にNP(名古 密度で、工場な	580 580 の移設など ることのな 総合評価	

												2	
	事業	業 名	防災訓練事	務				131	会計			01	
	· 部	門	災害の防止					算 210 費		消防費 消防費		09	
	<u>마</u> 施	策	市民ととも		の字を			1 目		所必有 防災対策費		$ \frac{01}{04}$	
			消防局防災		(5) 女王	50	01	1		972-3522	•	04	
事	1 - 1%	, HI 13	対象(誰を			50	01				こしたいのか	N)	
業	F	市民、防	災関係機関					当者の災	害丸	応力を高め、	関係機関どう	しの協調体制	
の目		, , , , , , , ,	2 412 411 122124	• 77.5							対する知識や		
I的													
	1										本部運営訓練: 17日(火)に帽		
事	縛				-ねいて総合がを実施しました		常と	「夫肔しよ	: U/C	-。また、5月1	[<i>(</i> □ (火) (⊂]	報仏達訓	
業	2										訓練:約80人)	
	3						新	を実施し	ょし	√7C ₀			
の 平成17年9月3日(日)に総合防災訓練及び市本部運営訓練を実施しました。 内 3 職員参集訓練の実施(参加人数 職員約12,000人) 平成17年11月11日(金)から11月25日(金)までの間、大規模災害時の交通途絶状態を想定した参集に しました。													
		ょました。											
開	始	年 度	昭和 39	年度 根据	処法令・要約	岡等	災害	 手対策基	本	 去			
事	業費	・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	計	画	名古屋籍	近世紀	紀計画2010第	2次実施計画	無 頁	
事	業費	(千円)	11, 983	9,870	13, 231	1		個別計画				頁	
財	国•	県支出金				事	業(の実績	単位	16年度	17年度	目標18年度	
源	地	方 債					訓絲	東実施		_	_	_	
内		----- 他特定財源				1	回数		口	3	3	3	
訳	;	 般 財 源	11, 983	9,870	13, 231								
	員数	(人)	2.0	2.0	2.0	2							
					∨								
	事	事業の目	的の成果を	測る指標	指標設	定の)考	え方	単位	16年度	17年度	目標18年度	
成				測る指標					単位			目標18年度	
成		計練参		測る指標	指標設 各種訓練 を向上させ	でるこ	の参; こと	加人数 で、防		16年度 27, 590	17年度 33,890		
成果				測る指標	指標設 各種訓練 を向上させ 災に関する	で る 知 記	の参 こと 哉・	加人数 で、防 技術の	単位人			目標18年度 30,000	
				測る指標	指標設 各種訓練 を向上させ	で る 知 記	の参 こと 哉・	加人数 で、防 技術の		27, 590 目 標	33, 890		
				測る指標	指標設 各種訓練 を向上させ 災に関する	で る 知 記	の参 こと 哉・	加人数 で、防 技術の		27, 590 目 標	33,890		
果指	1			測る指標	指標設 各種訓練 を向上させ 災に関する	で る 知 記	の参 こと 哉・	加人数 で、防 技術の		27, 590 目 標	33,890		
果				測る指標	指標設 各種訓練 を向上させ 災に関する	で る 知 記	の参 こと 哉・	加人数 で、防 技術の		27, 590 目 標	33,890		
果指	1]	指標設 各種訓練 を向上させ 災に関する 普及啓発を	るる知识	の参えます。	加人数 で、防 技術の す。	人	27,590 目標 (30,000) 目標 ()	33,890 目標 (30,000)		
果指標	1 2	訓練参	加人数]] 事業開始	指標設 各種訓練 を向上させ 災に関する 普及啓発を	たので、知识の	の参 こ と ・ 。 ま 化 ル	加人数 で、防 技術の す。	人の改	27,590 目標 (30,000) 目標 () 文善点等	33,890 目標 (30,000) 目標 ()	30, 000	
果指標	① ②	訓練参加を訓練を	加人数]] 事業開始	指標設 各種訓練 を向上させ 災に関する 普及啓発を	たので、知识の	の参 こ と ・ 。 ま 化 ル	加人数 で、防 技術の す。	人の改	27,590 目標 (30,000) 目標 () 文善点等	33,890 目標 (30,000)	30, 000	
果指標	① ②	訓練参	加人数]] 事業開始	指標設 各種訓練 を向上させ 災に関する 普及啓発を	たので、知识の	の参 こ と ・ 。 ま 化 ル	加人数 で、防 技術の す。	人の改	27,590 目標 (30,000) 目標 () 文善点等	33,890 目標 (30,000) 目標 ()	30, 000	
果指標	① ②	訓練参加を訓練を	加人数]] 事業開始	指標設 各種訓練を向上する 変形を がらの状え 東参加期間を	へる知図	の参 こ と ・ 。 ま 化 ル	加人数 で、防 技術の す。	人の改	27,590 目標 (30,000) 目標 () 文善点等	33,890 目標 (30,000) 目標 ()	30,000	
果 指 標 き	① ② 木日 るよ	訓練参加 [を訓練限 うにしま	加人数] 事業開始 E ごする、訓練	指標設 各種訓練 を向上する ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	である。	か こ	加 大 数 防 の ま よ び 事 ま し ・ は な ど は な と は よ ら な と は よ な と は よ な と は よ な と は よ な と は よ れ と は と は よ に よ な と は よ は と に は と は も は と は と は も は も は も は も は も は も は も は も は も は も も も も も も も も も も も も も	人 の 改 て、	27, 590 ^{目標} (30, 000) 対善点等 多くの市民	33,890 目標 (30,000) 目標 ()	30,000 練に参加で 総合評価	
果 指 標 き	① ②	訓練参加を訓練を	加人数 開催日に設定した。 4 週] 事業開始 E する、訓練 至 対 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変	指標設 各種訓練 を向に関発 を がらの状 東参加期間を 市評価 を を で で で で で で で で で で で で で で で で で	(人)	かこ	加で技す。 なび事 と 避難所	人 の 改 て、	27, 590 ^{目標} (30, 000) 対善点等 多くの市民	33,890 目標 (30,000) 目標 ()	30,000 練に参加で 総合評価	
果 指 標 き	① ② 木日 るよ	訓練参加 [を訓練限 うにしま	加人数 開催日に設定 Eした。 4 練に		指標設 各向に及 各向に及 事からの状 東参からの期間を で で で で で で で の で の で の で の の の の の の	(へ) (へ) (へ) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か	かこ哉り 化け 法い	加で技す。 人、術。 事 と 難 が が が が が が が が が が が が が が り の の の の の	人 の む て、	27,590 ^{目標} (30,000) 対善点等 多くの市民	33,890 ^{国 標} (30,000) ^{民 概} ()	30,000 練に参加で 総合評価	
果 指 標	① ② 木 日 よ 有	訓練参 を記しま	加人数 開催日に設定 した。 4 練に 4 がよ	事業開始 事業開始 ぎする、訓練 ぎする、訓練 での要等 に対多くの言	指標設 各向に及 各向に及 事からの状 東参からの期間を で で で で で で で の で の で の で の の の の の の	(へ) (へ) (へ) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か	かこ哉り 化け 法い	加で技す。 人、術。 事 と 難 が が が が が が が が が が が が が が り の の の の の	人 の む て、	27,590 ^{目標} (30,000) 対善点等 多くの市民	33,890 目標 (30,000) 目標 ()	30,000 練に参加で 総合評価	
果 指 標 き	1 2 木る 有達	訓 (訓 (訓 に 対 成 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	加人数 開催日に設定 した。 4 練は 4 かま	事業開始 事 業開始 事 業開始 ぎする、訓練 があるくう であるくう	指標設 各向に及 各向に及 を がらの が を が は で で る の に る の に る の に る の に る の の の り の り の り の り の り の り の り の り の	(Can) 欠 没 かっご 変 設 方てき	かこ戦り 化け 法いる参と・ま 仏みる 、ま体	加で技す。 なびお 遊 す。と、 数 防の 業 し	人 の む て、	27,590 ^{目標} (30,000) 対善点等 多くの市民	33,890 ^{国 標} (30,000) ^{民 概} ()	30,000 練に参加で 総合評価	
果 指 標	Table 1 Ta	訓練 一	加人数 開催日に設定 した。 4 練は 4 かま	事業開始 語 事業開始語 主する、訓練 三する、訓練 三対多検 であるので であるので であるので であるので である。 であるので である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である	指標設 各向に及 各向に及 の が らの期間 で で で で で で で で で の が が か に の の り の り の り の り の り の り り り り り り り	(Can) 欠 没 かっご 変 設 方てき	かこ戦り 化け 法いる参と・ま 仏みる 、ま体	加で技す。 なびお 遊 す。と、 数 防の 業 し	人 の む て、	27,590 ^{目標} (30,000) 対善点等 多くの市民	33,890 ^{国 標} (30,000) ^{民 概} ()	30,000 練に参加で 総合評価	
果 指 標	Table 1 Ta	訓練 一	加人数 開催日に設定 した。 4 4 4 なる	事業開始 語 事業開始語 主する、訓練 三する、訓練 三対多検 であるので であるので であるので であるので である。 であるので である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である	指標設 各向に及 各向に及 の が らの期間 で で で で で で で で で の が が か に の の り の り の り の り の り の り り り り り り り	(Can) 欠 没 かっご 変 設 方てき	かこ戦り 化け 法いる参と・ま 仏みる 、ま体	加で技す。 なびお 遊 す。と、 数 防の 業 し	人 の む て、	27,590 ^{目標} (30,000) 対善点等 多くの市民	33,890 ^{国 標} (30,000) ^{民 概} ()	30,000 練に参加で 総合評価 A	
果 指 標	Table 1 Ta	訓練 一	加人数 開催日に設定 した。 4 4 4 なる	事業開始 語 事業開始語 主する、訓練 三する、訓練 三対多検 であるので であるので であるので であるので である。 であるので である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である	指標設 各向に及 各向に及 の が らの期間 で で で で で で で で で の が が か に の の り の り の り の り の り の り り り り り り り	(Can) 欠 没 かっご 変 設 方てき	かこ戦り 化け 法いる参と・ま 仏みる 、ま体	加で技す。 なびお 遊 す。と、 数 防の 業 し	人 の む て、	27,590 ^{目標} (30,000) 対善点等 多くの市民	33,890 ^{国 標} (30,000) ^{民 概} ()	30,000 練に参加で 総合評価	

									<u> </u>		
事 業 名	地域防災計	·画事務				132 う		一般会計 消防費			01 09
部門	災害の防止					210 星		消防費			01
施策		に築く地域	の安全			1 E		防災対策費	,		04
作成部署	消防局防災	•	·	50	01			972-3522	·		1
事	対象(誰る	を・何を)							にしたいのか	١)	
	7地域防災計								ため、名古屋		
の目									応についての)総合的	な
的				計画	を)	だ 定し	ます	0			
4 名古屋	市防災会議の 市防災会議を 市地震防災対	平成17年6月		し、4	公要?	な修正	を加力	えました。			
									定を受けたこ		`
. ////10-									画を策定しま こ至る災害対策		
1-1									り明確にしま		
開始年度	昭和 38	年度 根拠	処法令・要組	岡等	災害	対策	基本流	去			
事業費・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	計画	画	名古屋	新世	紀計画2010第	2次実施計画	無	頁
事業費(千円)	3,050	2, 430	4,874	掲載	載	個別計	画				頁
財国・県支出金	ž			事	業 <i>σ</i> .	実績	単位	16年度	17年度	目標 勻	F度
源 地 方 債				2	名古	屋市地					
内 その他特定財源					域防の見	災計画	口	1	1	_	
訳一般財源		2, 430	4,874		ツ兄.	旦し	+				
職員数(人)	2.0	2, 430	2.0	2							
]的の成果を		指標設	定の:	老え	方	単位	16年度	17年度	目標生	E使
ᄩ			地域防災				十四	10-7/2	17千汉		
名 古	市地域防災計	画の見直し	し、確実な					1	1		
果①		٦	うことを目	標と		ます。	口	目標	目標	_	
^ —									(1)		
指								(1 /	\ I /		
標②		٦						目標	目標		
								()	()		
		事業開始	ー 時からの状況	兄変化	化及	び事業	集の記		,		
平成7年の	仮神淡路大震					- •	• •		生したほか、	平成14	年
に東海地震に	系る地震防災	《対策強化地									
災対策推進地	或の指定を受	をけました。									
			市評価							総合評	価
評 有 効 性	4 5	方災体制の確)み`	でなく	ライ	フライン関	係機関など	,, pi pi	,—
	T Oil	重携が不可ク		• • • • • • •	,	- 0, ,	. / 1	. / [] []	MINNING &		
達成度									い、実効性	A	
一 効 率 性	4 の語	島い計画を第	で定すること 	だが必	公要?	不可ク	てです	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
		行政記	平価委員会の	り外音	祁評	価				総合評	価
(この事業に	対するコメン	ノトはありま	ミせん。)								
										۸ ا	

;	事;	業 名	消防団運営	関係事務				133 予	会計	一般会計 消防費		01
	部	門	災害の防止					算 210 費		消防費		01
	<u>마</u> 施	 策	市民ととも		北の安全			1 目		消防総務費	,	01
			消防局消防		<u> </u>	50	01	1		972-3561		01
事	1 F 1-5	へいて	対象(誰る			50	UI				こしたいのか	1)
業	ýì	消防団	入 13人口住在	<u> </u>		(ر	د <u>۱</u> ۲۲۲۲				予防広報や警察	
<u>ග</u>	,,	11/27/1									也域防災力の	
目的						団0	つ活動	動が円滑	に運	営できるよう	うにします。	
н	[=	主な事業の	の内容】									
丰	• }	肖防団員都	教育		务災害補償事	膐						
事業		退職報償金		· 各	重会議運営							
の		出場手当の	り支給 金、被服調製	弗台田仝	古公							
内	· 是	里角貝担S 各種団行	せ、WMM過去 事の調整及び									
内 ・各種団行事の調整及び各種表彰事務												
開	始	年 度										
事	業費	員人・貴	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	н	画	名古屋籍	折世紀	記計画2010第	2次実施計画	無 頁
事為	美費	(千円)	601, 726	577, 522	2 591, 226	撂	載	個別計画				頁
財	国•	・県支出金				事	業(の実績	単位	16年度	17年度	目標18年度
源	地	 方 債			-		T	方団員数				
			126, 924	109, 039	121, 249	1		月 (1)	人	6, 125	6, 142	6, 476
					-		()					
	l	般 財 源	474, 802	468, 483	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	2						
	$= \star$	AT (
掫	_	女(人)	3. 4	3.		Ļ.				405	4764	
	-		3.4 的の成果を		指標設				単位	16年度	17年度	目標18年度
成	-	事業の目	的の成果を		指標設 市民の安全	全確	保を	図るた	単位			目標18年度
成	Ę	事業の目 消防団員			指標設 市民の安全 め、人員の	全確	保を が重	図るた 要です		16年度 91	17年度 91	
	-	事業の目 消防団員	的の成果を		指標設 市民の安全	全確 確保 団員	保を が重 の充	図るた 要です	単位			目標18年度 96
成果	Ę	事業の目 消防団員	的の成果を 動の充足率	測る指標	指標設 市民の安全 め、人員のそ ので、消防	全確 確保 団員	保を が重 の充	図るた 要です		91	91	
成	Ę	事業の目 消防団員	的の成果を 動の充足率 実員数	測る指標	指標設 市民の安全 め、人員のそ ので、消防	全確 確保 団員	保を が重 の充	図るた 要です		91	91	
成果	1	事業の目 消防団員	的の成果を 動の充足率 実員数	測る指標	指標設 市民の安全 め、人員のそ ので、消防	全確 確保 団員	保を が重 の充	図るた 要です		91	91	
成果	Ę	事業の目 消防団員	的の成果を 動の充足率 実員数	測る指標	指標設 市民の安全 め、人員のそ ので、消防	全確 確保 団員	保を が重 の充	図るた 要です		91	91	
成果指	1	事業の目 消防団員	的の成果を 動の充足率 実員数	測る指標	指標設 市民の安全 め、人員のそ ので、消防	全確 確保 団員	保を が重 の充	図るた 要です		91 目標 (96)	91 目標 (96)	
成果指	1	事業の目 消防団員	的の成果を 動の充足率 実員数	測る指標]	指標設 市民の安全 め、人員ので ので、消防に 指標としま	全確団し	保を が の 。	図るた 要です 足率を	%	91 目標 (96)	91 目標 (96)	
成果指標	1 2	消防団員	的の成果を 員の充足率 実員数 条例定数	測る指標	指標設 市民の安全 め、人員のそ ので、消防	全確団し、	保がの。	図るた 要です 足率を なび事業	% のご	91 目標 (96) 目標 () X善点等	91 目標 (96) 目標 ()	
	(1)	事業の目消防団員の職	的の成果を 員の充足率 実員数 条例定数	測る指標	指標設 市民の安か め、人員ので ので、消防に 指標としま	全確団し、	保がの。	図るた 要です 足率を なび事業	% のご	91 目標 (96) 目標 () X善点等	91 目標 (96) 目標 ()	96
	(1)	事業の目消防団員の職	的の成果を 員の充足率 実員数 条例定数 業の変化(サ	測る指標	指標設 市民の安か め、人員ので ので、消防に 指標としま	全確団し、	保がの。	図るた 要です 足率を なび事業	% のご	91 目標 (96) 目標 () X善点等	91 目標 (96) 目標 ()	96
	(1)	事業の目消防団員の職	的の成果を 員の充足率 実員数 条例定数 業の変化(サ	測る指標	指標設 市民の安か め、人員ので ので、消防に 指標としま	全確団し、	保がの。	図るた 要です 足率を なび事業	% のご	91 目標 (96) 目標 () X善点等	91 目標 (96) 目標 ()	96
	(1)	事業の目消防団員の職	的の成果を 員の充足率 実員数 条例定数 業の変化(サ	測る指標	指標設 市民の安か め、で、 消防に 指標としま (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A)	全確団し 況 消 変 防	保がの。	図るた 要です 足率を なび事業	% のご	91 目標 (96) 目標 () X善点等	91 目標 (96) 目標 ()	96
成果指標①常	① ② 当防防	事業の目 消防団員 同員の職 災対策強	的の成果を 動の充足率 実員数 条例定数 業の変化(サ 化地域の指定	測る指標	指標設 市民ので ので、しま お時からの状 イン・②女性 市評価	全確団し 況 消 変 防	保がの。 化団	図るた 要率を なび事業 の登用	% 3	91 目標 (96) 目標 () 双善点等 消防団員の高	91 標 (96) 目標 () 所化 ④東洋	96 野地震に係る 総合評価
成果指標①常	① ② 当防防 有	事業の目 消防団員 同員の職 災対策強	的の成果を 動の充足率 実員数 条例定数 業の変化(対化地域の指定)	測る指標 事業開始 ・ラリーマン ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	指標設 市民のでのである。 市標としま お時からの状 化)②女性 市評価 を害現場での活	全権団し	保がの。 化 が の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	図るた 要率を ひ事業 項の 地域	% の ③ (企民	91 F 標 (96) F 標 (96) T 善点等 消防団員の高	91 目標 (96) 目標 () 「齢化 ④東海	96 事地震に係る
成果指標①常	① ② 当防防	事業の目 消防団員 同員の職 災対策強	的の成果を その充足率 実員数 条例定数 条例定数 (上地域の指定 (上地域の指定)	測る指標 事業開始 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	指標設 市、で、 がでとしま お時からの状 化) ②女性 ・ で、 で、 で、 で、 で、 と し ま で、 で、 と し ま で、 で、 と し ま で、 と し 、 で 、 で 、 と し 、 と の 、 を り 、 と の と り と と と ら と と と と と と と と と と と と と と	全権団し	保がの。 化団 や東海	図るたすををするですをするですをするです。	% (3) (3)	91 目標 (96) 目標 (96) Z善点等 消防団員の高	91 目標 (96) 目標 () 「齢化 ④東海	96 野地震に係る 総合評価
成果指標①地	① ② 当防防 有	事業の目 消防団員 一 回数対策強 効性	的の成果を るの充足率 実員数 条例定数 条例定数 化地域の指定 の変化(対策) の変化の指定	測る指標 事業開始	指標設 市民のでのである。 市標としま お時からの状 化)②女性 市評価 を害現場での活	全権団し 況 消 手かま 変 防	保がの。 化団 甲海高	図 要 を す 変 変 本 の で の で の で の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	% ② ③ は住民が より、	91 目標 (96) 目標 (** (**	91 目標 (96) 目標 () 「齢化 ④東海	96 事地震に係る
成果指標 ①地 評	(1) (2) (方) (方) (方) (方) (方) (方) (方) (方	事業の目 消 [が [の策強 対 佐	的の成果を るの充足率 実員数 条例定数 作地域の指定 が限し、 第3	測る指標 (事業開始 () 対 () が	指標設 市、でを めのでは 指標としま お時からの状 化)②女性 市評価 になり は、ます でする でする でする でする でする でする でする でする でする です	全権団し 況 消 動。まを 変 防	保がの。 化団 甲海高実	図 要 を す を を を の 震 の で の で の で る で の で の で る で も し の で る の の に の で る の に の に の に の の に の の に 。 に の に 。	% ② ③ は住民が より、	91 目標 (96) 目標 (** (**	91 目標 (96) 目標 () 「齢化 ④東海	96 事地震に係る
成果指標 ①地 評 価	1 ② 防防 有 達 効	事業の目 消 (可 (の (の (の ((<td< td=""><td>的の成果を 真の充足率 実員な数 条例定数 単次の変化(特定) 化地域の指定 4 防民に向して 4 このでは、 5 このでは、 6 このでは、 6 このでは、 7 このでは、 8 このでは、 9 このでは、 9</td><td>測る指標 (事</td><td>指標設 市、で標 時からの状 化)②女性 市ででする をとり がと 市でででま訓 をとり がな で で で で で で の が で や の り で の り で の り で り で り で り で り で り で り</td><td> 全権団し </td><td>保がの。</td><td>図要足 なび事 本が で で で で で で で で</td><td>% (全 (全 (全 (を) (を) (の (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で)</td><td>91 F 標 (96) F 様 (96)</td><td>91 ^標 (96) ^標 (96) ^(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)</td><td>96 郵地震に係る 総合評価 B</td></td<>	的の成果を 真の充足率 実員な数 条例定数 単次の変化(特定) 化地域の指定 4 防民に向して 4 このでは、 5 このでは、 6 このでは、 6 このでは、 7 このでは、 8 このでは、 9 このでは、 9	測る指標 (事	指標設 市、で標 時からの状 化)②女性 市ででする をとり がと 市でででま訓 をとり がな で で で で で で の が で や の り で の り で の り で り で り で り で り で り で り	全権団し	保がの。	図要足 なび事 本が で で で で で で で で	% (全 (全 (全 (を) (を) (の (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で)	91 F 標 (96) F 様 (96)	91 ^標 (96) ^標 (96) ^(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	96 郵地震に係る 総合評価 B
成果指標 ①地 評 価 ?	1 ① ② 	事業の目 消 [] 可 [的の成果を この充足率 実例定数 業の変化(特定) 化地域の指定 が民に を足率向上に ご足率向上に	測る指標 (事) (事) (対) (指標設 市、でと がらの状 がらの状 を がらの状 でと でと でと でと でと でと でと で で で で で で で で と し 、 で で と し 、 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	全権団し 況 消 新います 外 合 (では) (では) (では) (では) (では) (では) (では) (では)	保がの。	図要足 び び 変 変 変 変 変 変 変 が 変 が 変 が が が が が が が が	% (全性) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	91 I 標 (96) I 標 (96) A 善点等 (Minior	91 ^標 (96) ^標 (96) ^(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	96 郵地震に係る 総合評価 B

			•		- I I I I	_	/, \				Ľ		1		,	, , ,	_
:	事業	美 名	消防団の施	設及び資器	材の整備			134 予 算	会計款	一消	般会計 防費					- :	1
	部	門	災害の防止					210 費		-	下了。 防費						1
	施	 策		に築く地域	の安全			1 目			防総務費	,					1
		部署	消防局消防			50	01	10 連絡									
事			対象(誰る								ヽう状態に	ات ا	したい	のか	١)		
業の目的	消	が団の	施設及び消防	団活動の資	器材	動月	月資品	器材を更	新整	備	ある詰所し、地域限こします。	方须					寸
活動の強化を図るようにします。																	
						_	消									付要的	負
事	業費	・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	ні		名古屋籍	5世紀	紀計	 画2010第	2次	マ実施計	画	有	58]	Į
事美	美費	(千円)	57, 071	64, 488	71, 236	掲	載	個別計画								Ī	Ę
財	国•	県支出金				事	業(の実績	単位		16年度		17年度	F	目標	18年月	变
源	地	 方 債					消息	方団詰所									
内		 也特定財源				1		所・改築	棟		8		9			9	
訳		2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		64, 488	71, 236		2/MZ 17-	+m++=r									
		(人)	0.6	0. 6	0.6	2		方団詰所 を繕	件		10		9			13	
493		** **	 的の成果を		指標設	宍♂			単位	-	16年度		17年度	F	日垣	22年月	卋
成					標準延べ				平位		10千皮		一十万	۲	□ 1 2	- Z Z - 1).	又
肞		延へ囲作の棟数	責30㎡未満の	何 例凹	いない詰所の						41		34				
果	1	(,	しました。				棟	目	標	Н	標			0	
_										((34)			
指				J						(41)	(34)			
10																	
標	2	r		,						目	標	Н	標				
IN										/ /	12K	/	7275)			
		(事業開始	<u></u> 時からの状え	口亦	ンシュ	りば車業	_ເ ກະທ	7 恙		(,			
7	区式1	0年度7	いら女性団員		•			•	•			冶 種	\$ 古代(5) 	计笛	油ル	抽标	<u></u>
		ひ一度に受けまし		₹ ^ / <u>日</u> / / 1 で 加		(14-	 1	11014米	(114)		5 (C N) (2) H	ĽÆ	さけり クベク	1 //	スストし		
					市評価										4/2	ᄼᅑᄺ	-
≣π		11 14					_								花	合評価	J
評	有	効 性														_	
	達	成 度		整備し、また												Α	
価	効	率 性	_	題があります:								r 1 → . (<u> </u>	1 5			
Щ				行政制	平価委員会の	りか	部包	4価							絵	合評価	ī
()	- D I	重業にも	対するコメン			771	HPD	т							HACA	ы н і іш	•
	_	┵ᡮ╙	ョッ ローノン	171よのソソ ま	~ €/U ₀ /											A	

	+ 4	14 <i>1</i> 5	1.17-1-1.15	***						135 予	会計	一般会計		01
	争身	人	水防対策							算		緑政土木費		07
	<u>部</u>	門	災害の防		→ 3 . 1		el el mini elle			210 費		治水費		04
	施	策					制の整備	10		2 目		治水総務費		02
事	作队	部署	緑政土を対象(上 務 課	12	01				72-28 こしたいのカ	
業	·	上水や口					民の生	É	内確				<u>- したいのか</u> や内水氾濫か	
の目		財産	1/1/10/1111	1 -> >	Д П И	J 117	Z(*) <u>T</u>	す。		. 00/1/1/2/11	H 293		(1 1)1(1 <u>1</u> 1111111111	J 1 7 5
的	H	* -1 -	* c= /> / c / c	∞ !!! I			о /I. А Ц. т.	ار بات -	L, ~	- 1 - 2 - 11	١٨)-			
_													古屋市水防計 Wが発令され	
事業	動か	迅速、	的確に行え	える。	よう非	常配值	備体制を敷き	:、名	予部	所に職員	を配	置しておりる	ます。また、-	一連の水防活
の													ります。更に、 方情報システ、	
内							報システム」							(2,2000)]
容														
罪	始	年 度	昭和		年度	根#	処法令・要約	岡等	名	七屋市水	(防言	十画		
		・ 人員	- ' ' '	算額			18年度予算額		画				2次実施計画	無 頁
_		(千円)	112, 5			, 149				個別計画				頁
財	国•	県支出会				,	,	事	*業(D実績	単位	16年度	17年度	目標18年度
源	地	 方	 5	1					Τ .	ステム点				
		也特定財		†				1		実施回数	口	2	2	2
訳	f	 般 財 派	112, 5	584	66,	, 149	66, 456							
職	員数	(人)	4	1.8		4.8	4.8	2						
	事	業の	目的の成界	見を別	則る指	'標	指標設	定σ)考;	え方	単位	16年度	17年度	目標18年度
成	_				則る指	標	水防シス	テュ	ムの	故障等	単位			目標18年度
		早期	章害改善	率			水防シス の早期改善	テンマを	ムの を上	故障等 げるこ		16年度 100	17年度 100	
成果	_	早期	障害改善 ³ 期障害改善	率 件数>	× 1 0 0		水防シス	テンマを	ムの を上	故障等 げるこ	単位 %	100	100	目標18年度
果		早期	章害改善	率 件数>	× 1 0 0		水防シス の早期改善	テンマを	ムの を上	故障等 げるこ		100	100	
	1	早期	障害改善 ³ 期障害改善	率 件数>	× 1 0 0		水防シス の早期改善	テンマを	ムの を上	故障等 げるこ		100	100	
果指		早期	障害改善 ³ 期障害改善	率 件数>	× 1 0 0		水防シス の早期改善	テンマを	ムの を上	故障等 げるこ		100 目標 (100)	100 目標 (100)	
果	1	早期	障害改善 ³ 期障害改善	率 件数>	× 1 0 0		水防シス の早期改善	テンマを	ムの を上	故障等 げるこ		100 目標 (100)	100	
果指	1	早期	障害改善 ³ 期障害改善	率 件数>	×100 数	-]	水防シス の早期改善	テンド率しる	ムの上ます	故障等 げるこ 。	%	100 目標 (100) 目標 ()	100 目標 (100)	
果指標	① ② &雨	早期 [^早	障害改善等期障害改善 関障害発生 で富発生	率 件数> 生件	×100 数 事業 正確に	_] _] 開始 E 二把握	水防シス の早期で とを指標と 時からの状 量するため、	テ率しるのでである。	ムの上す 化 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	故障等 げるこ 。 なび事業 年6月に	% の改 二「名	100 目標 (100) 目標 () Z善点等 G古屋市水区	100 目標 (100) 目標 ()	100
果指標	① ② 降雨; NICOS	早期 [^早	障害改善 期障害改善 障害発 情報を迅 、平成17	率 件数> 生件 ・4月	×100 数 事業] 正確に	-] - 開始 : 開始 : 雨水:	水防シスの早期標とを指標とを指標とをするため、排水情報シ	デンタ (アンダン)	ムをます (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	故障等 げるこ なび事業 年6月れ	% の 改 ご「ネオ	100 目標 (100) 目標 (100) Z善点等 公古屋市水阪 い導入し、図	100 ^{■ 標} (100) ^{■ 標} (x) 「情報シス、 下すれ、	100
果 指 標	① ② 降雨ぶ ICOS ポポ	早期 [型 と が] が と が と が と の を の を の を の を の を の を の か と の か と か と の と の と の と の と の と の と	障害改善 期障害改善 障害発 情報を迅 運転状況	率 (× 100 数 事業 正に 把握し	-	水防シスの早期標とを指標とをおっている。	データ である である である である である でき かい	ムの上す で化 る 和 63 し、	故 で な で 事 ま に れ の の の の の の の の の の の の の	の でくれた実	100 I 標 (100) I 標 (100) A 古屋市水 I 本 古屋 市 水 I を 図 り 、 効	100 目標 (100) 目標 ()	100 100 川の水位状 果的な水防
果 指 標 _ 『() 况活	① ② 和ICOS が 動を	早 早	障害改善 期障害改善 障害発 情報を迅 運転状況	率 性生 速年等。	× 1 0 0 数 事 業 に に握い およい	- 開始 開北 - 開始 - 開始 - 開始 - 開始 - 開始 - 開始 - 開始 - 開始	水防シスの早期標と おからの状 を おり で おり で からの が あから た 報 の が の が の が の が の が の が の が の が の が の	テンマン	ムの上す で化 る 和 63 し、	故 で な で 事 ま に れ の の の の の の の の の の の の の	の でくれた実	100 I 標 (100) I 標 (100) A 古屋市水 I 本 古屋 市 水 I を 図 り 、 効	100 ^{■ 標} (100) ^{■ 標} (x) 「情報システ河 下情報システ河 本的かつ効与	ム 川の水位状 果的な水防 転状況を、
果 指 標 『() 況(活市)	① ② 和ICOS 動民に かるに	早期 [なら) プランドイ	障害改善等 脚障害改善 で 事で 事で を が まで が まで は な り ネ ツ に り れ い れ い れ り れ り れ り れ り れ り れ り れ り れ	率 件数> 生 速年等。で	× 100 数 事業 に 正に握い に提い に 説明 に は に は に は に り に り に り に り に り に り に り	-] 開始形成 が に が に が に が に が に が に が に り に り に り に	水防シスランス からない からない からない からない からない からない からない かんかん かんかん かんかん かんがん かんかん かんかん かんかん かんか	テ率し 現 昭元速上	ムをま 化 和63 化下	故げ。 なび事 年6月その 一道局と	の3 (100 ^{目標} (100) 産点等 (本点等 で、 で、 で、 で、 で、 100)	100 I 標 (100) F情報シス、効 手雨的かの運動	100 100 川の水位状 果的な水防
果 指 標 『() 況(活市)	① ② 和ICOS があるに 有	早 早	障害改善等 関障害改善 障害者 に関する を成れて ででである。 でである。 である。 である。 である。 である。 である。 で	率 性 要 要 まり まり より を 大	× 100 事業 に 同.把お開 下。 下。 下。 下。 下。 下。 下。 下。 下。 下。		水防シス 水下 水下 水下 水下 からの おいる 大いで 大いで おいる 大いで 大いで おいで おいで おいで おいで おいで おいで おいで お	テンマンマン デンタ アンマン アンマン アンマン アンマン アンマン アンファン アン アンファン アンファン アンファン アンファン アンファン アンファン アンファン アンファン アンファン ア	ムをま 化 7 化 7 1 1 1 1 1 1 1 1	故げ。 なび事 月そのと 年を層局 ・警報	のは名を表合が、	100 I 標 (100) I 標 (100) I 標 (ま 大 大 大 大 下 大 い い 、 数 で 、 、 数 で 、 象 台 か ら 発 の の で 、 の の の の の の の の の の の の の	100 I 標 (100) I 標 (100) F情報シス、列 手下的かの運動 令されると	ム 川の水位状 果的な水防 転状況を、
果 指 標 『() 況(活市)	① ② 和ICOS 動民に かるに	早期 [なら) プランドイ	障害改善等 期障害改善 情報を成れて で表し、 で表し、 で表し、 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	率 性 要 数 件 ・ ・ り より と たり より	× 100 事 業 正に提、し ・ 非対 原に防		水早をおり、 おります からな は からな は からな は からな 情 制 月。	テ率し 況 昭 ス速上 注、な	ムをま 化 和・化下 で 化る3 ・水 ・ 報民常	故げ。 び 年を一道 ・のに 等こ * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	の ででである。 のでは、 ででます。 気財事	100 I (100) I (100) I (善 与 与 小 以 与 小 以 多 一 を で 多 を で 多 を で 多 を か 以 め か 以 め か 以 め か 以 b b m y y y y y y y y y y	100 I 標 (100) F情報シス、効 手雨的かの運動	ム 川の水位状 果的な水防 転状況を、
果 指 標	① ② 和ICOS があるに 有	早 [なら)ン行イ 効 性	障害改善等 脚障害改善 障害を発見 情報で表現 がまった。 は、運動を記れる。 は、運動を表現である。 は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	率 性 要 数 件 ・ ・ り より と たり より	× 100 事 業 正に提、し ・ 非対 原に防		水早をおり、	テ率し 況 昭 ス速上 注、な	ムをま 化 和・化下 で 化る3 ・水 ・ 報民常	故げ。 び 年を一道 ・のに 等こ * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	の ででである。 のでは、 ででます。 気財事	100 I (100) I (100) I (善 与 与 小 以 与 小 以 多 一 を で 多 を で 多 を で 多 を か 以 め か 以 め か 以 め か 以 b b m y y y y y y y y y y	100 I 標 (100) I 標 (100) F情報、シス、、効果 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 にいる。 にいる。 でいる。 にいる。 でいる。 にいる。 でいる。 にい。 にいる。 にい。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。	100 100 川の水位状 果的な水防 云状況を、 総合評価
果 指 標	① ② 雨のS が を に 有 達	早 [障害改善等 脚障害改善 障害を発見 情報で表現 がまった。 は、運動を記れる。 は、運動を表現である。 は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	率 性 要 数 件 ・ ・ り より と たり より	× 100 事確に握、し ・非対迅 ・非対迅		水早をおり、 おります からな は からな は からな は からな 情 制 月。	テ率し 況 昭 フ速上 注、なす	ムをま 化和 4 化下 意市非べ 化 3 、水	故げ。 び 年を一道 ・のに事 等こ 業 にれのと 報命要で	の ででである。 のでは、 ででます。 気財事	100 I (100) I (100) I (善 与 与 小 以 与 小 以 多 一 を で 多 を で 多 を で か 以 め か 以 め か 以 め か 以 b b m y y y y y y y y y y	100 I 標 (100) I 標 (100) F情報、シス、、効果 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 にいる。 にいる。 でいる。 にいる。 でいる。 にいる。 でいる。 にい。 にいる。 にい。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。	100 100 川の水位状 果的な水防 云状況を、 総合評価
果 指 標 _ 『(沢活市 評 価 『	① ② 雨Cポをに 有達効 障	早 [障害改善等でである。 関係では、運お一様、運お一様、運お一様では、運お一様では、ででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	率 性生 連年等。で 直の続 時 数件 ・りをな公 大ち水的 間	× 100 事確に握、し・非対迅 同に防に の 100 ・ 1		水早をおり、	テ率し の変配 ア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ムをま 化 和 化下 意市非べ 部 で 化 の上す 化 の上す 水 報民常き 説	故げ。 なび 年を一道 ・のに事 を を のと 報命要で 価	のこだ合が・なあなありが・なあり気財事り	100 I (100) I (100 I (100) I (100 川の水位状 果的な水が 宏状況を、 総合評価
果 指 標 _ 『(沢活市 評 価 『	① ② 雨Cポをに 有達効 障	早 [障害改善等ででは、 関係では、 関係では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	率 性生 連年等。で 直の続 時 数件 ・りをな公 大ち水的 間	× 100 事確に握、し・非対迅 同に防に の 100 ・ 1		おります。 おりますがある情制月。 おりますが多のよりでは、 おりますがは、 ないでは、	テ率し の変配 ア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ムをま 化 和 化下 意市非べ 部 で 化 の上す 化 の上す 水 報民常き 説	故げ。 なび 年を一道 ・のに事 を を のと 報命要で 価	のこだ合が・なあなありが・なあり気財事り	100 I (100) I (100 I (100) I (100 川の水位状 果的な水が 宏状況を、 総合評価

	± .	₩ <i>b</i>		TH + 7/2					100	予会	計	一般会計		01
			消防職員管						130	算		消防費		09
	部		災害の防止		→ 11.th	 	<u>.</u>		210			消防費		01
	施	-	災害から市			訓の整備		- 0		,		消防総務費	,	01
事	TF 7) T	比部署	消防局総務 対象(誰を				٤	50	01 02 i 意			972-3512	こしたいのか	\)
業	I	 職員	対象(誰で	r - 141 &)			H	,				れ、職員の能	
の目		19024						艮に					処理体制を確	
I的								ナ。						
			:職員の定											
事			:職員の採 :職員の能								1 7	- 和罟転场 2	を行っていま	す
業の	• j	八事配置 職員の能	力等の把握	. 目標管	上之 F 管理 •	・業績評	延低、	J 斯	別る金巻の	とびほ	し, 自 [己申告を行っ	っています。	90
内内	• }	服務規律	の保持:服	務監察等	等を行	うってい	ます	١.						
容	•	その他特	に災害現場	での活動	助が優	憂れてい	た段	家員	等に対し	ノてま	長草	ジを行ってV	います。	
・その他特に災害現場での活動が優れていた隊員等に対して表彰を行っています。														
開] 始	年 度	昭和 23	年度	根拠	法令・引	要綱	等	地方公務	員沒	去、	消防組織法	Ė	
事	業費	・人員	16年度決算額	17年度決算	算額 1	8年度予算				屋新	世紀	記計画2010第	2次実施計画	無 頁
事美	業費	(千円)	168, 081	195, 0	014	208, 7	76	掲	載個別計	画				頁
財	国 •	・県支出金						事	業の実績		位	16年度	17年度	目標18年度
源	地	方 債						1	全職員の超 勤務時間数		上門	141, 409	140, 911	141,000
内	その)他特定財源	837	1, 1	126	1, 1	67	J)	(経常業務		1 [H]	141, 409	140, 911	141,000
訳	[-	般 財 源	167, 244	193, 8	888	207, 6	09	2						
朏	昌拳	汝(人)	4.0	4	4.0	4	. 0	()						
יר	J 70													
712		事業の目	的の成果を	測る指標	票				考え方		位	16年度	17年度	目標18年度
成	-	全職員の	超過勤務時	間数(経	经常 "	職員の	能力	が	最大限に	Ě	位	, ,,,,	, 102	目標18年度
成	<u></u>	全職員の業務)の		間数(経	系常 () 推	職員の	能力 能率	が的		ě 里	位 %	16. 2	0.4	目標18年度 0
	<u></u>	全職員の業務)の	超過勤務時	間数(経	を常立) 指	職員の	能力 能率 過勤	が的務	最大限に登な事務処理時間数の網	ě 里		, ,,,,	, 102	
成果	<u></u>	全職員の業務)の	超過勤務時	間数(経	を常立) 指	職員の 軍され、 こよる超	能力 能率 過勤	が的務	最大限に登な事務処理時間数の網	ě 里		16. 2	0.4	
成	<u></u>	全職員の業務)の	超過勤務時	間数(経	を常立) 指	職員の 軍され、 こよる超	能力 能率 過勤	が的務	最大限に登な事務処理時間数の網	ě 里		16. 2	0.4	
成果指	<u></u>	全職員の業務)の	超過勤務時	間数(経	を常立) 指	職員の 軍され、 こよる超	能力 能率 過勤	が的務	最大限に登な事務処理時間数の網	ě 里		16.2 厚 標 (5)	0.4 目標(0)	
成果	1	全職員の業務)の	超過勤務時	間数(経	を常立) 指	職員の 軍され、 こよる超	能力 能率 過勤	が的務	最大限に登な事務処理時間数の網	ě 里		16. 2	0.4 目標 (0)	
成果指	1	全職員の業務)の	超過勤務時	間数(経前年度比	常能の関係を対象を	職員の 軍され、 こよる超標	能能過と	が的務ま	最大限にきな事務処理時間数の結 はた。	ě 里宿 (,	%	16.2 目標(5) 目標()	0.4 目標(0)	
成果指標	1 2	全職員の業務)の)超過勤務時)縮減率(対	間数(経前年度比	常に変している。	職員の 軍され、 こよる超 域を指標	能能過と状況	が的務ま変	最大限に登な事務処理時間数の組 した。	・ 業の	%	16.2 目標 (5) 目標 () (善点等	0.4 目標 (0)	0
成果指標	①	全職員の業務)の)超過勤務時)縮減率(対	間数(経前年度比 事業開)大幅な	常)」」」」 始時間	職員の 軍さよる標 こよを指標 からの 削減が	能能過と 状況 成	が的務ま 変1	最大限に な事務の は した。 化及び事 5年度か	・ 業の	%	16.2 目標 (5) 目標 () (善点等	0.4 目標 (0)	0
成果指標	①	全職員の業務)の)超過勤務時)縮減率(対	間数(経前年度比 事業開)大幅な	常)」」」」 始時間	職員の 軍さよる標 こよを指標 からの 削減が	能能過と 状況 成	が的務ま 変1	最大限に な事務の は した。 化及び事 5年度か	・ 業の	%	16.2 目標 (5) 目標 () (善点等	0.4 目標 (0)	0
成果指標	①	全職員の業務)の)超過勤務時)縮減率(対	間数(経前年度比 事業開)大幅な	常)」」」」 始時間	職員の 軍さよる標 こよを指標 からの 削減が	能能過と 状況 成	が的務ま 変1	最大限に な事務の は した。 化及び事 5年度か	・ 業の	%	16.2 目標 (5) 目標 () (善点等	0.4 目標 (0)	0
成果指標	①	全職員の業務)の)超過勤務時)縮減率(対	間数(経前年度比 事業開)大幅な	常)」」」」 始時間	職員の 軍さよる標 こよを指標 からの 削減が	能能過と 状 尺 で 大沢 成 き	が的務ま 変1	最大限に な事務の は した。 化及び事 5年度か	・ 業の	%	16.2 目標 (5) 目標 () (善点等	0.4 目標 (0)	0
成果指標	① ② デ ジ 事	全職員の業務)の	が超過勤務時 が縮減率(対 生進のための さ化及び適り	間数 (経) 事 業 開) かな人員 で 可な で で で で で り た の し の し の し の し の し の し の し の し の し の	常の一角を記している。 対象	職される指 は からが が が が が が が が が が が が が が	能能過と 状 成き 価	が的務ま 変 1ま	最大限に な事数の お問数の 化及び事 た。	業 の	% 	16.2 目標 (5) 目標 () Z善点等 つた中で、	0.4 目標 (0)	を する
成果指標	① ② 対事	全職員の 業 () () () () () () () () () (が超過勤務時 が縮減率(対 を進のための を化及び適り	間 新年 (経 本 大 な 大 な 大 な し し し し し し し し し し し し し	常の一角定配 一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一	職さまを か か が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	能能過と 状成さ 価め	が的務ま 変1:	最大限に な事数の 化及び 事 し の の の の の の の の の の の の の	・ 業の	% - 平	16.2 I 標 (5) I 標 (b) I 善点等 つた中で、	0.4 目標 (0) 取急隊の増降 から2人削	0 総合評価
成果指標 2 な 評	① ② 対事 有達	全職員の 会業 ()) () () () () () () () ()	が超過勤務時 が縮減率(対 を進のための を化及び適り は、減、電	間前 (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A)	常の一角定配 一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一	職さまを か か が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	能能過と 状成さ 価め	が的務ま 変1:	最大限に な事数の 化及び 事 し の の の の の の の の の の の の の	・ 業の	% - 平	16.2 目標 (5) 目標 () Z善点等 つた中で、	0.4 目標 (0) 取急隊の増降 から2人削	を する
成果指標 な 評	① ② 対事	全職員の 会業 ()) () () () () () () () ()	が超過勤務時 が縮減率(対 を進のための が適り を化及び適り を も は、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、	間前 事幅人 財ま員ま 大な 財ま員ま でた人。	(常)) 始 定配 革。ひ) 始 員置 を と	職さよを か 減努 市る 能 か が が が が が が が が が が が が が	能能過と 状 成き 価 め が	が的務ま 変1 ま し 最	最な時し 大事間た。 化及 度。 の 発 の 発 を でか に 定 揮	・ 業の	% - 平	16.2 I 標 (5) I 標 (b) I 善点等 つた中で、	0.4 目標 (0) 取急隊の増降 から2人削	0 総合評価
成果指標 な 評価	1 つ 2 対事 有達効	全業 (し (改の か成率 性 度 性 性	が 超過勤務時対 が 経 他 及 び 適 り る 化 及 び 適 り る し る し る し る り る し る り る り る り る り る	間前 事に 事に 事に 事に がたし、 では がたし、 では では では では では では では では では では	(常)) 始 定配 革。ひ 政 政	職さよを か 減努 市る 能 の ががめ 市 る 能 過	能能過と 状区で 価 め が の	が的務まで変えました。最外に	最な時し 大事間た。 化及び 度。 似 深 で	・ 業の・ 大の・ 大の<th>- % - P る - 平 る</th><th>16.2 I 標 (5) I 標 (i 善点等 つた中で、 成18年度 よう適切な</th><th>0.4 目標 (0) (0) (1) (1) (1) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9</th><th>0 総合評価</th>	- % - P る - 平 る	16.2 I 標 (5) I 標 (i 善点等 つた中で、 成18年度 よう適切な	0.4 目標 (0) (0) (1) (1) (1) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	0 総合評価
成果指標 な 評価 耳	Time	全業 (上) (上) (主) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	が超過勤務時 が縮減率(対 を進のための を化及び適り は、減、電	間前 事 大な 財ま員ま 大な 関ま員ま で 業 な で で で で で で で で で で で で で で で で で で	常)) 始 定配	職さよを か 減努 市る 能 員 が、超標	能能過と 状形で 価と か 会 う	が的務ま 変1ま 、 最 外後	最な時し 化 化 ひ じ し し し し し し し し	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ </td <td>- % - P る - 平 る</td> <td>16.2 I 標 (5) I 標 (i 善点等 つた中で、 成18年度 よう適切な</td> <td>0.4 目標 (0) (0) (1) (1) (1) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9</td> <td>0 総合評価</td>	- % - P る - 平 る	16.2 I 標 (5) I 標 (i 善点等 つた中で、 成18年度 よう適切な	0.4 目標 (0) (0) (1) (1) (1) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	0 総合評価

]	事 業 名	消防職員宿	舎等の運営	管理事務			137 3	会計				01	
Ž	部 門	災害の防止					第 210 費	<u>款</u> 百	消防費 消防費			09	
	加	災害から市		制の整備			$\frac{210}{2}$		消防総務費	; 		01	
	<u>况 </u>	消防局総務		161 -> TE MI	50	01		_	972-3515	<u> </u>		Ů.	
事業		対象(誰を	・何を)				意図			にしたいのか	١)		
業の	職員									員確保)や追	動時	間の	
目					軽》	页等 (かため	、職	員に佰舎を	提供します。			
的	沙尺聯目	定金も担置	フゖ供りし	げて 計角	啦旨	ヨリアフ	与料で	坦州	1 ています				
消防職員宿舎を設置又は借り上げて、対象職員に有料で提供しています。 対象職員:通勤に長時間を要する者、派遣等により遠隔地での勤務を命ぜられた者 消防宿舎: (家族待機宿舎) 吹上宿舎始め5節前71世帯													
消防宿舎: (家族待機宿舎) 吹上宿舎始め 5 箇所 7 1 世帯 (異身待機客) 明野客 1 0 字													
(単身待機寮) 明野寮 40室													
(その他) 名古屋市東京事務所勤務者に貸与する宿舎2か所2世帯													
容													
胆	始年度	昭和 43	年度 根拠	処法令・要組	田生	沙区	古職 昌 2	会 全 +					
	ガーザー及 業費・人員		17年度決算額		_					2次実施計画	無	頁	
	来員・八貝 装費(千円)	8,836	8,593	5,042	100	Ξ.	石口 <u>压</u> 個別計画		化計画2010年	2久天旭計画	***	—— <u>兵</u> 頁	
-	国・県支出金	,	0,000	0,042)実績	単位	16年度	17年度	日煙	18年度	
源					7	1		+12	10十度	17千汉	그 기자	10十尺	
			8, 593	5, 042	1		n宿舎 、居数	戸	92	71	9	9	
	一般財源					<u> </u>		-					
	<u> </u>	0. 5	0. 5	0. 5	2		〔事務所 活者数	「 人	2	3	:	2	
1,50		的の成果を		指標設	定の)考え	方	単位	16年度	17年度	目標	18年度	
成				効率的に					, ,,,,			1 (2)	
		宿舎等の入り	舌塋	されている				0/	83	73	1.	0.0	
果		入居戸数	τ]	ました。(分を除きま			正佰告	%	目標	目標	10	00	
		宿舎総戸	数	スとぞいる	70	,			(100)	(100)			
指													
т##	2												
標			<u>]</u>						目標	目標			
	l		本 光明45	1+ 1. > @.ll\	- - 	· // . T7	10±3	* ~ 7		()			
- t-/	はむの字だ/	と、若い世代		侍からの状え ☆の恋心	兀変	16次	い事	をいけ	X吉京寺				
		L、石い世代 訓限を設け、			1が.	入居	できる	よう	にしました	0			
			· - · /	2 . 17.2		- 7				=			
				市評価							総合	許価	
評	有 効 性	4	[海豪雨災害			係る	地震防	災対	策強化地域	への指定な	410° F	- HI IMM	
		ロ どカ	ら、災害に	こ対する職員	10	迅速	な対応	が求	じめられてい	ます。災害		В	
	達成度	1. ij 🔍)人員確保が	ゝらも入居率	∞を	でき	るだけ	上け	るよう努め	ます。		ט	
価	効 率 性	3											
	_1			平価委員会の	り外	部評	価				総合	許価	
(]	この事業に対	対するコメン	/トはありま	ミせん。)									
												R l	

4経常的事務事業

В

											_		
:	事業		安全・衛生	管理事務	(消防局))			138 予	会計			01
	<u> </u>	門	災害の防止						算 210 費		消防費		09
	吗 施	 策	災害から市		休割の敷ん	借			210 目		消防総務費		01
		<u>采</u> 部署	消防局総務				50	01	1		972-3514		01
事	11 /2	нгп	対象(誰る				50	01	意図			にしたいのか	1)
業	菲	銭員の安	全と健康	_ PJC/			7	で全				進するととも	
の目		,,,,				(_				を図ります。		, ,,,,,
的													
	1		全衛生管理を		め、次の事	業を行	亍つ	てい	ます。				
事			f生管理基本方 f生委員会の開										
業	_	・事故再	F発防止対策) = 10 (FFF = 3)	_ , ,			W 2 4		, ,		
の	2		は康を保持し、 の健康診断	ます。									
内 ・職員の健康診断 ・職場巡回健康指導 ・職員のメンタルヘルス対策													
・職場巡回健康指導													
毘	始	年 度	昭和 60		艮拠法令•	要緇	筀	学信	動安全領	5年》	<u></u>		
		<u>・人員</u>	16年度決算額		額 18年度予		計					2次実施計画	無 頁
_		<u>ハス</u> (千円)	34, 550	32, 15		171	掲		個別計画	_			頁
		県支出金	,	02, 10	30 00,	111			の実績	単位	16年度	17年度	目標18年度
		方 債				🕂			安全衛		101/2		I I I I
					52	50		生委 開催	員会の	回	3	3	3
		段 財源		32, 09									
-		(人)	1. 7	1.		1. 7]健康診 :診者数	人	2, 323	2, 274	2, 303
7150			的の成果を			票設员	ŧσ	老	方	単位	16年度	17年度	目標18年度
成									対策を	-		22	1 1 1 1 2
/20		<u> </u>	公務災害発生	E件数	講ずるこ					١.,	34	37	
果	1	ſ			数を減ら		ら	ح ک	を指標	件	目標	目標	30以下
						7 0					(30以下)	(30以下)	
指		職	員一人当た	り換算					数を減				
			病による休		少させる						2.6	2.8	0.5017
標	2	連続	7日以上休業者	か延日数 ・	来業務の				分学生	日	目標	目標	2.5以下
			職員数				- / (,			(2.5以下)	(2.5以下)	
				事業開始	始時から <i>0</i>)状沉	逻	化及	なび事業	の改	対善点等		
												齢化が進ん	
)改正によ	こり、過重	労働	• >	メン	タルへ	ルス	対策など安	全衛生管理係	本制の強化
ハコン	K (X)	られてい	` よう。										
						評価							総合評価
評	有	効 性										指標として	
	達	成 度										員を確保す	В
	连			~ (X) V) — 厲牙仝	· 一 + 一	.1/\ ⊐		分丰 筛	1レベン	メンタルへ		
価	効	率 性		•)一層安全 対策の推進				-	12で	メンタルへ	ルクを占め	
価		率 性		建康増進対		が必	要	です	0	164	メンタルへ	ルクを占め	総合評価

	争	業 名	消防職員福	利 厚生事務			13	39 予 第	芸司			09
ì	部	門	災害の防止				21	10 費		消防費		01
j	施	策	災害から市	民を守る体	制の整備		2	$_2$		消防総務費	7	01
1	作成	部署	消防局総務	部職員課		50	01 0)2 連		972-3515		,
			対象(誰を	[・何を)				意図			にしたいのか	N)
事業の目的	耳	職員				稍	場環	境を			を図ります。	
消防署等に勤務する災害出動に備える24時間交替制勤務職員の職場環境を整えるため ①職員の仮眠用寝具を管理します。 ②職員の給食材料の調達・搬入を確保します。 開始年度 昭和 52 年度 根拠法令・要綱等 地方公務員法 事業費・人員 16年度決算額 17年度決算額 18年度予算額 計画 名古屋新世紀計画2010第2次実施計画 無												こめに、
開	始	年 度	昭和 52	年度 根拠	処法令・要組	買等	地方位	公務」	員法			
事	業費	・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	計i	画名	古屋	新世	紀計画2010第	2次実施計画	無 頁
事第	美費	(千円)	44, 787	37, 559	39, 817	掲	載個	別計画	Ī			頁
財	国・	県支出金	·	·	·	事	業の調	実績	単位	16年度	17年度	目標18年度
,,,	地	方 債 他特定財源				1	延べ組件上に	[]	組	489, 815	483, 975	503, 495
訳	<u> </u>	般 財源	44, 787	37, 559	39, 817	2	14					
垹		(人)	0.5	0.5	0.5	<u> </u>				10 to the	17 5	口無10左左
	_											
		事業の日	的の成果を	測る指標			考えて		単位	16年度	17年度	目標18年度
成果	1	仮眠用物	 夏具経費削液	咸率	増保設 。 効率的に とにより経 ります。	事務	を行	うこ	単位 %	95. 6	85.7 目標	100
果		仮眠用 ⁹		咸率 当り)]	効率的に とにより経	事務	を行	うこ		95. 6	85. 7	
果		仮眠用 ⁹	夏具経費削混 度経費(1組	咸率 当り)]	効率的に とにより経	事務	を行	うこ		95.6	85.7	
果指	1)	仮眠用 ⁹	夏具経費削混 度経費(1組	咸率 当り)]	効率的に とにより経	事務	を行	うこ		95.6 目標 (100)	85.7 目標 (100)	
果指標	1)	仮眠用 ³ [<u>年</u> 前 ⁴	夏具経費削泊 度経費(1組 F度経費(1約	域率当り)且当り)事業開始	効率的に とにより経 ります。 時からの状 況	事務 の 兄変	Fを行)削減 化及 で	うこ を図 び事	%	95.6 目標 (100) 目標 ()	85.7 目標 (100)	
果指標	① ② 動動	仮眠用乳 (仮眠用乳 (重前を で多の 作数等の	夏具経費削減度経費(1組 度経費(1組 下度経費(1約	域率 当り) <u>1</u> 当り) 事業開始 いに行くこと	効率的に とにより経 ります。 	事務 の 兄変	Fを行)削減 化及 で	うこ を図 び事	%	95.6 目標 (100) 目標 ()	85.7 目標 (100)	
果指標	① ② 動動	仮眠用乳 (仮眠用乳 (重前を で多の 作数等の	夏具経費削減度経費(1組 度経費(1組 下度経費(1減 で食の買出し の増加。	域率 当り) <u>1</u> 当り) 事業開始 いに行くこと	効率的に とにより。 ります。 時からの状 かの住民意 音導。	事務 の 兄変	Fを行)削減 化及 で	うこ を図 び事	%	95.6 目標 (100) 目標 ()	85.7 目標 (100)	100
果指標・・・・	① ② 動動用	仮眠用乳 (長田) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語	夏具経費削減度経費(1組 度経費(1組 下度経費(1系 で食の買出し の増加。 のための委割	域率 当り) <u>目当り)</u> 事業開始 に いた行くこと に業者への指	効率的に とにより ります。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事務の 兄変 (識の	化及 (つ変化	う を 図 ジ事	% *	95.6 目標 (100) 目標 () 文善点等	85.7 目標(100)	
果指標・・・・	① ② 動動用 有達	仮 (仮 (原 (原 (原 (原 (本) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元	度 展経費(1組 下度経費(1系 で で の 関出し の が の の の の の の の の の の の の の の の の の	域率 当り) <u>当</u> り) 事業開始 に に行くこと 業者への指 事務の合理(一 効率的に とにす。 時からの状 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	事費の	を 化及 (で で で が減を	う を 図 り	% % % % % % % % % % % % % % % % % % %	95.6 目標 (100) 目標 () 文善点等	85.7 ^{目標} (100) ^{目標} ()	100
果指標・・・・	1 2 動動用 有	仮眠用準 前を 前を 下で等の か 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の	度具経費削減 度経費(1組 F度経費(1系 7食の買出し つための委割 4 事	域率 当り) <u>当</u> り) 事業開始 に に行くこと 業者への指 事務の合理(一 効率的に とにす。 時からの状 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	事費の	を 化及 (で で で が減を	う を 図 り	% % % % % % % % % % % % % % % % % % %	95.6 I 標 (100) I 標 (*** 文善点等	85.7 ^{目標} (100) ^{目標} ()	100 総合評価 B
果指標・・・・	① ② 動動用 有達	仮 (仮 (原 (原 (原 (原 (本) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元	度 展経費(1組 下度経費(1系 で で の 関出し の が の の の の の の の の の の の の の の の の の	域率当り)事業開始をに行くこと業者への指揮不可合きる	一 効率的に とにす。 時からの状 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	事費の一段では、	化及て 化変 化	 ・ 	% % % % % % % % % % % % % % % % % % %	95.6 I 標 (100) I 標 (*** 文善点等	85.7 ^{目標} (100) ^{目標} ()	総合評価

				•••									L		
:	事業	名	施設管理	事務	(消防局	j)							一般会計 消防費		01
	 部	門	災害の防	īŀ.									消防費		01
	[[施	 策	災害から		守る体	制の整	備						消防総務費	,	01
	<u></u> 作成		消防局総			.,,,	<i>.</i>	50	01	03 i	_		972-3517		
事業			対象(記											こしたいのか	١)
	消	的方含						Ϋ́						や各種設備の	
の目														を行います。	
的															
	消	的方字	:等の維持	管理を	適正に	行うた	め、	次の)事)	業を行	了つ ~	てV	います。		
事			の設備や								£				
業			解体、改 用地及び							官埋等	È				
の											<u>+9</u>	6 ti	布設 (巫成)	17年4月現	左)
内容			. 1001	41 V III	1330//15	1007 1			1.71	ц	, ,	0 /3			<u> </u>
容															
PP	±1.	/r .::-	∏7 . 1.	· · ·	去 1- 0-1	加土人	 /-	IJ <i>ト</i> -/-	7-3- 1-4-4	H ># >1	Salz m.t	ا بر.	7-h /r/r (1/ .)	マ /h= ル	·/II.) ~ EP 1: ~ 11
		年度		23 年		1	_							る衛生的環境の確	
_		・人員	16年度決算						Ξ.			世紀	记計画2010第	2次実施計画	無 頁
_		(千円)	194, 93	36 2	28, 813	156,	796			個別計					頁
財	国•!	県支出金	L					事	業0	り実績	単	位	16年度	17年度	目標18年度
源	地	方 債	[(1	⊥ 1. Æ	- +/=n	水(* 14	.ner	07	0.0	0.0
内	その化	---- 也特定財源						\bigcirc	对筝	速施設	级 加	包設	97	96	96
訳	— A	 殳 財 源	194, 93	36 2	28, 813	156,	796								
	員数			4	1. 4		1. 4	2							
			的の成果				票設	定の	考え	方	単	位	16年度	17年度	目標18年度
成	<u> </u>									維持管		_			
150		維持	持管理経費	骨の削減	域率	理費の							95. 07	79. 72	
果	1	(1 描	短設当たり(の年度級	を費 1	ます。		舎解	体工	事は		%	目標	目標	100以下
		<u> </u>	で で 設当たりの			含まず)							(100以下)	
指		(1 //	ZK = 7 () ()	יו אלו ו ניח	工具								(1000)	(100)	
10															
標	2	c											目標	目標	
TAK													口 (示)		
				市	*************************************	吐かこの	ン1下:	口亦	ルガ	リッド市	** 6	\ J.	· * 上 *	()	
Ş	出『七日	思わ じん	り岸全は			時からの								要な施設とフ	シルナナ
			こより維持							, 19J3	人刈	水.	上極めて里	安は旭成 これ	よりより
~ \		310 (1)	- 0 / ///// ·	, p,,	4 · > · □ / ·	/H / / L/C		000	, 0						
							/ 								//\
=-				<u> </u>	S ### 1 -		評価		⇒ ∺	N/C ?	lo -	J. 11	1.4. <i>k/k</i> →π ++	\ 4	総合評価
評	有	効 性	4											ついて、契により、庁	
	達	成 度											乗傍の推進 努めました	•	Α
価	効	率 性		- · ^ 시 <u>라</u> 1	<u>~</u> ~\n\π_1	4 H -T C	- РЕГ	,, 0 \			111/2/	., –), · > & O / C	U	
픨	****	, ,_			行政	評価委員		りか!:	全尺 重亚	価					総合評価
()	- M =	主来)とす	対するコノ	ハノトル				ノフト	דמיור	ІШ					ラロコ国
()	_ Vノ≒	サポにメ	リッシーフ	· / r / ·	メ <i>似)</i> り さ	トピル _o)								
Ī															

										• •							
]	事 業	名	消防職員	被	服管理	事務	Ç			1	.41	予算	+	一般会計 消防費			01 09
Ę	邹	門	災害の防	让						2	210	費		消防費			01
ţ	他	策	災害から	市	民を守	る体	対制の整備	第			2	目	目	消防総務費	<u>-</u>		01
1	作成語	邹署	消防局総	瀦	部施設	課		50) (01	03	連絡	各先	972-3517			
事			対象(i	隹を	・何を	-)									こしたいのか		
業の目的	消 	的職員	Į.												することで、 できるよう!		
・全職員を対象に被服の支給希望調査を行い、消耗した被服の更新を行いました。 ・人事異動により新たに救急隊員や救助隊員等に任命された職員に対し、必要となる被服を支給しました。 ・新規採用者に対し、必要となる被服を支給しました。 ・新規委嘱の嘱託員に対し、必要となる被服を貸与しました。 「被服の種類」制服・活動服・救急服・救助服 等 対 年 度 昭和 23 年度 根拠法令・要綱等 消防組織法、消防吏員服制基準 ま業費・人員 16年度決算額 17年度決算額 18年度予算額 表古屋新世紀計画2010第2次実施計画 無														皮服る	を支給		
開	始	年 度	昭和 2	23_	年度	根	処法令・	要綱等	ŧγ	消防	組絹	法	、消	的吏員服制	刊基準		
事	業費	・人員	16年度決算	額	17年度決	.算額	18年度予算	算額 言	十屆	画	名古	屋親	斤世糸	己計画2010第	2次実施計画	無	頁
事業	費((千円)	60, 5	20	62,	496	56, 9			—	固別計	一画				1	頁
財	国・児	県支出金		\dashv			<u> </u>	Ī	事	業の	実績	ŧ	単位	16年度	17年度	目標	票18年度
• • •		方 債		- 1			 		Ī					,			
		22 b特定財源					 	(1)) \$	対象	人員		人	2, 248	2, 238	2,	, 236
		。 日本 日 財源		20	62	496	56, 9	034					$\overline{}$				
т	員数			. 5		1. 2		$\frac{2}{1.2}$ 2)				.	 			
49人			L L L L L L L L L L L L L L L L L L L					設定€	<u>፲</u>	セラ	+		単位	16年度	17年度	日超	票18年度
成	#	未の日	可以从未	<u> </u>	どうは	示	当年美			_			甲亚	10千茂	17千茂	D 15	三十八章
//		:	実績額の	削	咸率		度実績額						1	7	4		
果	1		ſ 当年:	実績	青額	٦	額を指標	票とし	ま	した	-		%	目標	目標		13
指		100%	- 1 5年度		— ×	100							1		(5)		
扣																	
標	2	[_]							1	目標	目標		
		l				<u> </u>								()	()	<u> </u>	
局系 性を	後足当 ℃向上	当初から	っ整備されるとともに	で こ、	戦員とし こきまし 品目の	ン て 取 た。) 統 原	近年では発合や仕村	行する は、優 様の見	たれる	こあっ した 更し	たり 素材 等に	必ずやよ	要不 仕様 り経	可欠のものを採用する	として、名 ことで、安 :努めていま :います。	全性	・作業
評	<u>+</u>	ᅔ		語	*終上心	(更)	市評		上台	长笙(刀檪	能	十確	:保上へつ	仕様の見直		合評価
рΤ		<u>効</u> 性成度	<u> </u>				_							に努めまし			Α
価		率 性															<i>/</i> \
					行	· 政	評価委員会	会の外	帝	祁評化	西					総	合評価
(]	_ の事	事業に対	対するコス	メン	トはあ	りを	ません。))									
																	Α

					•••									<u> </u>		
	事業	名	事務用耳	車両	管理事	務((消防局)					予 会記 章 款	-1-	一般会計 肖防費		01
	 部	門	災害の隊	方止										300頁 肖防費		01
	<u>版</u>	 策	災害から		民を守	ろ体	制の整備	描				- b		的 對防総務費	,	01
	<u>///</u> 作成部	-	消防局約				163 -> TE/	1111	50	01				72-3518	•	01
			対象(Ů.	意図				こしたいのか	١)
事業の	事	務用車							亘	巨両の	の法定				を行い、安全	
の目									きる	5状	態にし	ょす	0			
的																
			、資器材				の車両の	の維	持管	理	を行い	ます	0			
事業			年度対象 用車4両				·	カロ	バフ	1 6	#)					
			: 用 単 4 P 年度整備			О [Щ]	I, Y45	/ Ц.	/ \	\ 1	щJ <i>)</i>					
の内			13件、			1件	:									
容																
開	始	年 度	昭和	23	年度	根据	処法令・	要網	岡等	道路	各運送	車両	法			
事	業費	• 人員	16年度決算	算額	17年度決	:算額	18年度予算	算額	計	画	名古園	是新世	紀記	計画2010第	2次実施計画	無 頁
事訓	業費(千円)	1, 9	15	1,	866	1, (644	掲	+15	個別計	画				頁
財	国・原	表出支票			<u> </u>				事	業0	り実績	単位		16年度	17年度	目標18年度
• • •		方 債							•		7 7 (1)					1 1 1 1 2
		/							1	対象	東南	数一両		11	11	10
		以 財源			 1	866		644					╁			
	員数). 1	•	0. 1	· ·	0. 1	2							
4194			的の成果					票設:	定の	きき	方	単位		16年度	17年度	目標 年度
成		****				环	車両を									
150			整備点標	食件	数		必要な					Í		16	14	
果	1	١				٦	標としる	ます	0			件	目	標	目標	_
-14						•]							(()	
指						-							Ť		,	
標	2	ſ				٦							目	標	目標	
		[—				•]							()	()	
					事業開	見始 日	時からの)状》	兄変	化及	び事	業のi	りょう とうしゅ とうしゅ とうしゅ かいし とうし とうし とうし とうし とうし とうし とうし とうし とり	善 点等		
															費の車両の点	
すっ	べて巨	見間と ಶ	契約する	かに	併せて	契約	りし、ス	ケー	ール)	メリ	ットつ	で単位	を	下げるこ	とに努めまっ	ナ。
							市訓	评価								総合評価
評	有	効 性	4	業	養を円	滑に	こ遂行で	きる	らよ	うに	、車	可を通	切	Jに維持管	理します。	
	_	成 度														В
<i>Ι</i> π-		<u>冷 及</u> 率 性	_													
価	الالا	+ II	J		<i>5</i> =	∓ਜਮ≡	评価委員	<u>ه</u>) th :	⊈ए ≣स	/ 带					総合評価
1	- のす	三米ノンナ	付するコ	<i>\\</i>					ノフト	마하다	ТШ					心口計画
(,	_ Vノ寺	≠æ≀⊂X	リソるユ	<i>^ /</i>	いけめ	ソヨ	トピル。,)								_

-	事;	業 名	予防活動用	車両管理事	務		143 予		一般会計 消防費		01
1	邹	門	災害の防止				210 費		消防費		01
	······ 施			民を守る体	制の整備		2 目		予防活動費	,	02
1	作成	部署	消防局総務	部施設課		50	01 03 連絡	各先	972-3518		I
事業の目的		予防活動	対象(誰? 用車両	を・何を)				に検	、臨時整備	こしたいのか を行い、安全	
事業の内容	(h) 2 (h) 2	平成 1 7 勺訳:広報 平成 1 7 勺訳:法?	年度整備点 定点検 23	而 152 物車2両、 検件数 2 件、臨時整何	両 査察車16両 6件 備3件)	Ī, ¬				自転車129)	両)
開	始	年 度	昭和 23				道路運送車	「両治	去		
事	業費	・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	н і	Ξ.		紀計画2010第	2次実施計画	無頁
事第	養	(千円)	4, 089	3, 168	2, 961	掲	載個別計画				頁
財	国・	県支出金				事	業の実績	単位	16年度	17年度	目標18年度
源	地	方 債					业色士工业	H	010	150	1.50
内	その	———— 他特定財源				(1)	対象車両数	両	219	152	150
訳	_ :	般 財 源	4, 089	3, 168	2, 961						
職	員数	(人)	0.3	0.3	0.3	2					
	1	事業の目	的の成果を	測る指標	指標設	定の	考え方	単位	16年度	17年度	目標 年度
成果	1	事業の目	的の成果を 整備点検件			持す	けるために	単位件	25	26	目標 年度
果		事業の目 			車両を維 必要な整備	持す	けるために				目標 年度
				+数	車両を維 必要な整備	持す	けるために		25	26	目標 年度
果				+数	車両を維 必要な整備	持す	けるために		25	26	目標 年度
果指	1			+数]	車両を維 必要な整備 します。	持刻点数	けるために	件	25 目標 () 目標 ()	26 厚 標 ()	目標 年度
果指標	(1)	[—	整備点検件	+数]	車両を維 必要な整備 します。	况变	するために 效を指標と 化及び事業	件の改	25 目標 () 目標 () X善点等	26 厚 標 ()	_
果 指 標 しま	① ② ② Z Z C C C C C C C C C C C C C	[—— 1 6年度 平成1	整備点検件に業務に使用	= 数 事業開始 事まの 事まの 事まの 事まの 事まの 事まの 事まの 事まの	車両を維 必要な整備 します。 時からの状 付自転車の数 古屋市防災管	 持点数 欠 の 理	けるために 対を指標と 化及び事業 見直しを行い 公社で実施し	件の改有いて	25 ^{目標} () X善点等 「効に活用すった消防活動	26 目標()	を圧縮しま
果 指 標 しま	① ② ② Z Z C C C C C C C C C C C C C	[—— 1 6年度 平成1	整備点検件に業務に使用	= 数 事業開始 事まの 事まの 事まの 事まの 事まの 事まの 事まの 事まの	車両を維 必要な整備 します。 時からの状 付自転車の数 古屋市防災管	持点の大変を見る。	けるために 対を指標と 化及び事業 見直しを行い 公社で実施し	件の改有いて	25 ^{目標} () X善点等 「効に活用すった消防活動	26 目標 () 目標 () ることで経費 費の車両の点	を圧縮しま
果 指 標 The first of the firs	① ② 成。た民 有達	1 6年度 1 6年度 間と契約 効 性 成 度	整備点検件 に業務に使用 9年度から、 するのに併せ	+数 事業開始 事業開始 する原動機 財団法人名 せて予防活動	車両を維 必要な。 時からの状 付自転車の数 古屋両も数 市評価	持点の変を見し、	けるために 対を指標と 化及び事業 見直しを行い 公社で実施し	件 の され いッ	25 ^{目標} () X善点等 「効に活用すった。 かたで単価を	26 目標 () ることで経費 費の車両の点 下げることに	を 圧縮 しま 検整備 をす 努めます。
果 指 標 The Table To Table T	① ② 成。た民間	[1 6 年度 間と契約 効 性	整備点検件 に業務に使用 9年度から、 するのに併せ	=数 事業開始 事業開始 事業開始 財団法人名 大て予防活動 養務を円滑に	車両を維備 必要す。 おり おり おり おり おり できる できる できる できる できる かい	持成 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一	けるために 数を指標と 化及び事業 配性で実施リンスケールメ うに、車両	件 の され いッ	25 ^{目標} () X善点等 「効に活用すった。 かたで単価を	26 目標 () ることで経費 費の車両の点 下げることに	を 圧縮 しま 検整 構をす。 総合評価
果 指 標 「 」	① ② 成。た民 有達効	16年度1 加度 加度 大変 大変 大変 大変 大変 大変 大変 大変	整備点検件 に業務に使用 9年度から、 するのに併せ	#数 事業開始 事業開始 事業開始 財団法人名動 大子 大子 大子 大子 大子 大子 大子 大子 大子 大子	車を維備 必ます。 時からの の が あ事 防型 市所も 事で で きる で で で で で を が が が が が が が が が が	持成 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一	けるために 数を指標と 化及び事業 配性で実施リンスケールメ うに、車両	件 の され いッ	25 ^{目標} () X善点等 「効に活用すった。 かたで単価を	26 目標 () ることで経費 費の車両の点 下げることに	を 圧縮 しま 検整備をす 努めます。 総合評価

													<u> </u>			
1	事業	名	消防活動	用車	工両等管理	事務					予会		一般会計 消防費			01 09
- 3	部	門	災害の防	11:					(210 5			消防費			09
	加	<u>」」</u> 策			を守る体	制の整備	ti ii				- I		消防活動費	,		03
,	<u>况</u> 作成音		消防局総			161 .> TE NI		0	01			-	972-3518			
事			対象(i						~ ~					こしたいのか	١)	
業	消	防車両	i及び装備	<u> </u>				消	当防活	5動に	こ必要	更7	な車両及び	装備を有効に	こ運用でき	き
の目							る	体	は制る	/維持	まし 言	ŧ-	す。			
的																
								横	色、鼠	高時團	を備る	と名	ううととも	に、各種器具	具、燃料、	
事			ホース、年度対象			≦慵します 5 1 両及ひ										
業									加重司	ī 8 :	3 両.	ý	肖防艇等 3	隻)		
の内			年度整備			60件	<u> </u>	-		, 0	- 1· 3 (•	11/1/1/10	~/		
容			定点検3						_				_	• \		
_	(—	部事業	を防災管	理公	社に委託	上: 委託料	<i>∤</i> 3,	54	46干	円、	補助	金	88, 370 ₹	-円)		
開	始	年 度	昭和 2	23 左	年度 根	処法令・引	要綱等	宇	道路	運送	車両	法	、労働安全	衛生法、高圧	Eガス保安	法法
事	業費・	人員	16年度決算	額 17:	年度決算額	18年度予算	額	<u>.</u>	画	名古月	星新世	±糸	2計画2010第	2次実施計画	無	頁
事第	養人	千円)	335, 0	08	346, 744	326, 0	89 ‡	曷	載	固別計	画					頁
財	国・県	支出金					3	事	業の	実績	単	立	16年度	17年度	目標18年	F度
源	地 :	-					-	Ţ	対象	車両						
内		 特定財源					1		数等		可	ij	352	354	345	
		 : 財 源)8	346, 744	326, 0	89	1			+					
				8	3.8		$\frac{65}{8}$ 2									
	事	業の目	的の成果	を測			設定の	の	考え	方	単作	立	16年度	17年度	目標 年	度
成			敢/# 上北	> (tr */	La	車両等							1 104	000		
			整備点椅	2十岁	X	ために必				京検性		L	1, 124	988		
果	1	ſ			٦	数を指標	きとし	゛゙゙゚゚	= ⁻ 9 °		作	۲	目標	目標	_	
													()	()		
指																
	2															
標		[]								目標	目標		
		l			J							_	()	()		
	- 5		<u> </u>		•	時からの						-			+/. /./.	,
														(急車の点検 務のあり方		
			也に経負り 本的な検言				/ / =	1 •	/ /	/ / ·	27F)	IJĶ	し、笠畑未	(4分(ソ(8)) ソ ノ)	快的安貝	五
<u> </u>	т	/ 11	7 0. 1944	, , ,	• • • • • •	-0									/:: A	_
≘ क	I .			沙出 7十二	江動 かたこ	市評		古	ナルト	ドムー	.十7	Þ	後年出 ひょどか	た	総合評	価
計	有:	効 性	4											気呼吸器等の めには、これ		
	達	成 度		の装	備を常に良	と好な状態!	こ維持、	す	る必要	要があ	っりま	す	0		A	
価	効	率 性	3 2			きとして平原 更なる経費							快登惼を氏間	委託化するこ		
						平価委員会					•				総合評	価
(3	_ の事	業に対	付するコス	レント	トはありる	ません。)										
															٨	
															A	

								ヘニ	二机公乱		Λ1
	事	業 名	消防車両等	整備事業			145 予	会計	一般会計 消防費		01
	部	門	災害の防止				210 費				01
	施	 策		民を守る体	制の整備		2 目		施設整備費	,	05
•	作成	部署	消防局総務	部施設課		50	01 03 連絡	各先	972-3518		,
事			対象(誰る	を・何を)						こしたいのか	
業の	Ý	消防車両	等							なる車両等に	こついて、
目						更新	所及び増強を	と行い	ないます。		
的	_	±47.//∠1	4. 沙肚古玉	ナ、田鉱)	沙水中中公公子	生山;	ナウルコロナ	.	トるにナフ	1、1、4 /テ - 4分	終め大生な
l		と竹化し ります。	/に併約平凹	を 史 利 し、	用例例火件	中リい	- × 早か山は	C (' '	よりにりつく	とともに、機	能的冗夫を
事業			年度更新車	:両】							
まの						両、	救助車2両	可、扌	指揮車6両、	輸送車8両	j、ボンベ搬
内	送]	車1両、	大型バス1	両、中型バ	ス1両、						
容											
開	始	年 度	昭和 23	年度 根据	処法令・要約	岡等	自動車から排出される3	窒素酸化	(物及び粒子状物質の特別	E地域における総量の削減	(等に関する特別措置法
事	業費	員人・	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	ні	—	折世紀	紀計画2010第	2次実施計画	有 60 頁
事美	美費	(千円)	864, 555	1, 145, 758	611, 470	掲	載個別計画				頁
財	国•	県支出金	26, 900	183, 106	25, 000	事	業の実績	単位	16年度	17年度	目標18年度
源	地	方 債	812,000	901, 000	559, 000	1	更新整備	H	20	4.77	00
内	その	他特定財源	10, 695	35, 437	3, 120	1	車両数	両	32	47	22
訳	_	 般 財 源	14, 960	26, 215	24, 350						
職	員数	女 (人)	1.8	2. 1	1.5	2					
1.54											
124	_	事業の目	_ 的の成果を	測る指標	指標設	定の)考え方	単位	16年度	17年度	目標18年度
成	_	事業の目	_ 的の成果を	測る指標	更新計画	車同	5数に対す	単位			目標18年度
	Ę	事業の目		測る指標	更新計画る更新の実	車同	5数に対す		16年度 100	17年度 100	
	_	事業の目 	_ 的の成果を		更新計画	車同	5数に対す	単位			目標18年度 100
成果	Ę	事業の目 	的の成果を 達成率	数]	更新計画る更新の実	車同	5数に対す		100	100	
成	Ę		的の成果を 達成率 更新車両	数]	更新計画る更新の実	車同	5数に対す		100目標	100	
成果指	1	[—	的の成果を 達成率 更新車両	数]	更新計画る更新の実	車同	5数に対す		100目標	100	
成果	Ę	[—	的の成果を 達成率 更新車両	数]	更新計画る更新の実	車同	5数に対す		100目標	100	
成果指	1	[—	的の成果を 達成率 更新車両	数]	更新計画る更新の実とします。	施書	可数に対す 割合を指標	%	100 目標 (100) 目標 ()	100 目標 (100)	
成果指標	1 2		的の成果を 達成率 更新車両 更新計画車	数 両数 	更新計画 る更新の実 とします。 時からの状	元	可数に対す 割合を指標 化及び事業	% の _は	100 目標 (100) 目標 () 文善点等	100 目標 (100) 目標 ()	100
成果指標	① ② 平成	[— [—	的の成果を 達成率 更新車両 更新計画車	数 両数] 事業開始 「屋市が自動	更新計画 る更新の実 とします。 からの状況 か事から排出	アンドル である できます できます こうしょう こうしょう こうしょう こうしょう こうしょう しょう こうしょう しょう こうしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	「数に対す 割合を指標 化及び事業 れる窒素酸	% の改 比物	100 目標 (100) 目標 (、100) 達点等 及び粒子状	100 目標 (100) 目標 ()	100
成果指標	① ② 平成 金量	[的の成果を 達成率 更新車両 更新計画車 10月に名さ 等に関する特	数 両数] 事業開始 事業開始 言屋市が自動 等別措置法	更新計画 る更新の実 とします。 からの状況 か事から排出	アンドル である できます できます こうしょう こうしょう こうしょう こうしょう こうしょう しょう こうしょう しょう こうしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	「数に対す 割合を指標 化及び事業 れる窒素酸	% の改 比物	100 目標 (100) 目標 (、100) 達点等 及び粒子状	100 目標 (100) 目標 ()	100
成果指標	① ② 平成 金量	[的の成果を 達成率 更新車両 更新計画車	数 両数] 事業開始 事業開始 言屋市が自動 等別措置法	更新計画 る更新の実 とします。 からの状況 か事から排出	アンドル である できます できます こうしょう こうしょう こうしょう こうしょう こうしょう しょう こうしょう しょう こうしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	「数に対す 割合を指標 化及び事業 れる窒素酸	% の改 比物	100 目標 (100) 目標 (、100) 達点等 及び粒子状	100 目標 (100) 目標 ()	100
成果指標	① ② 平成 金量	[的の成果を 達成率 更新車両 更新計画車 10月に名さ 等に関する特	数 両数] 事業開始 事業開始 言屋市が自動 等別措置法	更新計画 る更新のよう とします。 からの状況 か事から排出 (自動車NC	東京 施書 かま	「数に対す 割合を指標 化及び事業 れる窒素酸	% の改 比物	100 目標 (100) 目標 (、100) 達点等 及び粒子状	100 目標 (100) 目標 ()	100 地域におけ O 、消防車
成果指標	① ② P 成量 D	[的の成果を 達成率 更新車両 更新計画車 10月に名古 等に関するを 制の対象とな	数] 両数] 事業開始に 計量所計量 計別ました。	更新計画 る更新のよう とします。 からの状況 加車から排出 (自動車NC	東京 施書 ン ス シ ス	「 化及び事業 れる窒素酸 ・ P M法)の	% の む と物適	100 ^{目標} (100) ^{目標} (100) X善点等 及び粒子状用される対	100 ^{目標} (100) ^{目標} () 物質の特定は 策地域になり	100
成果指標	① ② P 成量 D	[的の成果を 達成率 更新車画 更新計画車 10月に名さ 等に関するを 制の対象とな	数 両数 事業開始 計量 計量 計量 計量 計量 計算 計算 計算 計算 計算 計算 計算 計算 計算 計算	更新計画 更更新のよう をします。 時からの状 加車動車NC 市評価 に行うために	東応 施 き は、 な え な え 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	「 化及び事業 れる窒素酸 ・ P M法) の 老朽化した車	% のは と か 適	100 ^{目標} (100) ^展 (100) X善点等 及 善点等 及される対	100 ^{目標} (100) ^{目標} (100) 物質の特定は 策地域になり 整備する必要	100 地域におけ O 、消防車
成果指標	① ② 成量多	[] [] (] 4年 の削減 くが規制	的の成果を 達成率 更新計画車 10月に名名を 第10分割をとなる。 第10分割をとなる。 第10分割をとなる。 10分割をと。 10分割をとなる。 10分割をとなる。 10分割をとなる。 10分割をとなる。 10分割をとなる。 10分割をとなる。 10分割をとなる。 10分割をとなる。 10分割をとなる。 10分割をとなる。 10分割をとなる。 10分割をとなる。 10分割をと。 10分割を 10分 10分割を 10分 10分 10分 10分 10分 10分 10分 10分 10分 10分	数	要新計画 要更ます。 おいよのの おいまでは、 おいまでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	車施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	が表に対す 割合を指標 化及び事業 れる窒素酸(・ P M 法) の 老朽化した東 使用部品及び	%というでは、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個	100 F標 (100) F標 (100) F A A A A A A A A A A A A A	100 目標 (100) 目標 (100) り を が で が で が で が に な い を が に な が と と に に の は に に が に に が に に に が に に に に に に に に に に に に に	100 地域におけ O 、消防車
成果指標 ふ両 評	1 1 2 成量多 有達	1 4年 のが規約 効性	的の成果を 達成率 更新計画車 10月に4名を 第10分割の対象となる。 10月に4名を 10分割の対象となる。 10月に4日のは4日のは4日のは4日のは4日のは4日のは4日のは4日のは4日のは4日のは	数	要更します。 一時からの状況 からの排出の では、多様は では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	車施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	「 化及び事業 れる窒素酸 ・ P M法) の 老朽化した車	%というでは、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個	100 F標 (100) F標 (100) F A A A A A A A A A A A A A	100 目標 (100) 目標 (100) り を が で が で が で が に な い を が に な が と と に に の は に に が に に が に に に が に に に に に に に に に に に に に	100 地域におけ り、消防車 総合評価
成果指標	1 ② 成量多	1 4年減 が規 効 性 成 度	的の成果を 達成率 更新計画車 10月に4名を 第10分割の対象となる。 10月に4名を 10分割の対象となる。 10月に4日のは4日のは4日のは4日のは4日のは4日のは4日のは4日のは4日のは4日のは	数 両 数	更更とと	東施 兄さx は程 化や	「数に対す 対合を指標 化及び事業 れる窒素酸(・PM法) の 老朽化した及 を用の示す標準	%というでは、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個	100 F標 (100) F標 (100) F A A A A A A A A A A A A A	100 目標 (100) 目標 (100) り を が で が で が で が に な い を が に な が と と に に の は に に が に に が に に に が に に に に に に に に に に に に に	也域におけ)、消防車 総合評価
成果指標	1 2 成量多 有達効	1 4 前	的の成果を 達成率 更新計画車 10月に名る特別の対象となる 4 がウェッド	数	時からの状況の 一時からの状況の 一時では、 一は、 一は、 一は、 一は、 一は、 一は、 一は、 一	東施 兄さx は程 化や	「数に対す 対合を指標 化及び事業 れる窒素酸(・PM法) の 老朽化した及 を用の示す標準	%というでは、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個	100 F標 (100) F標 (100) F A A A A A A A A A A A A A	100 目標 (100) 目標 (100) り を が で が で が で が に な い を が に な が と と に に の は に に が に に が に に に が に に に に に に に に に に に に に	100 地域におけ り、消防車 総合評価
成果指標	1 2 成量多 有達効	1 4 前	的の成果を 達成率 更新計画車 10月に4名を 第10分割の対象となる。 10月に4名を 10分割の対象となる。 10月に4日のは4日のは4日のは4日のは4日のは4日のは4日のは4日のは4日のは4日のは	数	時からの状況の 一時からの状況の 一時では、 一は、 一は、 一は、 一は、 一は、 一は、 一は、 一	東施 兄さx は程 化や	「数に対す 対合を指標 化及び事業 れる窒素酸(・PM法) の 老朽化した及 を用の示す標準	%というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	100 F標 (100) F標 (100) F A A A A A A A A A A A A A	100 目標 (100) 目標 (100) り を が で が で が で が に な い を が に な が と と に に の は に に が に に が に に に が に に に に に に に に に に に に に	也域におけ)、消防車 総合評価

-	事	業 名	防災施設の	管理			146			一般会計 消防費		01
	部		災害の防止				210	費	項	消防費		01
7	施	策	災害から市	民を守る体	制の整備		2	目	目	防災対策費		04
•	作成	部署	消防局防災	部防災室		50 01	04	連絡	先	972-3522		
事			対象(誰る	・何を)			意	図(: ځ)	ういう状態に	にしたいのか	N)
業の目的	Ī	市民									情報の伝達がを確保します	
事業の内容	3	広域避 情報伝達 災害を407 話を407 電話を77	台配置しまし 災害対策本部 台配置しまし 幾能維持のた	79箇所 との間に高さ た。 と、庁舎移 た。 め、平成1	平成17年 速ファクシミ 転に伴い移動 6年度に16	リを7 かをする。 区5支	台、5 各本部 所に3	災害3 部と4 発電月	対策 の連 照明	絡手段を確保 を配置しま	区本部との 呆するために、 した。	
開	始	年 度	昭和 52	年度 根据	処法令・要約	岡等 災生	害対策	策基	本法	Ė		
事	業費	・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	н і —	名古	屋新	f世紀	記計画2010第	2次実施計画	無 頁
事第	美費	(千円)	14, 284	5, 251	4, 537	掲載	個別	計画				頁
財	国 •	県支出金				事業	の実績	績	単位	16年度	17年度	目標18年度
源	地	方 債					勺板、					
	<u></u>	· - · · · · · · · · · · ·				1 識性		•	本	14	14	14
訳	 -	 般 財 源	14, 284	5, 251	4, 537		<u> </u>					
職	員数	女 (人)	0.5	0. 5	0. 5	2						
	1	事業の目	的の成果を	測る指標	指標設	定の考	え方		単位	16年度	17年度	目標18年度
成		更新率			広域避難 が掲載され					77	84	
果	1	[案	内板等の延~ 内板等の総		板・標識柱を指標とし	の延べ			%	目標(100)	目標(100)	100
指		<i>C</i> //C	1 3 100 13 17 17 17	<u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>						100 /	7	
標	2	[—]						目 標 ()	目 標 ()	
				事業開始	時からの状え	況変化』	及び事	事業(の改	善点等		
配置	置し また	ました。									ため、衛星技 資器材を配詞	
					市評価							総合評価
評	有	効 性			全な避難場所							
	達	成 度			り、今後もF 设置を進める						域避難場所制の確立を	Α
価	効	率 性		必要があり			•	1.12.	• 0.	11,7,7,7,7,7	,,,,	
			,	行政記	评価委員会の	の外部部	平価					総合評価
(3	<u>_</u> (1)	事業に対	すするコメン	/トはありま	きせん。)							
												Α

										<u> </u>		
Ţ	事 氵	業名	防災関係組	織運営事務				147 予	会計款	一般会計 消防費		01
ì	部	門	災害の防止					210 費	項	消防費		01
1	施	策	災害から市	民を守る体	制の整備			2 目	目	防災対策費	,	04
1	作成	部署	消防局防災	部防災室		50	01	04 連絡	格先	972-3522		•
事			対象(誰を	・何を)				意図	ع)	ういう状態	こしたいのか	١)
業	[5	坊災関係	機関等			Ś	災害?	対策を	円滑	にするため	に、防災関係	系機関等と
の目										民が安全安	心に暮らせる	らまちづく
的						りを	をめる	ざしまっ	す。			
	1	愛知県	、愛知県警	、陸上自衛	隊、名古屋	海」	上保罗	安部等の)防	災関係機関。	との情報交換	を行う場
事			「防災連絡									
業	2		県と広域災					昇催しる	まし7	た。(平成)	17年度 3	回開催)
の	3		などへ防災 対応用 被					2 (田公)				
内	4								テカラ	ため 巛宝	対策支援情報	ヨネットワ
容			用していま		V / / C H + K	建州	псі	1111101	1) /		7.水人及用书	
		/ C.XE	7110 (1 %	7 0								
開	始	年 度	昭和 46	年度 根拠	処法令・要約	岡等	災害	三対策基	本治	去		
事	業費	・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	計	画	名古屋籍	新世紀	紀計画2010第	2次実施計画	無 頁
事第	美費	(千円)	28, 307	22,657	22, 260		+15	個別計画				頁
財	围•	県支出金	,	,	,	車	業2	実績	単位	16年度	17年度	目標18年度
• • •		方 債				7	1		T _	10-12	17-12	
						1		B交換)実施	□	6	6	8
		他特定財源 					五0.	チル				
訳		般財源	28, 307	22, 657	22, 260	2		え服の こ	着	684	665	650
職		(人)	1.5	1. 5	1.5)	配置	Ī		001		
	哥	事業の目	的の成果を	測る指標	指標設	定の)考え	方	単位	16年度	17年度	目標18年度
成					綿密な連	携を	と図	り、円	単位			目標18年度
成			的の成果を 実施回数		綿密な連 滑な災害対	携を	を図 が行;	り、円 えるこ		16年度 6	17年度 6	
成果					綿密な連	携を	を図 が行;	り、円 えるこ	単位			目標18年度
					綿密な連 滑な災害対	携を	を図 が行;	り、円 えるこ		6 標	6	
					綿密な連 滑な災害対	携を	を図 が行;	り、円 えるこ		6 標	6 標	
果	1				綿密な連 滑な災害対	携を	を図 が行;	り、円 えるこ		6 標	6 標	
果指					綿密な連 滑な災害対	携を	を図 が行;	り、円 えるこ		6 目標 (6)	6 目標 (6)	
果	1				綿密な連 滑な災害対	携を	を図 が行;	り、円 えるこ		6 目標 (6)	6 目標 (6)	
果指	1]	綿密な連 滑な災害対 とを指標と	携でしている。	を図り が行; ます。	の、円 えるこ <u></u>	□	6 目標 (6)	6 目標 (6)	
果指標	1	検討会 {	実施回数]] 事業開始	綿密な連滑な災害対 とを指標と	携をしている。	を図が行; ます。 化及	の、円 えるこ : び事業	回	6 目標 (6) 目標 (m) 文善点等	6 目標 (6) 目標 ()	6
果指標	②	検討会は、各関	実施回数	〕 事 業開始 ほ に情報交換	綿密な連 滑な災害対 とを指標と 時からの状 を行ってい	携応し、アンスの大変を	を図が行; ます。 に化及 した	の、円 えるこ び事業 が、効:	回率的	6 目標 (6)) 目標 (m) 対善点等 な情報交換	6 目標 (6) 目標 ()	6 平成15年
果指標度	① ② 逆前ら	検討会会は、大学のでは、大学のは、大学のでは、まりには、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、まりには、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	実施回数 ち災機関ごと	事業開始 ・ ・ に情報交換 ・ ・ ・開催し、愛	綿密な連 滑な災害対 とを指標と 時からの状 を行ってい	携応し、アンスのでは、アンスので	を図が行; ます。 に化及 した	の、円 えるこ び事業 が、効:	回率的	6 目標 (6)) 目標 (m) 対善点等 な情報交換	6 目標 (6) 目標 ()	6 平成15年
果指標度	① ② 逆前ら	検討会会は、大学のでは、大学のは、大学のでは、まりには、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、まりには、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	実施回数	事業開始 ・ ・ に情報交換 ・ ・ ・開催し、愛	綿密な連 滑な災害対 とを指標と 時からの状 を行ってい	携応し、アンスのでは、アンスので	を図が行; ます。 に化及 した	の、円 えるこ び事業 が、効:	回率的	6 目標 (6)) 目標 (m) 対善点等 な情報交換	6 目標 (6) 目標 ()	6 平成15年
果指標度	① ② 逆前ら	検討会会は、大学のでは、大学のは、大学のでは、まりには、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、まりには、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	実施回数 ち災機関ごと	事業開始 ・ ・ に情報交換 ・ ・ ・開催し、愛	綿密な連 滑な災害対 とを指標と 時からの状 を行ってい	携応し、アンスのでは、アンスので	を図が行; ます。 に化及 した	の、円 えるこ び事業 が、効:	回率的	6 目標 (6)) 目標 (m) 対善点等 な情報交換	6 目標 (6) 目標 ()	6 平成15年
果指標度	① ② 逆前ら	検討会会は、大学のでは、大学のは、大学のでは、まりには、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、まりには、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	実施回数 ち災機関ごと	事業開始 ・ ・ に情報交換 ・ ・ ・開催し、愛	綿密な連 滑な災害対 とを指標と 時からの状 を行ってい	携 た に 兄 変 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を図が行; ます。 に化及 した	の、円 えるこ び事業 が、効:	回率的	6 目標 (6)) 目標 (m) 対善点等 な情報交換	6 目標 (6) 目標 ()	6 平成15年
果 指 標 夜 様	① ② 前ら関	検討会会は、各別のでは、一個では、一個では、一個では、各別のでは、自然の	実施回数 5災機関ごと 連絡を行って	事業開始 事業開始 に情報 に開催し、 で で で で で で で で で で で で の で で で の で で り で う で う で う で う で う で う で う で う で	綿 線 線 り に は は に は に に に に に に に に に に に に に	携応し、現まり、東東	を 図 行 ま 化 た 本 地	の 、る 円 こ で 事 効 上 震 、 東	ので変革	6 目標 (6)) 7善点等 な名 本情報 な名 ・南海地震	6 目標 (6)) 目標 (b) で、 とい等の 上保安部等の	6 平成15年 7)各防災関
果 指 標 夜 様	① ② 前ら関	検討会: (本の では では では では では では では では	実施回数 5災機関ごと 5終会議」 5 5 5 5 5 6 6 6 6 6 6 6 7 6 7 6 7 6 7 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	事業開始 事業開始を で開催し、愛 で開催す。 で後、発生かた で、発生かた	#な #な #な #な #な #な #な #な #な #な	携応し、現なり、東京の東京に対している。	を が は で と で と と と と と と に た 、 し と に も れ に に に れ に に に に に に に に に に に に に	の 、る 円 こ で 事 効 上 震 、 東	ので変革	6 目標 (6)) 7善点等 な名 本情報 な名 ・南海地震	6 目標 (6) の場として、 上保安部等の	6 平成15年 內各防災関 総合評価
果 指 標 夜 様	① ② 前ら関 有達	検 検 言 に に に に に に に に に に に に に	実施回数 5災機関ごと 5災機議」 1 4 4 がのカ	事業開始 事業開始を で開催し、愛 で開催す。 で後、発生かた で、発生かた	綿 線 線 り に は は に は に に に に に に に に に に に に に	携応し、現なり、東京の東京に対している。	を が は で と で と と と と と と に た 、 し と に も れ に に に れ に に に に に に に に に に に に に	の 、る 円 こ で 事 効 上 震 、 東	ので変革	6 目標 (6)) 7善点等 な名 本情報 な名 ・南海地震	6 目標 (6)) 目標 (b) で、 とい等の 上保安部等の	6 平成15年 7)各防災関
果 指 標 夜 様	① ② 前ら関	検討会: (本の では では では では では では では では	実施回数 5災機関ごと 5終会議」 5 5 5 5 5 6 6 6 6 6 6 6 7 6 7 6 7 6 7 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	事業開始 事業開始を で開催し、愛 で開催す。 で後、発生かた で、発生かた	#な #な #な #な #な #な #な #な #な #な	携応し、現なり、東京の東京に対している。	を が は で と で と と と と と と に た 、 し と に も れ に に に れ に に に に に に に に に に に に に	の 、る 円 こ で 事 効 上 震 、 東	ので変革	6 目標 (6)) 7善点等 な名 本情報 な名 ・南海地震	6 目標 (6)) 目標 (b) で、 とい等の 上保安部等の	6 平成15年 內各防災関
果 指 標	① ② 前ら関 有達	検 検 言 に に に に に に に に に に に に に	実施回数 5災機関ごと 5災機議」 1 4 4 がのカ	事業開始 に 事業開始を 宇開発で に開催す。 で後、一般に で表に で表に で表に で表に で表に で表に で表に で表	#な #な #な #な #な #な #な #な #な #な	携応し、一般なり、東定まで、一般なり、一般なり、一般なり、一般なり、一般なり、一般なり、一般なり、一般なり	をがまれた。	の 、 で 、 で 、 、 、 と 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	ので変革	6 目標 (6)) 7善点等 な名 本情報 な名 ・南海地震	6 目標 (6)) 目標 (b) で、 とい等の 上保安部等の	6 平成15年 內各防災関
果 指 標	① ② 前6関 有達効	検	実施回数 5災機関ごと 5災機議」 1 4 4 がのカ	事業開始 事業開始 に開催し、 で開催し、 ででである。 ででである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でのよう。 でのまる。 でのま。 でのまる。 でのま。 でのまる。 でのま。 での。 での。 でのま。 での。 での。 での。 での。 での。 での。 での。 での。 での。 での	時からの状 海な指標と 特からので からので でで でで でで でで でで でで でで でで でで	携応し、一般なり、東定まで、一般なり、一般なり、一般なり、一般なり、一般なり、一般なり、一般なり、一般なり	をがまれた。	の 、 で 、 で 、 、 、 と 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	ので変革	6 目標 (6)) 7善点等 な名 本情報 な名 ・南海地震	6 目標 (6)) 目標 (b) で、 とい等の 上保安部等の	6 平成15年 內各防災関 総合評価
果 指 標	① ② 前6関 有達効	検	実施回数 5災機関ごと 5災機議」 5 5 5 5 6 6 6 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	事業開始 事業開始 に開催し、 で開催し、 ででである。 ででである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でのよう。 でのまる。 でのま。 でのまる。 でのま。 でのまる。 でのま。 での。 での。 でのま。 での。 での。 での。 での。 での。 での。 での。 での。 での。 での	時からの状 海な指標と 特からので からので でで でで でで でで でで でで でで でで でで	携応し、一般なり、東定まで、一般なり、一般なり、一般なり、一般なり、一般なり、一般なり、一般なり、一般なり	をがまれた。	の 、 で 、 で 、 、 、 と 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	ので変革	6 目標 (6)) 7善点等 な名 本情報 な名 ・南海地震	6 目標 (6)) 目標 (b) で、 とい等の 上保安部等の	6 平成15年 內各防災関 総合評価

4経常的事務事業

A

	事	業 名	国民保護業	務				148 予 算		一般会計 消防費			01
	部	門	災害の防止					210 費		消防費			01
	施	策	災害から市	民を守る体	制の整備			2 目	目	防災対策費	, 		04
	作成	部署	消防局防災	.部防災室		50	01	04 連	絡先	972-3591			•
事			対象(誰を	と・何を)				意図			こしたいのか		
業の目的		名古屋市				及び	が財産	を保護す	トるた	めに、本市に	災害から国民の おける国民の(を整備します。	呆護の	、身体 ための
事業の内容	・国 ・国 H: H:	国民の保護 国民保護 (17.7.19・2 17.11.27 呂古屋市[20: 「防災危机 : 「平成17年』	民行動調査の 研修の実施 機管理ブロック 度福井県におい 本部及び名	(H17.5.24: クラボ」、H17 ける国民保護領 古屋市緊急丸	'. 10. 実動詞	16 : 訓練」	「国民仍	装護タ		ミナー」、 ング イン 『	東京」	
開	始	年 度	平成 17	年度 根据	処法令・要約	岡等	国月	民保護法	Ė				
_		・人員	16年度決算額		18年度予算額	1 11	_			紀計画2010第	2次実施計画	無	頁
_		(千円)		1,810	5, 800			個別計画					頁
,,,	-	県支出金				事	業(の実績	単位	16年度	17年度	目標	年度
源	<u></u>	_ 方_ 債				1		尼行動調	%	_	53. 7	50 ((H17)
内		他特定財源 					金0	実施	, , ,		00.1		(111.)
訳		般財源		1,810		2							
		r (1 0	1 0	\sim							
職	員数			1.0	1.0	<u> </u>							105-
			的の成果を		指標設				単位	16年度	17年度	目標	18年度
成					指標設 本市の国	民傷	呆護	計画を	単位	16年度	17年度 54	目標	18年度
成		事業の目	収率	測る指標	指標設 本市の国 作成する基 ため、市民	民供 礎資 行動	R護 資料 動調	計画をとする	単位 %	_	54	目標	18年度 —
	Ę	事業の目 有効回		測る指標	指標設 本市の国 作成する基 ため、市民 施し、その	民供 礎資 行動	R護 資料 動調	計画をとする		16年度 — 目標 ()	54	目標	18年度 -
成	Ę	事業の目 有効回 〔 〔 2,50	収率 有効回収 ^{0人(アンケート}	測る指標	指標設 本市の国 作成する基 ため、市民	民貨工	保護 資料 助調 又率	計画をるを指標		_	54	目標	18年度 -
成果指	1	事業の目 有効回	収率 有効回収 ^{0人(アンケート}	測る指標	指標設 本成のる基 ためし、ま市のと をしますの。 案に対し	民保護 一民保護 一民代	保資助又 保かる 護り	計と査を 画すを指 画意 動意見	%	_	54		_
成果	Ę	事業の目 有効回 (<u>2,50</u> 意見提	収率 有効回収 ^{0人(アンケート}	数 一 一	指標設本成めし、ま市対り、ままで、国国・大学ののでは、ままでのでは、ままがのでは、	民礎行回 民民規	展育助又 保い是 護料調率 護ら出	計と査を 画すを指 画意 動意見		_	54		18年度 - 54
成果指	1	事業の目 有効回 (2,50 意見提 (H16年	収率 有効回収 ^{0人(アンケー)} 出者数	測る指標 数	指標設作がためと、実を指標のる市そすのし、ま市対りとして、ままりといい。国市意思を	民雄野町民民見する	保資制 スプログラス に対する に対す	計と査を 計の者 一	%	日標 () 日標 ()	54 目標 (50)		_
成果指標	1 2	事業の目 有効回 (2,50 意見提 (H16年 H16年	収率 有効回収 0人 (アンケー) 出者数 E度パブコメ意見 E度パブコメ実施	測る指標 数] RETAN] RETAN	指標設本成めしし本に募標のる市そすのし、し本に募標からのようという。	民雄行回民民見すのでは、日本のでは、	保資助又 保い是 化及	計と査を計の者をる実標 素見を	% 人	目標 () 日標 () 対善点等	54 目標 (50) 一 目標		_
成果指標	① ② 平成成 形成	事業の目 有効回 2,50 意見提 (<u>H164</u> H164 1 7年3 1 8年1	収率 有効回収 0人(アンケー) 出者数 E度パブコメ意見 E度パブコメ実施 3月に国民の 1月に市町木	測る指標 数 (配布数) (型型の (型型の (型型の (型型の) (型) (型) (型) (型) (型) (型) (型) (型) (型) (型	指標設作がためと、実を指標のる市そすのし、ま市対りとして、ままりといい。国市意思を	民礎行回 民民見す 兄が通	保質効又 保い是 化 知さ	計と査を 計の者 び されまをる実標 素見を 第 まし	% 人 した	目標 () 日標 () 対善点等	54 目標 (50) 一 目標		_
成果指標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	① ② P成成成 PK成成	事業の目 有効回 2,50 意見提 (<u>H164</u> H164 1 7年3 1 8年1	収率 有効回収 0人(アンケー) 出者数 E度パブコメ意見 E度パブコメ実施 3月に国民の 1月に市町木	測る指標 数 (配布数) (型型の (型型の (型型の (型型の) (型) (型) (型) (型) (型) (型) (型) (型) (型) (型	指標の 作た施と 案を指 中のる市そすのし、し 本に募標 か 基 から 本計 がらいる 本計 がらいる 本計 の はいる から ない おりと から ない から	民雄行回 民民見す 呪が通し	保質効又 保い是 化 知さ	計と査を 計の者 び されまをる実標 素見を 第 まし	% 人 した	目標 () 日標 () 対善点等	54 目標 (50) 一 目標	1	_
成果指標	① ② 平成成 形成	事業の目 有効回 2,50 意見提 (<u>H164</u> H164 1 7年3 1 8年1	収率 有効回収 0人(アンケート 出者数 E度パブコメ 意見 E度パブコメ 実施 3月に国民の 1月に愛知県	測る指標 数	指標のる市を上上 案を指 かまい画 本成めしし本に募標 らず計画 大きずのし、し の本計を 市のの本計を 市のの本計を 神のなった。国市意ま 状金のの は、 は、 の に の に の に の に の に の に の に の に の に の	民雄行回、民民見す、別が通し、	保育助又 保い是 化 通知ま 措 護料調率 護ら出 化 知さし 置	計と査を 計の者 で が する実標 素見を ま ま ま う	% 人 た こた。	「 標 (54 目標 (50) 日標 ()	1	54
成果指標	① ② P成成成 PK成成	有効回 (2,50 意見提 (H164 H164 1 7年3 1 8年2	収率 有効回収 0人(アンケー) 出者数 E度パブコメ 意見 E度パブコメ 実施 3月に配野田 1月に愛知明	測る指標 数 (本数) (本数) (本数) (本数) (本数) (本数) (本数) (本数	指標のる市そすのし、し の本計を 市の、 ま市対りと の本計を 市の、 民に の 本計を 市の、 田本氏の の 本計を 市の 、 田本氏の の は の 本計を 市の 、 田本氏の は の は 一番 に に 一番 に こ は に し か 指 画 作 に に に に に に に に に に に に に に に に に に	民礎行回。民民見す、兄が通し、一般に対し、対し、一般に対し、一般に対し、対し、一般に対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対	保育助又 保い是 化 通知ま 措対 護料調率 護ら出 化 知さし 置し	計と査を 計の者 で が が れま。 で で で で で で で で で の で の で の の の の の の の の の の の の の	% 人 の むた。 た施策	R	54 ^標 (50) - ^{[標} () We will a serious of the seriou	1 総合	54
成果指標 - ・・・ - 評	① ② 成成成 有達	業の目 有効回 2,50 意見提用16年 17年3 18年2 効性	収率 有効回収 0人(アンケー) 出者数 ま度パブコメ実施 3月に国市の場 2月に愛知場 4 携啓	測る指標 数 (本数) (本数) (本数) (本数) (本数) (本数) (本数) (本数	指標のる市そすのし、し の本計を 市の、 ま市対りと の本計を 市の、 民に の 本計を 市の、 田本氏の の 本計を 市の 、 田本氏の の は の 本計を 市の 、 田本氏の は の は 一番 に に 一番 に こ は に し か 指 画 作 に に に に に に に に に に に に に に に に に に	民礎行回。民民見す、兄が通し、一般に対し、対し、一般に対し、一般に対し、対し、一般に対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対	保育助又 保い是 化 通知ま 措対 護料調率 護ら出 化 知さし 置し	計と査を 計の者 で が が れま。 で で で で で で で で で の で の で の の の の の の の の の の の の の	% 人 の むた。 た施策	「 標 (54 ^標 (50) - ^{[標} () We will a serious of the seriou	1 総合	54
成果指標 - ・・・ - 評	① ② 成成成 有	業の目 有効回り 2,50 意見提り 17年318年2 効 性 成 度	収率 有効回収 0人(アンケー) 出者数 ま度パブコメ実施 3月に国市の場 2月に愛知場 4 携啓	測る指標 数 (本数) (表表) (表表表) (表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	指標のる市そすのし、し の本計を 市の、 ま市対りと の本計を 市の、 民に の 本計を 市の、 田本氏の の 本計を 市の 、 田本氏の の は の 本計を 市の 、 田本氏の は の は 一番 に に 一番 に こ は に し か 指 画 作 に に に に に に に に に に に に に に に に に に	民礎行回、民民見す、兄が通し、一般にらい、一般に対し、一般にある。一般に対し、一般にある。	R資助又 保い是 化 通知ま 措対れ 護料調率 護ら出 火 知さし 置しる	計と査を 計の者 びれま。 をる実標 素見を 第まし う本に	% 人 の むた。 た施策	R	54 ^標 (50) - ^{[標} () We will a serious of the seriou	1 総合	54

	事 業 名	指令管制事	務			149	予 会 算 款	+一般会計 消防費		01
i	 部 門	災害の防止				210		消防費		01
7	施策	災害から市	民を守る体	制の整備		2		消防活動費	7	03
•	作成部署	消防局防災	.部情報指令	課	50	01 05	連絡先	972-3524		
事業		対象(誰を	を ・何を)						にしたいのか	
未の	防災指令	センター							う消防車、救	対急車など
目					<i>></i> 0,	ノ山助作	する五	述がつ唯夫	に行います。	
的	占石ではよっくくく	生計された	わらため	は巛比入み	ンノな	ーも答	四海兴	しています。		
_		: 古刈心を17 :からの災害								
事業		合わせへの				()[[(-]-+>]	717/11	14		
木 の	・災害関係	機関への情	報伝達							
内										
容										
開	始年度	昭和 25				消防法第2	4条(第:	36条での準用含	む)、消防力の整備	請針第23条他
	業費・人員			18年度予算額	ні	—		紀計画2010第	2次実施計画	無 頁
事第	業費(千円) 	9, 643	13, 159	14, 087	掲					頁
財	国・県支出金				事	業の実績	漬 単位	16年度	17年度	目標18年度
源	地方債				1	1分以内		44, 069	45, 497	47,000
内	その他特定財源				\cup	指令開始	数	44, 009	40, 497	47,000
訳	一般財源	9, 643	13, 159	14, 087	0	↑₩ ↑ ₩	L W. / LL	00 001	100 000	100.000
職	員数(人)	33. 0	33.0	33. 0	2	全指令件	上数 件	99, 281	100, 606	102, 000
	事業の目	的の成果を	測る指標	指標設	定の	考え方	単位	16年度	17年度	目標18年度
成	1 /\ PI rk	刃の指令率		通報受信				44. 4	4E 0	
	① 1万以下	が用すや		までの時間			の %		45. 2	46. 0
果	15	分以内の指令	ì開始数]	ものの割合	· (9	0	70	目標	目標	40.0
		全指令件	数					(45.0)	(45.0)	
指										
	2									
標										
1//]					目標	目標	
127]						目 標 ()	
				 時からの状			-	() 收善点等	()	
il a	高齢社会の到		英の増加に住	半い災害通報			-	() 收善点等		となどに対
il a			英の増加に住	半い災害通報			-	() 收善点等	()	となどに対
il a	高齢社会の到		英の増加に住	半い災害通報			-	() 收善点等	()	となどに対
il a	高齢社会の到		英の増加に住	半い災害通報			-	() 收善点等	()	となどに対
応	<u></u> -	器の整備が行	実の増加に作 行われていま	半い災害通報 きす。 市評価	みがお	増加して	おり、	() 收善点等	()	となどに対 総合評価
応	高齢社会の到	器の整備が行	実の増加に作 行われていま 害通報の受信	半い災害通報 ます。 市評価 まと伝達は、消	欧が大	曽加して 務の出発.	おり、	() 汝善点等 また、通信	形態の多様化	
応	<u></u> -	器の整備が行 4	実の増加に作 行われていま 害通報の受信 年、増加する ほか、指令卓	ドい災害通報 ます。 市評価 さと伝達は、消 か119番通報 で地図機能を	がおり、一次を向り、	曽加して 務の出発 の処理 させ地点	おり、 点です。 でる 認	火善点等 また、通信 また、通信 さう、携帯電話さ	形態の多様化	総合評価
応う	高齢社会の致 するよう機器 有 効 性 達 成 度	器の整備が行 4 4 6 6 6 7 8 7 8 8 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	実の増加に作うわれていままでである。 害通報の受信をはか、指令卓職員の能力が	ドい災害通報 ・ おい災害通報 ・ おいでは、消費 ・ はいの地図機能を ・ はいのはのはいのはいのはいのはいのはいのはいのはいのはいのはいのはいのはいのはい	がおり、業的上、	曽加して 務の出発 の処理 させ地点	おり、 点です。 でる 認	火善点等 また、通信 また、通信 さう、携帯電話さ	形態の多様化	
応	高齢社会の到 するよう機器 有効性	器の整備が行 4 4 6 6 6 7 8 7 8 8 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	集の増加に作うかれています。 害通報の受信を にか、指令する にか、能力が でいまする。 ではか、 にか、 でいまする。 ではか、 にか、 でいまする。 ではか、 でいまする。 ではか、 でいまする。 でいまる。	半い災害通報 市評価 きと伝達は、通報 119機機 10地図機 10地図 10せ図 10 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	防を向れ、	曽加 のにせん 出処地経費 が発理点費	おり、 点です。 でる 認	火善点等 また、通信 また、通信 さう、携帯電話さ	形態の多様化	総合評価
応言		世界の整備が行 4 次 4 行め、 の安	集の増加に作うかれていまます。 害通報の受信を には、 はおいまする。 はおいまする。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ドい災害通報 市評価 きと伝達番は、消報 さの地図機罪を が十分にています で価委員会の	防を向れ、	曽加 のにせん 出処地経費 が発理点費	おり、 点です。 でる 認	火善点等 また、通信 また、通信 さう、携帯電話さ	形態の多様化	総合評価
応評価	高齢社会の致 するよう機器 有 効 性 達 成 度	世界の整備が行 4 次 4 行め、 の安	集の増加に作うかれていまままでである。 害通報の受信をはかい。 ほか、能力が で、安全を確しますが、 で、安全を確しますが、 で、安全を確しますが、 で、安全を確しますが、 で、安全を確しますが、 で、安全を確しますが、 で、安全を確しますが、	ドい災害通報 市評価 きと伝達番は、消報 さの地図機罪を が十分にています で価委員会の	防を向れ、	曽加 のにせん 出処地経費 が発理点費	おり、 点です。 でる 認	火善点等 また、通信 また、通信 さう、携帯電話さ	形態の多様化	総合評価

	事 業 名	消防無線の	管理事務			150 予		一般会計 消防費		01
	部門	災害の防止				210 費		消防費		01
	施策	災害から市	民を守る体	制の整備		2 目	目	消防活動費	,	03
	作成部署	消防局防災	部情報指令	`課	50	01 05 連絡	各先	972-3532		•
事		対象(誰る	を・何を)			意図	(ど	ういう状態に	こしたいのか	v)
業の	消防用無	線設備							するとともに	
目									ため、適正な	よ 通信設備
的		-1 -1 - 1 - 11 -1		NAME I. I.		理を行いる			tt II. bib and 3	(=)
									り維持管理を	
事業									〒54日、6月 を管理してV	「属に配置さ
	40 (4.2)	197 1- 197101			9. 777 /V	K17X/X U 1775	ш <i>ж</i>			· & 9 °
の内										
容										
開	始年度	昭和 25	年度 根据	処法令・要組	岡等	電波法/電	波波	去施行令/ 氰	『 波法施行規	則等
事	業費・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	計画		新世紀	紀計画2010第	2次実施計画	無 頁
事美	業費 (千円)	18, 256	21, 293	15, 180	掲載	越 個別計画				頁
財	国・県支出金				事	業の実績	単位	16年度	17年度	目標18年度
源	地方債					対象無線通	/.	0.00	05.4	0.05
内	その他特定財源					言設備数等	台	880	874	887
訳	 一般財源	18, 256	21, 293	15, 180						
	員数(人)	1. 0	1. 0	1.0	2					
	事業の目	的の成果を	測る指標	指標設	定の	考え方	単位	16年度	17年度	目標18年度
成		的の成果を 守 (設備の)		指標設 無線設備			単位		17年度	目標18年度
成	障害保守	守(設備の		無線設備するために	等を 実施	維持管理 した障害		16年度 224	17年度 250	
	障害保	守(設備の		無線設備 するために 保守件数を	等を 実施	維持管理 した障害	単位件			目標18年度
成果	障害保守	守(設備の		無線設備するために	等を 実施	維持管理 した障害		224	250	
	障害保守	守(設備の		無線設備 するために 保守件数を	等を 実施	維持管理 した障害		224	250	
果	① 障害保 保守) [—	守(設備の		無線設備 するために 保守件数を	等を 実施	維持管理 した障害		224	250	
果	1 障害保保守)	守(設備の		無線設備 するために 保守件数を	等を 実施	維持管理 した障害		224	250	
果指	1 障害保保守)	守(設備の		無線設備 するために 保守件数を	等を 実施	維持管理 した障害		224 目標 (0)	250 目標 (0)	
果指	1 障害保保守)	守(設備の	数障による]	無線設備するために保守件数をす。	等を 実施 指標 	維持管理 した障害 としま	件	224 目標 (0) 目標 ()	250 目標 (0)	
果指標	① 障害保保守)	守(設備のi 件数	数障による]]	無線設備するために保守件数をす。	等を 実施 指標 兄変 (維持管理 した障害 としま と及び事業	件の改	224 目標 (0) 目標 () X善点等	250 目標 (0)	0
果指標がは、	1 障害保保守) (守(設備の 件数	数障による	無線設備するために保守件数をす。 時からの状況 で源有効活用	等 実 指 兄変 (こと)	維持管理 しししま と 及び事業 う行政分野	件 (の 改 (野か)	224 目標 (0) 目標 (bの要請に	250 目標 (0) 目標 ()	0
果 指 標	で (T) で (T	守(設備の 件数 の高度化及 らり必要があり	数障による	無線設備するために保守件数をす。	等実指の変化を施標の	維持管理 とししま と及び事 う行する。	件 (のな)	224 ^{目標} (0) 産点等 らの要請に とされてお	250 ^{目標} (0) ^{日標} (い) より、消防すり より、当該期間	0
果 指 標	で (T) で (T	守(設備の 件数 の高度化及 らり必要があり	数障による	無線設備するために保守件数をす。	等実指の変化を施標の	維持管理 とししま と及び事 う行する。	件 (のな)	224 ^{目標} (0) 産点等 らの要請に とされてお	250 目標 (0) 目標 ()	0
果 指 標	で (T) で (T	守(設備の 件数 の高度化及 らり必要があり	数障による	無線設備するために保守件数をす。	等実指の変化を施標の	維持管理 とししま と及び事 う行する。	件 (のな)	224 ^{目標} (0) 産点等 らの要請に とされてお	250 ^{目標} (0) ^{日標} (い) より、消防すり より、当該期間	0
果 指 標	で (T) (T) (T) (T) (T) (T) (T) (T) (T) (T)	守(設備の) 件数 高度化及 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50	数障による	無線設備では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	等 実 指 況 変 が へ る の の の の の の の の の の の の の	維持 特 管 で ま と と び ず で で で で で で で で で で で で で	件 の の か と の で か と の で	224 ^{目標} (0) ^{I 標} () X善点等 らされてお 効率化を行 、円滑かつ	250 ^目 (0) ^目 (0) ^目 () が、当該期のでは、 ない	0 数急無線 艮までにデ
果 指 標	で (で (で (で (で (で (で (で (で))) (で (で)) (で (で)) (で) (で	守(設備の) 件数 高月がリーク も も の 高月がリーク が で は も の は も り り り り り り り り り り り り り り り り り り	数障による	無ない は 無 な は 無 な な ま な か ら の 状 活	等実指 兄と ル 図 常備 を施標 のでは	維しと と及び でで でで でで でで でで でで でで でで でで で	件の砂かとのでの	224 (0) (** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	250 (0) (0) (0) (0) (10) 	0 数急無線 艮までにデ 総合評価
果 指 標	で (す) (で (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	守(設備の) 件数 高度末が うび更 4 4 4	数障による	無線設備では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	等実指 兄と ル 図 常備 を施標 のでは	維しと と及び でで でで でで でで でで でで でで でで でで で	件の砂かとのでの	224 (0) (** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	250 (0) (0) (0) (0) (10) 	0 数急無線 艮までにデ
果 指 標	で (で (で (で (で (で (で (で (で))) (で (で)) (で (で)) (で) (で	守(設備の) 件数 高月がリーク も も の 高月がリーク が で する で り の り り り り り り り り り り り り り り り り り	数障による 事業開始 ででまれ 事業開始 ででまれ 以 をできる ・	無ない は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	等実指 アカン の 常備機 を施標 で かっ る のは器	維しと と及び でででする となり となり となり となり となり が ひ が ひ が ひ が ひ が か が か が か が か が が が が が が が が	件の砂かとのでの	224 (0) (** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	250 (0) (0) (0) (1)	0 数急無線 艮までにデ 総合評価
果 指 標	で (1) で (2) で (2) で (3) で (4) で (4) で (5) で (5) で (6) で (7) で (7) で (7) で (8) で (8) で (9)	守(設備の) 件数 高度 高月 う り で り で り し で り く り し く り く り し く り く り し く り く く く く	数障による	無ない は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	等実指 アカン の 常備機 を施標 で かっ る のは器	維しと と及び でででする となり となり となり となり となり が ひ が ひ が ひ が ひ が か が か が か が か が が が が が が が が	件の砂かとのでの	224 (0) (** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	250 (0) (0) (0) (1)	0 数急無線 艮までにデ 総合評価
果 指 標	で (す) (で (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	守(設備の) 件数 高度 高月 う り で り で り し で り く り し く り く り し く り く り し く り く く く く	数障による	無ない は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	等実指 アカン の 常備機 を施標 で かっ る のは器	維しと と及び でででする となり となり となり となり となり が ひ が ひ が ひ が ひ が か が か が か が か が が が が が が が が	件の砂かとのでの	224 (0) (** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	250 (0) (0) (0) (1)	0 数急無線 艮までにデ 総合評価

事 業 名	有線機器の	管理事務			151 予	会計款	一般会計 消防費		01
部門	災害の防止				210 費		消防費		01
施策	災害から市		制の整備		2 目		消防活動費	,	03
作成部署	消防局防災			50			972-3532	•	0.0
事	対象(誰を							こしたいのか	v)
業 通信回線		- 110/		5				連絡するため	· ·
0)					寺管理します				77 777
的									
	などの確実	、迅速な情	報伝達のた	め、	有線機器や	回網	泉を維持管理	埋し、情報の	連絡体制を
事確保します		,	,,,,,	•	14.64.62466				
	な、救急隊へ		!(音声・デ	ーゟ	7)				
の ・警祭や歴	院などへの								
内・消防電記	その他通信	機器							
容									
開始年度	昭和 25	年度 根据	処法令・要組	岡等	消防力の整	備扌	旨針第22多	条、第23条	他
事業費・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	計	·画 名古屋新	斤世紀	紀計画2010第	2次実施計画	無 頁
事業費(千円)	79, 117	82, 491	83, 432	撂	i載 個別計画				頁
財国・県支出金				事	業の実績	単位	16年度	17年度	目標18年度
源 地 方 債									
内その他特定財源				(1)	指令件数	件	99, 281	100, 606	102, 000
訳 一般財源		82, 491	83, 432						
職員数(人)	1. 0	1.0	1.0	2					
	的の成果を			定の	 考え方	単位	16年度	17年度	目標18年度
市		WI 0 10 W			中核をなす	-			1 1×10 1 1×
指令の	効率		災害指令件				1. 25	1. 22	
果①	指令件数	(し、1、0			件	目標	目標	1. 25
	年度経費		の指令件数	〔をえ	長します。			(1.20)	
指	十尺胜月	,					(1.14)	(1.20)	
16									
標②		_					□ +m;	D 4m	
1 ⁷ —							目標、	目標	
l l		+ ** 88.45.1	1+ 1. 2 @ db 2	· — - -	· //. च बर्ट के ११	⊕ 7/	()	()	
区层形的	ケギルシェがい				化及び事業			の日本による	
通信形態の多ます。	多様化に伴り	、、最適な地	担信万法を選	を択っ	するより有剤	泉不	ットリーク	の見直しを行	丁なってい
よ 9 。									
			市評価						総合評価
評 有 効 性					達は消防業績				
達成度	増え				た状態で効率				Α
±1 ÷ 14					います。投 <i>り</i> 0確立に寄与			に争業表績	$\boldsymbol{\Lambda}$
一 効 率 性	ا ک					· U	、v ' み y 。		<i>ω</i> Λ Λ = <i>τ</i> / ···
/ _ _ _ _ _			评価委員会の	り外	尚評価				総合評価
(この事業に対	対するコメン	ノトはありま	Eせん。)						
									٨

										<u> </u>		
	事業	名	総合防災情	報システム	管理事務			152 予	会計			01
	<u></u> 部	門	災害の防止					算 210 費		消防費 消防費		09 01
	<u>版</u>		災害から市		制の整備			2 目		消防活動費	,	03
	<u>////</u> 作成剖	7.14	消防局防災			50	01	_		972-3524	•	00
事		-	対象(誰る		1914	00	ΟI				こしたいのか	v)
業	総	合防災	情報システ			自	り確プ				、システムの	1
の目						を行	子し / 5	ます。				
的												
					ステムを維	持管	き理し	ノます。				
事	< i	総合防	災情報シス	テムの概要	>							
業											隊や救急隊	
の											ステム)や消	
内容					な情報の伝						ステム)によ	、り、心
台	П н у	'み <i>り</i> C ロ	V1\n\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	111 33 (, & 14 ±K 1/2 177	Æ	- J -	, (v _e	、) o			
毘	 始 ⁴	王度	昭和 61	年度 根	処法令・要組	留等						
	業費 •		,,, ,,		18年度予算額		·画	名古屋第	折世紀	記計画2010第	2次実施計画	有 62 頁
_	其 費(·		779, 376	780, 636		н	<u> </u>	個別計画				頁
財		支出金	,	,	,	4	業 σ	実績	単位	16年度	17年度	目標18年度
,		 方 債					ī	実施				
		了 特定財源				1	回数		口	12	12	12
		財源	779, 376	780, 636	789, 982			<u> </u>				
	上 員数		1. 0	1. 0	1. 0	2						
7150	_		的の成果を		指標設施	定 σ	 老え	方	単位	16年度	17年度	目標18年度
成					装置の故				. –			
//		-	早期障害改	善率	を増やすこ					100	100	
果	1	「 早期	開障害改善件	数×100 ገ	ます。				%	目標	目標	100
		[—	障害発生件	数						(100)	(100)	
指												
標	2	ſ		٦						目標	目標	
				 J						()	()	
				事業開始	時からの状況	兄変	化及	び事業	の改	Z善点等		
				_ , . ,	り、携帯電話	£₽	ΙΡΊ	電話か	らの	119番通	報の急増等剤	土会の変化
(C-	早急に	.対心す	トる必要があ	っります。								
					市評価							総合評価
評	有多	効 性	—		最を取りまと						する総合防	
	達	並 度			ムは、大変重 ステムの最適						た栓針する	Α
価		率 性		更があります		파 [교,	、 小庄:	11日任	· / · ·	/、I PII/吸 寸	で 1欠₽1) つ	7,
Ш	793 -	. 14	r ~_>			D HI		-				炒
				1 1177 =	半価委員会の	ノツト	部評	1th				ポポート 青午 11111
-		の改善	美に要する 時		評価委員会0 > 2 4 時間以				すが	、障害改善	に要する時	総合評価
			いまする は は は は は は で と で も に 要 め て り て り て り て り て り て り て り て り て り て	時間の目標を	字 4 時間以 2 4 時間以				すが	、障害改善	に要する時	R

	防災行政無	線の管理				算		消防費		 -	01 09
部門	災害の防止					210 費	L	消防費			01
	災害から市					2 目		防災対策費	,		04
	消防局防災		課	50	01			972-3532			
事 業 の 目 的	対象(誰を (無線	そ・何を)			的確 ます。	な防災対			こしたいのか 、無線の維持		を行
事業の	が 炎無線系が や応急対策	要> 防署、土木 あります。 活動を迅速	事務所等を 災害時の有 かつ的確に	結ぶ 線道 行う	ぶ無総 金絶りたる	寺にお↓ めの情報	ヽて > 及収4	も、市民に 集・伝達にる	多重固定系 緊急防災情報 有効です。 おらせする同	を迅	速に伝
開始年度	昭和 59	年度 根拠	処法令・要約	岡等	電源	女法/電	滤波剂	去施行令/氰	這波法施行規	則等	
事業費・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	計	画	名古屋籍	新世紀	紀計画2010第	2次実施計画	有	62 頁
事業費(千円)	76, 022	79, 715	66, 025	掲	載	個別計画					頁
財国・県支出金				事	業の	の実績	単位	16年度	17年度	目標	18年度
源 地 方 債					点格	食実施					
内 その他特定財源				1	回数		口	1	1		1
訳 一般財源	76, 022	79, 715	66, 025								
職員数(人)	1.0	1.0	1. 0	2							
	的の成果を		指標設	$ epsilon \sigma$) 老 🤇	₹ †	単位	16年度	17年度	日煙	18年度
	H J V J // // C /	(X) (V) (X)									
成	早期障害改善		機器の故善件数を増標とします	障等	等の-	早期改	%	100	100		00
成 果 ^① [早期		数×100	機器の故 善件数を増	障等	等の-	早期改			100		
成 果 ^①	早期障害改善件	数×100	機器の故 善件数を増	障等	等の-	早期改		100	100		
成 果 ① [早期	早期障害改善件	数×100 数]	機器の故善件数を増標とします	障等	等のよう	早期改とを指	%	100 目標 (100) 目標 ()	100 目標 (100)		
成 果 指 標 ② [早期障害改善件。	数×100 数] 事業開始	機器の故 善件数を増 標とします	定等	等のよう	早期改 とを指 な び事業	% の む	100 目標 (100) 目標 () X善点等	100 目標 (100) 目標 ()	1	00
成 果 ① [早期	早期障害改善件 関障害改善件 障害発生件	数×100 数 事業開始 3年5月末	機器の故 善件数を増 標とします 時からの状 までにアサ	兄変	等の- に がか	早期改 とを指 なび事業 らデジ	% の む	100 目標 (100) 目標 () X善点等	100 目標 (100) 目標 ()	1	00
成 果 指 標 ② (一型)	早期障害改善件 関障害改善件 障害発生件	数×100 数 事業開始 3年5月末	機器の故 善件数を増 標とします 時からの状 までにアサ	兄変	等の- に がか	早期改 とを指 なび事業 らデジ	% の む	100 目標 (100) 目標 () X善点等	100 目標 (100) 目標 ()	で定め	00
成 果 指 標 ② (一 地域す。 当 記 で います。	早期障害改善件 関管害改善件 障害発生件 線は、平成2 変期限までに	数×100 数 事業開始 3年5月末 デジタル化	機器を増標とします。 特からの状況でである。 市からのででは、 市に、 市に、 市に、 神に、 神に、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	兄 変の発	等のと グあり	早期 なび 事 ジ た は に は に は に に に に に に に に に に に に に	% の は タル	100 ^{目標} (100) ^{目標} (105) X善点等 に移行する	100 目標 (100) 目標 (ンが法律で	で定め	00
成 果 指 ② (地域す で が で が す。 が す。 か 性 れ り り り り り り り り り り り り り り り り り り	早期障害改善件 関管害改善件 障害発生件 線は、平成2 変期限までに の の の の の の の の の の の の の	数×100 数 事業開始 3年5月末 ごデジタル化 海地震、東南 の連絡手段を	機器を増標とします。 特からの状況でである。 市からのででは、 市に、 市に、 市に、 神に、 神に、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	兄 変の発	等のと グあり	早期 なび 事 ジ た は に は に は に に に に に に に に に に に に に	% の は タル	100 ^{目標} (100) ^{目標} (105) X善点等 に移行する	100 目標 (100) 目標 ()	1 で定め	00 00 うられ
成 果 指 標 ② (一 地域す。 当 記 で います。	早期障害改善件 関障害改善件 障害発生件	数×100 数 事業開始 3 第 3 デジタルル 無悪経でいち 東段。早く た、手すら早く	機器をは 機体としている。 一体をは 一体をは 一体では 一体ででする。 一体では 一体で 一体では 一体で 一体では 一体では 一体では 一体では 一体では 一体では 一体では 一体では 一体で 一体で 一体で 一体で 一体で 一体で 一体で 一体で	院や 。 兄口が のに 報 を 発は を	等 化 が り き 生、 伝 を は、 に を に に に に に に に に に に に に に	早と なび デす 危災 するに は なが 本が は は は は は は は は は は は は に は に に に に に に に に に に に に に	% の は タル 、 、 線を	100 目標 (100) 目標 (100) X善点等 に移行する 災害発生時の 連携して使用	100 目標 (100) 目標 (ンが法律で	で定め	00 うられ A
成 果 指 標 ^{早期} (大	早期障害改善件 関障害発生件 原害発生件 線は、平成 2 変期限までに 部めま ののでは、 の。 ののでは、 ののでは、 の。 ののでは、 ののでは、 ののでは、 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。	数×100 数 事業開始 3 第 3 デジタルル 無悪経でいち 東段。早く た、手すら早く	機器を 機数を 特からの がいでう でう でう でう でい でい でい でい でい でい でい でい でい でい	院や 。 兄口が のに 報 を 発は を	等 化 が り き 生、 伝 を は、 に を に に に に に に に に に に に に に	早と なび デす 危災 するに は なが 本が は は は は は は は は は は は は に は に に に に に に に に に に に に に	% の は タル 、 、 線を	100 目標 (100) 目標 (100) X善点等 に移行する 災害発生時の 連携して使用	100 目標 (100) 目標 (100) ことが法律で ことが法律で	で定め	00 00 うられ

-	事業名	地震被害予	測システム	の管理			154 予		一般会計			01
	部門	災害の防止					算 210 費		消防費 消防費			09
	<u>コリー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>	災害から市		制の整備			2 目		防災対策費	,		$\frac{01}{04}$
	作成部署	消防局防災			50	01			972-3524			0.1
事		対象(誰を	・何を)				意図	(ど	ういう状態に	こしたいのか	١)	
業の目的	地震被害	予測システ	Д				な地震対 を行いる			るため、シス	ステ	ムの維
事業の内容	<地震被 市内 4 0	:害予測シス 箇所の地震	テムの概要 計(市有1		機員	 目所で	有24筐	節所)	からのデー	ータを基に、 します。	大	規模地震
開	始年度	平成 10	年度 根据	処法令・要組	岡等							
事	業費・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	н.	画	名古屋籍	折世紀	紀計画2010第	2次実施計画	無	頁
事業	(1)	6, 342	4, 097	4, 503	撂	載	個別計画					頁
財	国・県支出金				事	業(り実績	単位	16年度	17年度	目	標18年度
源	地方債				1	点核	食実施	口	2	2		1
内	その他特定財源					回数	文	ы	2	2		1
訳	一般財源	6, 342	4, 097		2							
職	員数(人)	0.5	0.5	0.5)							
	_		_									
	事業の目	的の成果を	測る指標	指標設				単位	16年度	17年度	目	標18年度
成		的の成果を 早期障害改		装置の故	[障令	等の-	早期改	単位	16年度 100	17年度 100	目	標18年度
成果		早期障害改善	善率 数×100_]		障等	等の-	早期改	単位	100		目	標 18年度 100
		早期障害改善	善率 数×100_]	装置の故 善件数を増	障等	等の-	早期改		100	100	目	
果		早期障害改善	善率 数×100_]	装置の故 善件数を増	障等	等の-	早期改		100	100	目	
果指	① [早其	早期障害改善	善率 数×100 数]	装置の故 善件数を増	障等	等の-	早期改 とを指	%	100 目標 (100)	100 目標 (100)	目	
果指標	① [<u>早</u> ; ② [早期障害改善数 障害発生	善率 数×100 数 ——————————————————————————————————	装置の故善件数を増標とします	でできる。	等の- 計こ 化及	早期改 とを指 な び事業	% の む	100 目標 (100) 目標 () X善点等	100 目標 (100)	目	
果指標	① [<u>早</u> ; ② [早期障害改善数 障害発生	善率 数×100 数 ——————————————————————————————————	装置の故 善件数を増 標とします	障等でです。 兄変情	等の- 計こ 化及	早期改 とを指 な び事業	% の む	100 目標 (100) 目標 () X善点等	100 目標 (100)		
果指標	① [早歩 ② [一 イントラネ 有 放 性度	早期障害改善 期障害改善 障害発生 ペットを通じ 4 です	善率 数×100 数 事業開始 で市の職員 世震発生時の でに である。	装置の故 善件数を増 標とします はいつでも	障やで、ののでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	等 か こ 化を 確 海 地	早期 なび 事業 対応の 強の で の で の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	% の む ため 化地	100 I 標 (100) I 標 (** (** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** 	100 目標 (100) 目標 ()		100
果 指 標	① [早歩 ② [一 イントラネ 有 放 性度	早期障害改善 期障害改善 障害発生 ペットを通じ 4 です	善率 数×100 数 事業開始 で 事業開始 で 事業に が 意発生時の で で で で で で で で で で に で に で に り に り に り	時からの状 一時からのです 一時からのです。 一方にいってする。 一方にいってする。 一方にいってする。 では、東海のでは、東のでは、東のでは、東海のでは、東海のでは、東海のでは、東のでは、東のでは、東のでは、東のでは、東のでは、東のでは、東のでは、東	障やで、ののでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	等すのこ 化を 本 本 地 該	早 期 な び 事 こ 対 震 シ の 強 の み の の の の の の の の の の の の の	% の む ため 化地	100 I 標 (100) I 標 (** (** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** 	100 目標 (100) 目標 ()	***	100

事業名										
部門	水防情報シ	ステムの管	·理		1	55 予 算		一般会計 消防費		01
	災害の防止				2	10 費		消防費		01
施策	災害から市		制の整備			2 目		防災対策費	,	04
作成部署	消防局防災	部情報指令	課	50	01 ()5 連絡	各先	972-3524		•
日的	対象(誰 を			を行	ういま	防災対す。			こしたいのか 、システムの	
的確な防災対策活動のため、システムを維持管理します。										
開始年度	昭和 63	年度 根据	処法令・要組	買等						
事業費・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	н	_	占古屋親	新世紀	紀計画2010第	2次実施計画	無 頁
事業費(千円)	17, 781	14, 732	18, 184	撂	載	別計画				頁
財国・県支出金				事	業の	実績	単位	16年度	17年度	目標18年度
源地方債				1	点検	実施	ш	0	0	0
内 その他特定財源				1	回数		回	2	2	2
訳 一般財源	17, 781	14, 732	18, 184	2						
職員数(人)	1.0	1.0	1.0	(2)						
	的の成果を	測る指標	指標設	定の)考え	方	単位	16年度	17年度	目標18年度
			装置の故	障等	等の早	期改	単位			目標18年度
成成し	早期障害改	善率	装置の故 善件数を増	障等	等の早	期改	単位 %	100	100	目標18年度
成し	早期障害改善件	善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善	装置の故	障等	等の早	期改		100	100	
事業の目 成 果 ① [早	早期障害改	善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善	装置の故 善件数を増	障等	等の早	期改		100	100	
成成し	早期障害改善件	善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善	装置の故 善件数を増	障等	等の早	期改		100	100	
事業の目 成 果 ① [早 指	早期障害改善件	善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善	装置の故 善件数を増	障等	等の早	期改		100 目標 (100)	100 目標 (100)	
事業のE 成 果 ① [早 指	早期障害改善件	善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善	装置の故 善件数を増	障等	等の早	期改		100	100	
事業の目 成 果 ① [早 指	早期障害改善件	善率 数×100 =数]	装置の故 善件数を増 標とします	障等	等の早	期改を指	%	100 目標 (100) 目標 ()	100 目標 (100)	
事業の目 成 果 ① [早 指	早期障害改善件 障害発生件	善率 *** *** *** *** *** ** ** **	装置の故善件数を増標とします	定等	等の早 けこと 化及	期改を指	% の む	100 目標 (100) 目標 () X善点等	100 目標 (100)	
事業の目 成 果 ① [早 指 標 ② [—	早期障害改善件 期障害改善件 障害発生件	善率 数×100 -数 - 事業開始に で市の職員	装置の故 善件数を増 標とします 時からの状 え はいつでも	定等である。 兄変 情	等の早 けこと 化及	期 改 者 よ る こ	% の改 とが	100 目標 (100) 目標 () 対善点等 できます。	100 目標 (100)	
事業の目成 果 ① [早 指 標 ② [—	早期障害改善件 期障害改善件 障害発生件	善率 数×100 -数 - 事業開始に で市の職員	装置の故 善件数を増 標とします 時からの状 え はいつでも	定等である。 兄変 情	等の早 けこと 化及	期 改 者 よ る こ	% の改 とが	100 目標 (100) 目標 () 対善点等 できます。	100 目標 (100)	
事業の目成 果 ① [早 指 標 ② [—	早期障害改善件 期障害改善件 障害発生件	善率 数×100 -数 - 事業開始に で市の職員	装置の故 善件数を増 標とします 時からの状 え はいつでも	定等である。 兄変 情	等の早 けこと 化及	期 改 者 よ る こ	% の改 とが	100 目標 (100) 目標 () 対善点等 できます。	100 目標 (100)	
事業の目 成 果 ① [早! 計 ② [早期障害改善件 期障害改善件 障害発生件	善率 数×100 -数 - 事業開始に で市の職員	装置の故 善件数を増 標とします 時からの状 え はいつでも	障や。 兄変情見	等の早 けこと 化及	期 改 者 よ る こ	% の改 とが	100 目標 (100) 目標 () 対善点等 できます。	100 目標 (100)	
事業の目成 果 ① [早 指 標 ② [—	早期障害改善件 障害発生性 ネットを通じて	善率	装数 善	障や。 の の の の の の の の の の の の の	等から (化及) (大を) (よう)	以事 第 3 3 5	% のむ とおま	100 目標 (100) 目標 (** (** ** ** ** す。	100 目標(100)	100
事業の目 成 果 ① [早! 計 ② [早期障害改善件 障害発生性 ネットを通じて 4 に 名	善率	接換を 詩からの状 * * * * * * * *	障や。 兄の情見	等か 化を る よす。	期を 事 こが す る	% の改 がきま	100 ^{目標} (100) ^展 (** (** ** ** ** ** ** ** **	100 目標 (100) 目標 (100)	総合評価
事業の 成果指標 (1) [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [早期障害改善件 関障害改善件 障害発生件 ネットを通じて 4 ほん	善 数 × 100 事 業 開 職 で 下 下 民 に 下 で 下 民 に で で で で で で で で で で で で で で で で で で	接換を 詩からの状 * * * * * * * *	障や。 兄の情見	等か 化を る よす。	期を 事 こが す る	% の改 がきま	100 ^{目標} (100) ^展 (** (** ** ** ** ** ** ** **	100 目標(100)	100
事業のE 成果 1 [早期 1 日本 1 日	早期障害改善件 博害発生件 マットを通じて マットを通じて 4 に終して	善 数 × 100 事 業 開 職 で ・ 数	詩からの状 きを 清かいも 市かいも 市かいも でもまり はい でもまり	障や。 ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・	等す 化を こ よすす トラン ・	期を 事 こが す す す す が	% の改 がきま	100 ^{目標} (100) ^展 (** (** ** ** ** ** ** ** **	100 目標 (100) 目標 (100)	100 総合評価 A
事業の 成果指標 (1) [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [早期障害改善件 関障害改善件 障害発生件 ネットを通じて 4 です	善率 数×100 事業開職 で 事業 のは で 事業 のは で で で で で で で で で で で で で	詩からの状 を 市からの状 で報 市 にとよ 市 にまり 「にとより」	障や。 兄情見 るでや 外	等け 化 をこ 心 をこ 心 をこ が に が に が に が に が に が に が に が に	期を 事 こが す 報 が	% のひがま か 達	100 ^{目標} (100) ^展 (** (** ** ** ** ** ** ** **	100 ^{目標} (100) ^{目標} (する状態 検討が必要	総合評価

	事業	 業 名	水位警報装	置の管理				156 予	会計			01
	 部	門	災害の防止					算 210 費		消防費 消防費		<u>09</u> 01
	<u>即</u> 施	 策	災害から市		制の整備			2 目		防災対策費	,	01
			消防局防災			50	01			972-3524		0.1
事			対象(誰を								こしたいのか	١)
業の	7.	k位警報	装置					な防災対	対策	活動のため	、機器の維持	持管理をし
目						まっ	广。					
的		L. 74. 1. 174	·/// .		, 111 -2 - AII, 14-1- KK		. 14	1-				
			 報装置の概		器を維持管	埋し	ノま、	す。				
事業					、藤川流域	に割	滑	していま	きす。			
兼の	14	可川の水	位が一定以	上に上昇し	た場合にサ	イレ	ノン	を鳴らし			~注意を促し	ます。
内	(意	设置箇所	数:扇川流	域 3箇所	「、郷下川、	藤川	流	或 5 億	所)			
容												
		年 度	平成 3		処法令・要約							
_		・人員			18年度予算額	н н	画		近世紀	紀計画2010第	2次実施計画	無 頁
事	1	(千円)	2, 779	2, 777	2, 899		載	個別計画			· -	頁
財	国•	県支出金				事	業(の実績	単位	16年度	17年度	目標18年度
源	地	方 債			<u> </u>	(1)) 実施	口	2	2	2
内	その	他特定財源					回對			2	7	2
訳	—	般 財源	2,779	2, 777	, ,	2						
墹		(人)	0.5	0. 5								
		事業の目	的の成果を	測る指標	指標設				単位	16年度	17年度	目標18年度
成			早期障害改	善率	装置の故 善件数を増					100	100	
	1				標とします		, _	C 2 1H	%			100
果			別障害改善件							目標(100)	目標(100)	
指		l	障害発生件	-						(100)	(100)	
1H												
標	2	(,						目標	目標	
1230											()	
				事業開始	L 時からの状え	兄変	化及	び事業	のご		/	
-	水位3	警報装置	置と同報無緩								理経費の削減	載を図って
V)	ます。	o o										
					市評価							総合評価
評	有	効 性			を守るうえて							
	達	成 度			2置し、適性 2の維持第3							Α
/ 	効	率 性		が後は、機器 うことが必要	器の維持管理 更です。	Eユ.	ヘト	Vノ 門/政	() A	さる宗地か	ないが傾討	/ \
価	X)]	+- 1±	4 7 %		マーク。 評価委員会 <i>の</i>	D HI	立7 = 7	洒				公△≒ /≖
	カ『辛』	生 の みき	学に囲みて四		計価安員会の			•• •	ナバ	陪宝班美	ア亜十て吐	総合評価
			音に安りるE 豆縮に努めて		L44时间と	ヘドリー	こし	しいま	9 N3	、悍古以普	に女りの时	_
	_	- 0. 0/	_ ,,,, , _ , , , , , ,	0								B

Ţ												
	事 業	名	画像伝送シ	ステムの管	理			157 章		一般会計 消防費		01
-	部	門	災害の防止				1	210 享		消防費		
	" 施	 策	災害から市		制の整備			2		防災対策費		04
	<u>作成</u> 部		消防局防災			50	01			972-3532	·	V 1
			対象(誰を					意図			こしたいのか	N)
事業	画	像伝送	システム			白	り確え	よ防災			、システムの	
の目						を行	すい。	ます。				
的												
											ヽ リコプター	
事				指令センタ	ーでリアル	タイ	、 ムに	_受信	し、」	早期の被害	犬況の把握と	効果的な災
業			現します。	ラットロー	カな奴由1	7	去中	中印	歩の[七公則長	组。 画梅 仁兴	きすることが
の		た、地ます。	以阐生思信	<u> </u>	クを座田し	C ,	目化	日日	守りた	火火火水 (水)	男、一回1家1公区	59 ることが
内容		5/0										
台												
88	+/-	左	亚 4 亚	左座 担地	加壮人 面包	可坯	信 》计	• \\	最外	北坎怎么 / 5	欧洲北北海丰	Tri Art
		年度	平成 9								©波法施行規	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
		人員			18年度予算額		ᄑ			紀計画2010第	2次実施計画	有 62 頁
		千円)	15, 217	8, 974	6, 648			個別計i	<u> </u>			頁
財	国・県	金出支	L			事	業の	実績	単位	16年度	17年度	目標18年度
源	地	方債				(1	点検	実施	1	0	0	0
内	その他	 特定財源				1	回数		回	2	2	2
訳	— 帜		15, 217	8, 974	6, 648							
·			1.0	1. 0	1. 0	2						
7150			的の成果を		指標設	定の	 	古	単位	16年度	17年度	目標18年度
成	7	未い口	ロリリノル木で	とこの 1日1半] 日1示 [义]	ᇨᇰ		. / .	一手以	1 101-7		
					機器の故障					11,2		日际10十支
150			早期障害改	善率	機器の故障件数を増や	章等	の早	胡改善		100	100	
	1					章等	の早	胡改善		100	100	100
果	1		間障害改善件数	×100	件数を増やる	章等	の早	胡改善		100目標	100	
果	1			×100	件数を増やる	章等	の早	胡改善		100	100	
	1		間障害改善件数	×100	件数を増やる	章等	の早	胡改善		100目標	100	
果指	① ②		間障害改善件数	×100	件数を増やる	章等	の早	胡改善		100 目標 (100)	100 目標 (100)	
果			間障害改善件数	×100	件数を増やる	章等	の早	胡改善		100 目標 (100)	100 目標 (100)	
果指			間障害改善件数	×100 数]	件数を増やします。	章等こ	の早か	朝改善 指標と	%	100 目標 (100)	100 目標 (100)	
果指標	2	<u>早期</u>	間障害改善件数 障害発生件	×100 数 事業開始	件数を増やします。 時からの状	元 等 元変	の早ま とを 化及	期改善 指標と び事 :	% %	100 目標 (100) 目標 () 文善点等	100 目標 (100) 目標 ()	100
果 指 標	②	【 ^{早期} 【 一 記視カッ	間障害改善件数 障害発生件	×100 数 事業開始 成16年度か	件数を増やします。 時からの状 から平成17年	一章 等 に 変 に を に を に た り に り に り り り り り り り り り り り り り り	の早ま とを と 化及 こかい	期 改善 指標 と す て も で も で も で も で り て り て り て り て り て り て り て り の り て り の り て り の り の	% * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	100 目標 (100) 目標 (100) 対善点等 送回線を専	100 目標 (100) 目標 ()	100
果指標ルル	② 高所監 るび 思	【 ^{早期} 【 一 記視カル 記設し <i>A</i>	間障害改善件数 障害発生件 メラ・・・平 A N ネットワ	×100 数 事業開始 対 が成16年度か アークへ切り	件数を増やします。 時からの状 から平成17年 を替えること	章 等 で 変 に こ	の早ま とを 化及 こり、	期 は で 事 で 軽 関	業の 登	100 ^{目標} (100) ^{目標} (100) 対善点等 域 善点 幅な削減を	100 ^{目標} (100) ^{目標} ()	100
果指標ルル	(2) 高が、原語のでは、現代のでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	【 早期 に視カル 正設 正 所 近 長 通信	間障害改善件数 障害発生件 メラ・・・平 A N ネットワ	×100 数 事業開始 成16年度か 7 ークへ切り -ク・・・平	件数を増やします。 時からの状 から平成17年 を替えること	章 等 で 変 に こ	の早ま とを 化及 こり、	期 は で 事 で 軽 関	業の 登	100 ^{目標} (100) ^{目標} (100) 対善点等 域 善点 幅な削減を	100 目標 (100) 目標 ()	100
果指標ルル	(2) 高が、原語のでは、現代のでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	【 早期 に視カル 正設 正 所 近 長 通信	間障害改善件数 障害発生件 ペラ・・平 A N ネットワー	×100 数 事業開始 成16年度か 7 ークへ切り -ク・・・平	件数を増やします。 時からの状 からで成17年 か替えること で成20年度か	元 章 (の早ま とを 化及 こり、	期 は で 事 で 軽 関	業の 登	100 ^{目標} (100) ^{目標} (100) 対善点等 域 善点 幅な削減を	100 ^{目標} (100) ^{目標} ()	100 100 用光ケーブ す。 とに伴い、
果 指 標	事がしまの一点を表現の	【 早期 に視カル 正設 正 所 近 長 通信	間障害改善件数 障害発生件 ・ マー・ ・ マー・ ・ マート で で で で で で で き で り で り で り で り で り で り	×100 数 事業開始 成16年度か アーク・・す。	件数を増やします。 時からの状 ら平成17年 を が を 成20年度か 市評価	兄 変にらう	の早ま とを れ と と と と と と と と と と り く り く り く り く り く	明信を書きて経用の	業の 登 会の 会 会 の 記 を で に た が に お り に り に り に り に り に り に り に り に り に	100 ^標 (100) (100) (* * * * * * * * * *	100 ^{■ 標} (100) ^{■ 標} () 用線から汎り 図れるこ	100
果 指 標	② 所野地域の一	【 早期 に視カス だ設しが 野星通信	間障害改善件数 障害発生件 ・マー・アートン ・マー・アートン である。 ・マー・アートン である。 ・マー・アートン である。 ・マー・アートン である。 ・マー・アートン である。 ・マー・アートン である。 ・マー・アートン である。 ・マー・アートン である。 ・マー・アートン である。 ・マー・アートン である。 ・マー・アートン である。 ・マー・アートン である。 ・マー・アートン である。 ・マー・アートン である。 ・マー・アートン である。 ・マー・アートン である。 ・マー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー	×100 数 事業開始に が成16年度が 1-ク・ます。 を表生時に	件数を増やします。 時からの状 い替える年度か 市評価 こ現場の状況	呪変 じいらい。 兄変 じいらい。 で	化及 によ送 (水水) (水水) (水水) (水水) (水水) (水水) (水水) (水水	明 は 書 と ぎょう まま で 経 用 の こ よ り こ よ り こ よ り こ よ り こ よ り まま い 豊 の こ よ り まま い	業 像の電	100 I 標 (100) I 標 (100) X善点 等 回削減タル ルタイムに	100 ^目 標 (100) ^目 標 (かられること 送受信する	100 100 用光ケーブ す。 とに伴い、
果 指 標	② 高所び域の一 有	(早期) (力) 方 (力) 方 (対) 対 <	間障害改善件数 障害発生件 ・シー・シー・シーを を イン・マーク を イン・マーク で で で で で で で で り で り で り で り で り で り	×100 *数 事業開始 成16年へ・す。 を実施しています。 を実施しています。 を実施しています。 を実施しています。 を表により、 「	件数を増やします。 時からの状 い替で成17年 と 成20年 市評 が 現の被災り ご は 型期の被災り	呪変 じいらい。 兄変 じいらい。 で	化及 によ送 (水水) (水水) (水水) (水水) (水水) (水水) (水水) (水水	明 は 書 と ぎょう まま で 経 用 の こ よ り こ よ り こ よ り こ よ り こ よ り まま い 豊 の こ よ り まま い	業 像の電	100 ^{■ 標} (100) ^{■ 標} (100) 対善点等 送幅なぎジタル	100 ^目 標 (100) ^目 標 (かられること 送受信する	100 用光ケーブ け。 とに伴い、 総合評価
果指標ル機評	② 高及地域の 有 達	()	間で で に に の に に に に に に に に に に に に に	×100 *数 事業開始で 成16年へ・す。 を答よる。 を答よる。 を言には重要である。 を言には重要である。 を言には重要である。	件数を増やします。 時からの状 から成17年 を対立 が平える年 では現場の被 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	現実にいる アンファイン アンファ アンファ アンファ アンファ アンファ アンファ アンファ アンフ	で 化 に に に た と と と に た い り 受 ・ 像 把 か り 、 の の に に に に に の に に に に に に に に に に に に に	期指 び す 言 こ屋 ・	業の で 業 像の電 リ果	100 I 標 (100) I 標 (100) E 標 (禁事 を を を を が ジタル ルタス に 動いな に な に な に に に に に に に に に に に に に	100 F 標 (100) F 標 (100) R がいいること がいいること 送受実現するる	100 100 用光ケーブ す。 とに伴い、
果指標 ル機 評	② 高及地景の 有 達	(早期) (力) 方 (力) 方 (対) 対 <	間障害改善件数 障害発生件 ・シーネット ・シーな ・シーな ・シーな ・シーな ・シーな ・シーな ・シーな ・シーな	×100 *数 事業開始で が で	件数を増やします。 時から成 17年とか 1 中のでは 1 中ので 1	兄 度にら	で 中 に に に に に に に に に に に に に	期指 び す 言	業の で 業 像の電 リ果	100 I 標 (100) I 標 (100) X善点等 回削減タル ルタイムに	100 F 標 (100) F 標 (100) R がいいること がいいること 送受実現するる	100 100 計。 とに伴い、 総合評価
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	② 高及世界 有 達 効	(上) (上) (日) (日) (日) (日	間障害改善件数 障害発生件 ・シー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	×100 ・数 事業開始で が、一クりまでは、一クりまでは、で回い。 ・は、で回いでは、で回いでは、で回いでは、で回いでは、で回いでは、でで回いでは、ででは、ででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	件数を増やします。 時からの状 かいで成17年 が平え20年度が 市評価で で現場のででである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	章す 兄 変じらう を況 よ 外	のと 化 こよ	明指 でする で経用 でを が表との の の の の の の の の の の の の の	業 像の電 リ果 減 ア的 を	100 I 標 (100) I 標 (100) I 標 (** (** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	100 F (100) F (100 用光ケーブ け。 とに伴い、 総合評価
果指標ル機評価	② 高及 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(上)(上)(大)	間で で に に の に に に に に に に に に に に に に	×100 事 第 1 1 1 1 1 1 1 1	件数を増やします。 時からの状 かいで成17年 が平え20年度が 市評価で で現場のででである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	章す 兄 変じらう を況 よ 外	のと 化 こよ	明指 でする で経用 でを が表との の の の の の の の の の の の の の	業 像の電 リ果 減 ア的 を	100 I 標 (100) I 標 (100) I 標 (** (** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	100 F (100) F (100 100 計。 とに伴い、 総合評価

			•	,,,,	- I I I I	_							
- ÷	事業	《名	予防管理事	務					予会算		一般会計 消防費		01
	部	門	災害の防止								:::::::::::::::::::::::::::::::::::::		01
	······· 施	 策		民を守る体	制の整備						予防活動費	,	02
	作成		消防局予防		20114	50	01	07 i		_	972-3542		1
事			対象(誰る					意图				こしたいのか	N)
業	子	防事務				7	予防:	業務を				きるようにし	
の目													
的													
					め、事務上	必要	きとり	なる賞	資料の	作	■成等を行い	ハます。	
事			式の作成、	補充									
事業		法令等		各種会議へ	の参加								
の中			事務用品の		V 7 195 /JH								
内容		,	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	,, ,,,_									
Т													
盟	始	年 度	昭和 23	年度 根拠	処法令・要糾	田生	消息	方法					
H		· 人員		17年度決算額		_			屋新世	上糸	引計画2010第	2次実施計画	無 頁
_		<u>八八</u> (千円)	8, 699	8, 576	7, 659		픘	個別計		- 1ºL	201 D 2010 N		頁
財		県支出金	0,000	0,010	1,000			の実績		. ,	16年度	17年度	目標18年度
						7	*未り	クチャ	早1	ν.	10千戊	17年度	日保10千茂
		方 債				1	事業	 業費	千	円	8,699	8, 576	7, 659
		也特定財源 -----									·		·
訳	l .	段財源	8, 699	8, 576	7, 659	2							
職		(人)	3. 9	3. 9	3. 9								
	事	業の目	的の成果を	測る指標	指標設				単位	立	16年度	17年度	目標18年度
成			経費削減	率	効率的に						88. 2	98. 6	
	1				ることによをはかりま		栓?	賀削》	或 %	′	00.2	00.0	100以下
果	·	[年度経費	<u> </u>	21010) 5	70					目標	目標	10001
		l	前年度経	費							(100以下)	(100以下)	
指													
	2												
標)	[]							目標	目標	
		l		J							()	()	
		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \			時からの状況					-			. 152 6
					『に登載し、	ダ!	ウン	ロー	ドでき	きる	るようにす	ることにより	り、様式の
作戶方	义里で	ど人順に	に減少させま	くした。									
					市評価								総合評価
評	有	効 性			が効率的に					よ・	う経費の削	減に努め、	
	達	成 度	4 執行	丁貸料等のが	正実を図る必	公安7	かめ	りま゛	す。				Α
価		率 性	3										, · ·
1曲	W	+ II	0	<u> </u>	ᄑᄺᆍᄝᄼᄼ	D HJ 1	ታ	; /==					纵入 ≡□/□
_	11 2 1	+ + ^-	to Arte Live 1		平価委員会の				7. V (:				総合評価
Ę	月き糸	売き経費	夏の節減に努	みめ、効率的	りな事務執行	丁に着	劣め	てく	たさい	, 0			
													R

-	事業名	防火管理者	等の講習及	び指導			予会記			01
	部門	災害の防止				210		消防費 消防費		09
	哼 [] 施 策	災害から市		制の整備		210		予防活動費 予防活動費	,	$\frac{01}{02}$
	作成部署	消防局予防		1111 42 TE MII	50		Ι	972-3542	•	02
事		対象(誰る	と・何を)						こしたいのか	١)
業の目的	防火管理	里者等			[5]	方火管理	が適正	に行われ、	火災予防を推	推進します。
消防法令に基づく防火管理に関する講習を実施するとともに、防火管理者等が防火管理に関する識・技術を習得できるよう防火管理研修センターの設備を用いて指導を行います。また、消防用設備等の管理や点検報告について普及啓発を行います。【17年度内容】 甲種防火管理新規講習(13回 4,289人)、甲種防火管理再講習(6回 470人) 乙種防火管理講習(8回 1,337人)、 防災センター要員講習(11回 439人)、防災センター要員再講習(9回 244人)※事務の一部を財団法人名古屋市防災管理公社に委託しています。 ⑰委託決算額54,068,863円										
盟	※事務の 始 年 度	一部を財団法 田和 36					います。		· 	3円
_	<u> </u>			18年度予算額			屋新世	紀計画2010第	2次実施計画	無 頁
_	<u>ボス・ハハ</u> 関数(千円)	46, 426			1 1 1	載個別記		(10H) M2010/J		頁
財	国・県支出金	Ž	<u> </u>	,	事	業の実績	責 単位	16年度	17年度	目標18年度
源	地方。					講習修	7 ,	0.000		- 400
内	その他特定財派	 5			1	者数	, 人	6, 283	6, 779	7, 400
訳	一般財源	46, 426	55, 169	48, 574	2	講習回数	汝 回	41	47	55
職	員数(人)	2. 3		2. 3						
	事業の目	的の成果を	測る指標			考え方	単位	16年度	17年度	目標 年度
-17						ロ) <i>→ 1…</i>				
成		理研修センタ	一利用者数	識・技術を	習得			7, 630	9, 287	
果	防火管	理研修センタ	一利用者数		習 ⁴ 習 ⁴	导しても 等を受け	た人		9,287	-
		理研修センタ	一利用者数	識・技術を えるよう講	習 ⁴ 習 ⁴	导しても 等を受け	た人		ĺ	_
果		理研修センタ	一利用者数	識・技術を えるよう講	習 ⁴ 習 ⁴	导しても 等を受け	た人	目標()	目標()	_
果指		理研修センタ]	識・技術を えるよう講	習得とし	导しても 学を受け いました。	た 人	目標()	目標()	_
果指標	 (1) (2) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (9) (1) (1) (2) (2) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (9) (10) <li< th=""><th>理研修センタ</th><th>] 事業開始 ②者がより ②者がより ②</th><th>識・技術を えるよう講 人数を指標 時からの状況 物率的に受講</th><th>習等と</th><th>得しても 学を した。 化及び きるよう</th><th>た 人 産業の にしま</th><th>目標 () 目標 () 女善点等</th><th>目標()</th><th></th></li<>	理研修センタ] 事業開始 ②者がより ②者がより ②	識・技術を えるよう講 人数を指標 時からの状況 物率的に受講	習等と	得しても 学を した。 化及び きるよう	た 人 産業の にしま	目標 () 目標 () 女善点等	目標()	
果指標	 (1) (2) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (9) (1) (1) (2) (2) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (9) (10) <li< th=""><th>増やし、希望</th><th>] 事業開始 ②者がより ②者がより ②</th><th>識・技術を えるよう講 人数を指標 時からの状況 物率的に受講</th><th>習習と 兄がでした。</th><th>得しても 学を した。 化及び きるよう</th><th>た 人 産業の にしま</th><th>目標 () 目標 () 女善点等</th><th>目標()</th><th>— 総合評価</th></li<>	増やし、希望] 事業開始 ②者がより ②者がより ②	識・技術を えるよう講 人数を指標 時からの状況 物率的に受講	習習と 兄がでした。	得しても 学を した。 化及び きるよう	た 人 産業の にしま	目標 () 目標 () 女善点等	目標()	— 総合評価
果指標	① [— ② [— 本習回数を記 単解しやす	増やし、希望 い講習にする に は は は は は は は は は は は は は は は は は は	事業開始 事業開始 と と き き き ため、講習	識・技術を まる数を おいらの状況 おいらの受見で おいるので見ばでする。 おいるのでである。 おいるのでである。 おいるのでは、 はいるでは、 はいるでは、 はいるでは、 はいるでは、 はいるでは、 はいるでは、 はいるでは、 はいるでは、 はいるでは、 はいるでは、 はいるでは、 はいるでは、 はいなでは、 はいなでは、 はいなでは、 はいるでは、 はいるでは、 はいなでは、 はいなでは、 はいなでは、 はいなでは、 はいなでは、 はいなでは、 はいなで	習習と 安でし ですし	得をま 化及び を 図りま	た 人 三業の に にす。	目標 () 目標 () 女善点等	目標()	総合評価
果指標	① [—	増やし、希望 い講習にする ・ 4 れる	事業開始 事業開始 と者がより交 るため、講習 な災予防を過	識え人 ・技術う標 ・よる数 ・よのの ・より ・ない ・ない ・ない ・ない ・ない ・ない ・ない ・ない ・ない ・ない	習習と 兄変でし には、	得をま 化及び をと ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	た 人 事業の にす。 等で	目標 () 目標 () 女善点等 した。	目標(()) 目標() 対 (— 総合評価 B
果指標	① [— ② [— #習回数を: 単解しやす *** *** *** *** *** *** *** *** *** *	増やし、希室 ハ講習にする ・ 4 れる	事業開始 事業開始 と者がより交 るため、講習 な災予防を過	識え人 ・技術う標 ・よる数 ・よのの ・より ・ない ・ない ・ない ・ない ・ない ・ない ・ない ・ない ・ない ・ない	習習と 兄変でし には、	得をま 化及び をと ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	た 人 事業の にす。 等で	目標 () 女善点等 した。 正な防火管	目標(()) 目標() 対 (_
果 指 標 評	① [— 本習回数を対理解しやす は 成 度	増やし、希望 い講習にする ・ 4 れる	事業開始 事業開始 書 と を が、 講習 が、 が、 一 で が、 で が、 が、 が、 で が、 が、 が、 が、 があった が、 まずい。 で が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、	識え人 ・技術う標 ・よる数 ・よのの ・より ・ない ・ない ・ない ・ない ・ない ・ない ・ない ・ない ・ない ・ない	習習と 欠で し な 防	化及び 事でで受した。 化及び より 事でで 理もけた。 本のでは、 水ででは、 水では、 水では、 水では、 水では、 水では、 水では、	た 人 事業の にす。 等で	目標 () 女善点等 した。 正な防火管	目標(()) 目標() 対 (_

3	事)	業 名	街頭消火器	の管理					一般会計)1
	<u> </u>	門	災害の防止				210 3	:	消防費 消防費) <u>9</u>)1
	<u>リー</u> 施	 策		i民を守る体	制の整備		210		防災対策費	-) <u>1 </u>
		部署	消防局予防		1111 42 TE MII	50			972-3543	<u> </u>		
事			対象(誰る	を・何を)			意図	(ど	ういう状態	にしたいのか	\)	
業の	彳		器							に、市民の初		
目						具と	として有家	バン活	用できるよ	う管理を行い	います。	
的	有	15公分学	の一環しし	て ま内の	十半字是家	佳址	hぱなクァシヒ	, L. 모모	たり GON祭司	に設置して	ハキオ	
_										ていこととしているととともに、		Ξ.
事業			的に更新し			/ 3) (III) (III	., _	Æ 12///	w = = 0,1= ,	TII C 0 1	
かの												
内												
容												
	±1.	<i>-</i> -	BTI 4 -	F & 101	bush A 프	₩ &	I					
		年 度	昭和 51		処法令・要組		_	3 dec 111	47=1 0040#	-0.411	for .	_
_		(人員			18年度予算額	1 1 1	=		紀計画2010第	2次実施計画		頁
		(千円)	281	32	10, 156		107711		105	,= <u>-</u>		頁
•		県支出金				手	業の実績	単位	16年度	17年度	目標 年月	臣
源	地_	方 債				(1)	更新本数	本	9	14	_	
内		他特定財源 					201113	` ' '				
訳		般 財 源	281	32		2						
職		(人)	0.2	0. 2								
	틕	1	的の成果を				考え方	単位	16年度	17年度	目標18年	度
成			火器を使用	した初期消	初期消火 とが、火災		かを行うこ		42. 9	40.0		
	1	火の成		1 20 51 30	被害の抑制						100	
果			期消火が成功した		す。				目標(100)	目標		
指		(初期相	(火に街頭消火器を使用	日した火災件数 】					(100)	(100)		-
311												
標	2	١		٦					目標	目標		
]						()		
				事業開始	L 時からの状え	兄変	化及び事	業の記		,		
$\hat{\gamma}$	5古,	屋市は、	平成14年4							定を、平成15	年12月に	東
										れ受けました	- - -	
<i></i>	产年.	度から半	4成21年度3	きでの4年間	で、8年ごと	(0)	正期更新る	: 美施	します。			
					市評価						総合評価	<u>f</u> i
評	有	効 性			の発生による							
	達	成 度			置することに 莫災害時以タ						В	
/ =	効	率 性		ょた、人規作 できます。	吴火 亩时以γ	rv <i>)</i> ;	八火に刈し	ノしど	、有別に佰	用りること		
1四	7/J	— II	7 ~	_ , , ,	評価委員会の	D M	並に言む/無				総合評価	<u> </u>
(>		車業ノェ≒	ナナスコノン	, , , , ,		ノクト	四十二四				祁口 計1	Ц
()	_ 0)	尹未に刈	すするコメン	ィドはめりる	トピル。)						_	
											l R	

Į	事 業	名	消防同意関	係指導事務	:				予算	会計	一般会計 消防費		01
-	邹	門	災害の防止					210			消防費		01
	" 他	 策	災害から市	民を守る体	制の整備			2	目		予防活動費	,	02
	作成部		消防局予防		11.4	50	01	08	連系		972-3547	•	
事業			対象(誰を	[・何を)				意	义	ځ)	ういう状態に	こしたいのか	١)
業の	建	築確認	申請の対象	物								段階から消防	
目						にi	商合	して	いる	うか	をチェック	し、また、気	尼成時には
的						., .			•			全性を確保し	
												から建築設計	
事												主が建築確認 す。さらに、	
業			エザスは16										産条物に旧
の内	消	防用設	備等の標準	的な技術基	準マニュア	ルを	作	成し、	火	:災=	予防業務を打	旦当する消防	
容				準を建築設	計士等に明	確に	こ示:	すこ。	とに	より	0、建築物の	の防火安全性	をより高め
	るこ	とを目	指します。										
開	始:	年 度	昭和 25	年度 根拠	処法令・要組	留等	消息	方法					
		· 人員			18年度予算額		·画		屋割	ГШ ≴	2010第	2次実施計画	無 頁
		<u> </u>	768	675		H 1	載	個別記		1 12 1		2久天池市西	頁
_			100	013	040				_	14 /T	16年由	17左帝	 目標 年度
• • •		表出金 				#	→ 未 (の実績	貝	単位	16年度	17年度	日保 平皮
源		方 債				(1)	消防	i同意作	‡数	件	9,038	8, 537	_
内		特定財源									,	,	
訳	一般	財源	768	675	648	2							
職	員数	** **	33. 9	33. 9	33. 9	j)							
	事	業の目	的の成果を	測る指標	指標設	. –				単位	16年度	17年度	目標 年度
成			消防同意件	:米分	建築申請						9, 038	8, 537	
	1		11 전하다 하고 11	30	ついて、消 ることによ					件	3,000	0,001	_
果		ſ		<u>]</u>	性が確保され						目標	目標	
											()	()	
指													
	2												
標	2	ſ		٦							目標	目標	
											()	()	
				事業開始	時からの状況	兄変	化及	なび事	業	の改	ζ善点等		
												機関」が建築	
												対する同意作	
			てくいます。 互しを行いま		2的に同思事	*務	ど進	める	72 &	0,	半成 1 4 年	度に消防局。	ど用的者の
7-1	5 7 3 35	ママクロ世	7 0 G 11 1 . 9	. 0100									
					市評価								総合評価
評	有	効 性	4	建築物の安全	と性を確保す	トる	ため	、消	防治	去令	に基づく消	防同意は、	
			重要									厳守するた	٨
				より一層の)効率的な事	事務:	処理	に務	める	る必	要がありま	す。	Α
価	効	率 性	4										
				行政訓	平価委員会の	り外	部評	価					総合評価
(3	_の事	業に対	すするコメン	/トはありま	ミせん。)								
													Δ

	事業	名	查察事務						予 <u>会</u> 記 算 款	+一般会計 消防費			01 09
	部	門	災害の防止							消防費			01
	… 施	 策		民を守る体	制の整備					予防活動]費		02
	作成部	部署	消防局予防	部指導課		50	01	08 i	車絡先	972-355	L		
事業			対象(誰を	と・何を)				意图			態にしたいの		
裏の	防	火対象	物			, 2	火災を	発生の)予防	、人命な	どの被害を軽	減させるが	た
目						め、	マショ	人検』	全を実施を実	施し、不 置を講じ	備欠陥事項に させませ	ついて関係	※
的	17-1	1. 未点	:). L. (((\forall \f	仏吐)っ壬上	よ I 人 左 PA								d- /
											象物や危険物 象物に立ち入		
事業											せるものであ		
未 の	によ	って火	:災の発生拡	大及び人命	危険を軽減	しま	きす。					, -	
内													
容													
開	始:	年 度	昭和 23	年度 根拠	処法令・要約	岡等	消防	法					
事	業費	・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	н і	_	名古原	屋新世	紀計画2010	第2次実施計画	無	頁
事美	美費 (千円)	6, 291	12, 363	10, 716	掲	載	個別計	画				頁
財	国・県	是世支集				事	業の)実績	単位	16年度	17年度	目標 年	F度
源	地	 方 債					杳絮	冥実施		0.4.100	10 001		
内	その他	- – – – !特定財源				1	件数		" 件	24, 189	19, 821	_	
訳	— 般	 g 財 源	6, 291	12, 363	10, 716		数生	テ・命					
, ·			62. 3	56. 3	62. 3	2	令件		件	219	293	_	
	事	業の目	的の成果を	測る指標	指標設	定の	(考え	方	単位	16年度	17年度	目標 年	E度
成	事	業の目	的の成果を		指標設 人命危険、	-			_	1.12		目標 年	F度
成		業の目	的の成果を 査察実施件		人命危険、 建築規模に ル	、出	火危	険及で 入検3	バ 孟	24, 189		目標年	F.度
成果	事 ①	業の目 「			人命危険、建築規模に成を行い、防力	. 出	火危て立り	険及で 入検3 る不信	バ 孟	24, 189		目標 年	F度
		業の目 [—			人命危険、 建築規模に ル	. 出	火危て立り	険及で 入検3 る不信	バ 孟	24, 189	19, 821	目標 年 一	F度
		[—	查察実施件		人命危険、 建築規模にル を行い、防 の改善指導。 す。 改善指導	出じに行を実	火て関っ 施し	険及で 及検査 る不が てもた	が置け	24, 189 _{目 標} (19,821 目標)(目標 年 —	度
果	1	[—			人命危険、 建築規模にル を行い、防 の改善指導 す。 改善指導 お、未改善	出じに行を変あ	火て関っ 施るしも	険入るい ての	が上海	24, 189 目標 (219	19,821	目標 年 一	F度
果		[—	查察実施件		人命危険、 建築規に成 を行い、 を行い、 での改 での、 でい、 を お、、 違 に が が が が き に が き で い が き に が き に が き に が き に が ま に が ま に 、 に ま に 、 に ま に よ に よ に よ に よ に よ に よ に よ に よ に よ	出じに行を変ある	火て関っ 施る行	険入るい ての、 を検不ま もに強っ	が上海	24, 189 目標 (219	19,821 目標)(目標 年 一	F度 —
果指	1	[—	查察実施件		人命危険、 建築規模にル を行い、防 の改善指導 す。 改善指導 お、未改善	出じに行を変ある	火て関っ 施る行	険入るい ての、 を検不ま もに強っ	が上海	24, 189 目標 (219	19,821 目標)(293	目標 年) 一	F度 —
果指	1	[—	查察実施件	-数] 件数]	人命危険に 建築行い、 を行い、 を行い、 を行い、 を行い、 を行い、 を でい、 を でい、 を でい、 を でい、 は、 で、 を お、、 は、 は、、 は、、 は、、 は、、 は、、 は、、 は、、 は、、	- 広火を をで理を 出じに行 実あを行	火て関っ 施る行っ しもいて	険入るい ての、い てるが した でき	が 全 合 件	24, 189 目標 (219 目標	19,821 目標)(293 目標	目標 年 一) 一	F度
果指標	②	[—	査察実施件 警告・命令を 度、愛・地球	-数 	人命危険に 建築行い、 を行い、 を行い、 を行い、 をでいる。 は、 でいる。 は、 は、 では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	出じに行 実あを行 変	火て関っ 施る行っ 化及	険入るい ての、い で強す もに強ま び	が 件 件 常の記	24, 189 目標 (219 目標 (收善点等	19,821 目標)(293 目標		
果指標が	① ② 平成 1 減少 し	(一 7年月 アナンました)	査察実施件 警告・命令を 変・地球	+数 件数 事業開始 様博が開催さ	人命機に 建築行い を を が を が を が を が を が は 、 は 、 は 、 は さ き は 、 は さ き き は 、 さ き は 、 さ き は は さ き た き は り き た き り き り き り き り き り ら り ら り ら し う し う し う し う し う し う し う し う し う と う と	出じに行 実あを行 変援	火て関っ 施る行っ 化を	険入るい ての、い で で で で で で で で で で で で で	が 作 件 業の で 要	24, 189 目標 (219 目標 (牧善点等 延施設の予	19,821 目標)(293 目標)(防巡視のため		量
果指標が対立	① ② P成 1 以 必 成 以 以 入 り り り り り り り り り り り り り り り り り	(一 7年)7年)7年)	査察実施件 警告・命令を 変・地球	+数 件数 事業開始 様博が開催さ	人命機に 建築行い を を が を が を が を が を が は 、 は 、 は 、 は さ き は 、 は さ き き は 、 さ き は 、 さ き は は さ き た き は り き た き り き り き り き り き り ら り ら り ら し う し う し う し う し う し う し う し う し う と う と	出じに行 実あを行 変援	火て関っ 施る行っ 化を	険入るい ての、い で で で で で で で で で で で で で	が 作 件 業の で 要	24, 189 目標 (219 目標 (牧善点等 延施設の予	19,821 目標)(293 目標)(量
果指標が対立	① ② 平成 1 減少 し	(一 7年)7年)7年)	査察実施件 警告・命令を 変・地球	+数 件数 事業開始 様博が開催さ	人の 建をのす。 を表にいず。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・ 立人を をで埋を 兄 近人で 実あを行 変 な し、	火て関っ 施る行っ 化を	険入るい ての、い で で で で で で で で で で で で で	が 作 件 業の で 要	24, 189 目標 (219 目標 (牧善点等 延施設の予	19,821 目標)(293 目標)(防巡視のため	ー) 査察事務: きるよう!	量に
果 指 標	① ② 区 成 り し た し た た た た た た た た た た た た た た た た	〔 - 7年月 - 7年月 - 7年月 - 7年月 - 7年月	査察実施件警告・命令を 要に火災予防	-数 件数 事業開始 *博が開催さ 方査察規程、	大の様に を を を を を を を を を を を を を		火て関っ 施る行っ 化や よしもいて 及万 よ	険入るい ての、い び 専 り 及検不ま もに強ま 事 関 効	が 全	24, 189 目標 (219 目標 (数善点等 延施設の予	19,821 I 標) (293 I 標) (防巡視のため 立入検査をで	- (1) (1) (1) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	量に
果指標が対立	① ② 区 成 り 成 り た た た た た た た た た た た た た た た た	(一 7年)7年)7年)	査察実施件警告・命令を 変・地球を をに火災予防	一 件数 事業開始 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	一人の 建をのす。 一人の を 一人の を 一人の を 一人の を 一人の で のす。 で で のす。 で のす。 で のす。 で のす。 のす。 のす。 のす。 のす。 のす。 のす。 のす。	一	火て関っ 施る行っ 化や るた	険入るい ての、い び 博 り め、 及検不ま もに強ま 事 関 効 、	が 産	24, 189 日標 (219 日標 (数善点等 一数・一数・一数・一数・一数・一数・一数・一数・一数・一数・一数・一数・一数・一	19,821 目標)(293 目標)(防巡視のため 立入検査をで	- (1) (1) (1) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	量に
果 指 標	① ② 成り で 成り 成り で 大 大 大 大 大	〔 - 7年月 - 7年月 - 7年月 - 7年月 - 7年月	査察実施件警告・命令を を、愛・地球を を、変・地球を をののの	一 件数 事業開始 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	は、 ・ は、 、 は、 、 は、 、 も、 、 も、 、 は 、 も 、 も 。 ・ は 、 も 。 も 。 も 。 も 。	・	火て関っ 施る行っ 化や るて	険入るい ての、い び 博 り め反 及検不ま もに強ま 事 覧 効 、処	が 全 本 フ 業 連 を 主 も の で 要 も の で 要 も の を も の る る の る の る の る る の る る る る る る る る る る る る る	24, 189 目標 (219 目標 枚善説 第 数単 をある をある をある	19,821 目標)(293 目標)(防巡視のため 立入検査をで し、不備事項 は、重要で	- () () () () () () () () () () () () ()	量に
果 指 標	① ② Riving 有 達 対 1 し 1 た 1 た 1 た 1 た 1 た 1 た 1 た 1 た 1 た	() () () () () () () () () ()	査察実施件警告・命令を を、愛・地球を をに火災予防	一 件数 事業開始 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	はない。 一様である。 一様では、 一は、 一は、 一は、 一は、 一は、 一は、 一は、 一	・	火て関っ 施る行っ 化や るて火	険入るい ての、い び 博 り め反象を 及検不ま もに強ま 事関 効 、処物	が 全	24, 189 目 (219 対応 数 集 を る 危 と ・ と ・ を か た と ・ を か た と ・ を か た と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と	19,821 目標) (293 目標) (防巡視のため 立入検査をで し、成のため し、の危険事での高 し、命危険の高	- () () () () () () () () () () () () ()	量に
果 指 標	① ② Riving 有 達 対 1 し 1 た 1 た 1 た 1 た 1 た 1 た 1 た 1 た 1 た	「 7 1 7 ま年 2 3 性	査察実施件 警告・命令/ 警告・命令/ を に火災予防 しのす。	- 数	はない。 一様である。 一様である。 一様では、 一は、 一は、 一は、 一は、 一は、 一は、 一は、 一	・ 応火を をで理を 呪 芸 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	火て関っ 施る行っ 化や るて火的 危立すて しもいて 及万 よ た違対に	険入るい ての、い び 博 り め反象指 及検不ま もに強ま 事 関 効 、処物導	が 全	24, 189 目 (219 対応 数 集 を る 危 と ・ と ・ を か た と ・ を か た と ・ を か た と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と	19,821 目標) (293 目標) (防巡視のため 立入検査をで し、成のため し、の危険事での高 し、命危険の高	- (a) (a) (a) (b) (a) (b) (b) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c	量 に 酒
果 指 標	① ②	() () () () () () () () () ()	査察実施件 警告・命令を を で を を を を と の す。 の す。 の す。 の す。 の す。 の す。 の り。 り り り り り り り り り り り り り り り り り	世数 一 事業開始 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	建をのす。おはにす。 一人築行改。改、、改改。 一人築行改。改、、改改。 一大文学 一大文 一大文学 一大文学 一大文学 一大文学 一大文学 一大文学 一大文学 一大文学 一大文学 一大文学 一大文 一大文学 一大文学 一大文学 一大文学 一大文学 一大文学 一大文学 一大文学 一大文学 一大文学 一大文 一大文 一大文 一大文 一大文 一大文 一大文 一大文	・一、芯火を をで埋を 呪い こ 一、	火て関っ 施る行っ 化や るて火的 部	険入るい ての、い び博 り め 反象指 価 及検不ま もに強ま 事関 効 、処物導	ド至前 は フ 業 車 軽 立里及し	24, 189 E (219 標 (219 標 (善点	19,821 目標) (293 目標) (防巡視のため 立入検査をで し、、命までのは、命ます。 には、命ます。	- () () () () () () () () () () () () ()	量 に 酒
果 指 標 ゴジュラ 評 価 i	① ② 成少成し 有達効 度	() () () () () () () () () ()	査察実施件 警告・命令を を で を を を を と の す。 の す。 の す。 の す。 の す。 の す。 の り。 り り り り り り り り り り り り り り り り り	世数 一 事業開始 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	建をのす。おはにす。 一人築行改。改、、改改。 一人築行改。改、、改改。 一大文学 一大文 一大文学 一大文学 一大文学 一大文学 一大文学 一大文学 一大文学 一大文学 一大文学 一大文学 一大文 一大文学 一大文学 一大文学 一大文学 一大文学 一大文学 一大文学 一大文学 一大文学 一大文学 一大文 一大文 一大文 一大文 一大文 一大文 一大文 一大文	・一、芯火を をで埋を 呪い こ 一、	火て関っ 施る行っ 化や るて火的 部	険入るい ての、い び博 り め 反象指 価 及検不ま もに強ま 事関 効 、処物導	ド至前 は フ 業 車 軽 立里及し	24, 189 E (219 標 (219 標 (善点	19,821 目標) (293 目標) (防巡視のため 立入検査をで し、成のため し、の危険事での高 し、命危険の高	- () () () () () () () () () () () () ()	量 に 酒

							/1/				<u> </u>		
1	事業	業 名	危険物保安	事務				163			一般会計 消防費		01
i	部	門	災害の防止					210			消防費		01
7	施	策	災害から市	民を守る体	制の整備			2	目		予防活動費	,	02
-	作成	部署	消防局予防	部指導課		50	01	08	連絡	先	972-3549		
事			対象(誰を	を・何を)				意	义	. ځ)	ういう状態に	こしたいのか	\)
業	ſī	立険物保	有事業所関			Ś	災害					るとともに、	· ·
の目						が多	発生	した	場合	ilci		市民生活への	
的						小顺	退に·	留め	ます	0			
												するよう審査	:、維持管理
事	監督	肾、完成	は検査等を行	います。主	な審査、検	查等	争は社	欠の	とお	:り-	です。		
業		<i>₽</i> .7△ ₩	-+ /	n+) ァ / ニ と +#	NA 安子 上台	— п⊣	+ 0.5	ا حات جا	└ ^ - ⊀-				
の	$\begin{array}{ c c }\hline 1\\ 2\end{array}$		n施設の新設 n施設(既設								の会成烩本		
内	3											ド協会が検査	・を実施)
容	4		施設(既設								~ ~ · · · · · · · ·		
	<u> </u>		1										
開	始	年 度	昭和 23		処法令・要組	_	消队	方法					
事	業費	・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	н	_	名古	屋新	f世紀	记計画2010第	2次実施計画	無 頁
事第	美費	(千円)	7, 507	7,606	10, 706	掲	載	個別記	計画				頁
財	国•	県支出金				事	業(の実績	漬	単位	16年度	17年度	目標 年度
源	地	方 債						• 検					
		 他特定財源	7, 507	7, 606	10, 706	(1)	査・ 出件	各種	届	件	5,664	4, 922	_
		设置。 設財源					Ш	- 安义					
		(人)	24. 8	24. 8	24. 8	2							
叫以			的の成果を		指標設	中企	\ * :	. +		24 /T	16年度	17年度	目標 年度
<u> </u>	=	₹の日	的の成果を	別の拍标	消防法へ					単位	10平皮	17十段	日保 半及
成		審査・	検査・各種	届出件数	断する審査						5,664	4,922	
	1				届出件数を					件			_
果]	します。						目標	目標、	
+15		l		J							()	()	
指													
T485	2												
標		[<u> </u>									目標	目標	
		l		J							()	()	
					時からの状況			· - •					
												きの見直した	
		-										事務審査基達 速・的確に	
	–		で座 マーエノ 竟の整備に努	/		€1,1 =	尹 4为	2 O	A	L 9	34C, 10	次 ・ ロ 3 4 度 (C =	が分りため
٥,	• •	D (101 0 K)		, , , , ,	0								
					市評価								総合評価
評	有	効 性										して適切な	
	達	成 度							·を	図る	とともに、	審査・検査	Α
			- 4	善等のマニュ	ュアル化を進	重め)	ます	0					^
価	効	率 性	4										
				行协言	平価委員会の	DAY:	ᅘ	/冊					総合評価
						771	마하하	ІЩ					でロロコ四
(3	<u>_</u> の	事業に対	対するコメン			77 1	마하	Щ					MO 다마 IM

1	事業	業 名	警防対策事	務				164		会計款	一般会計 消防費			01 09
ì	部	門	災害の防止					210	費	項	消防費			01
j	施	策	災害から市	民を守る体	x制の整備			2	目	目	消防活動費	,		03
•	作成	部署	消防局消防	部消防課		50	01	10	連綿	各先	972-3557		•	
事			対象(誰を	を・何を)				意	义	'ځ)	ういう状態に	こしたいのか	١)	
業の	5)	災害対応										員の能力向上	:を図ると	-
						논	もに、	活	動月	月被从	服等を整備	します。		
的														
1														
開	始	年 度	昭和 23	年度 根	拠法令・要約	岡等	消队	方組約	哉法	.				
事	業費	・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	н і		名古	屋籍	折世紀	紀計画2010第	2次実施計画	無	頁
事第	養	(千円)	72, 436	82, 665	59, 377	掲	載	個別	計画					頁
財	国•	県支出金				事	業()実	績	単位	16年度	17年度	目標18年	度
源	地	方 債					出動							
内	その	----- 他特定財源				1	水ま 間	での	時	分	6.8	6.8	6. 5	
:]		 般 財 源	72, 436	82, 665	59, 377		l HJ							
		(人)	6. 0	6. 0	+	2								
7150						<u> </u>	<u></u>				405-			亩
	亘	は (() 日	的の成里を	測る指標	1 指榫毂	定の)老 🤇	方		畄位	16年世	17年度	日程IX年	
ᆄ	事	事業の日 「	的の成果を	測る指標	指標設	-			<i>t-</i>	単位	16年度	17年度	目標18年	- /文
成	事	1	的の成果を から放水ま [*]		初期の火気の消防隊が	災防 が出	御を動か	行う ら放	水	単位	1 6年度 6.8	17年度 6.8	目標18年	- /文
	①	1			初期の火めの消防隊は休制を整え	災防 が出 るま	御を 動か での	行う ら放	水	单位 分	6.8	6.8	日標18年 6.5	· IZ
成 果		1			初期の火気の消防隊が	災防 が出 るま	御を 動か での	行う ら放	水		6.8 目標	6.8		·反
果		1			初期の火めの消防隊は休制を整え	災防 が出 るま	御を 動か での	行う ら放	水		6.8 目標	6.8		· 皮
		1			初期の火めの消防隊は休制を整え	災防 が出 るま	御を 動か での	行う ら放	水		6.8 目標	6.8		
果指		1			初期の火めの消防隊は休制を整え	災防 が出 るま	御を 動か での	行う ら放	水		6.8 目標 (6.5)	6.8 目標 (6.5)		
果指	1	1			初期の火めの消防隊は休制を整え	災防 が出 るま	御を 動か での	行う ら放	水		6.8 目標 (6.5)	6.8 目標 (6.5)		
果指	1	1		での時間]	初期の火物の消防隊体制を整える間を指標と	災がるし	御動です。	行らが均	水 時	分	6.8 目標 (6.5)	6.8 目標 (6.5)		
果指標	1 2	出動;	から放水ま	での時間] 事業開始	初期の火物の消防隊、体制を整え、間を指標と	災がるし 沈 変	御 動 で す。 化 及	行らかり	水 時 事業	分の改	6.8 目標 (6.5) 目標 () X善点等	6.8 目標 (6.5) 目標 ()		
果 指 標	① ②	出動だけ、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では	から放水まで	での時間] 事業開始 二半い、道路	初期の火物の消防隊体制を整え間を指標と 時からの状況	災がるし 沢物の	御動です・化水形	行ら平り、びいいのでは、できないですが、	水 時 養 養	分雑化	6.8 目標 (6.5) 目標 () Z善点等 しています	6.8 目標 (6.5)		T IX
果 指 標	① ②	出動だけ、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では	から放水まで	での時間] 事業開始 二半い、道路	初期の火物の消防隊体制を整え間を指標と 時からの状況	災がるし 沢物の	御動です・化水形	行ら平り、びいいのでは、できないですが、	水 時 養 養	分雑化	6.8 目標 (6.5) 目標 (かまち	6.8 目標 (6.5) 目標 ()		
果 指 標	① ②	出動だけ、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では	から放水まで	での時間] 事業開始 二半い、道路	初期の火物の消防隊体制を整え間を指標と 時からの状況	災がるし 沢物の	御動です・化水形	行ら平り、びいいのでは、できないですが、	水 時 養 養	分雑化	6.8 目標 (6.5) 目標 (かまち	6.8 目標 (6.5)		
果 指 標	① ②	出動だけ、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では	から放水まで	での時間] 事業開始 二半い、道路	初期の火災 めの消防隊 体制を指標と 間を指標と 時からの状況 各事情及の自	災がるし	御動です・化水形	行ら平り、びいいのでは、できないですが、	水 時 養 養	分雑化	6.8 目標 (6.5) 目標 (かまち	6.8 目標 (6.5)	6.5	
果 指 標	②	出動に関する場合では、関連に関する。	から放水ま	での時間 事業開始 二件い、 での時間	初期の火災 めの消防隊 体制を指標と 間を指標と 時からの状況 各事情及び領 対応能力の向	災がるし 院出まま 変 物上	御動です 化 形並 化 態び	行ら平でいる。では、一つでは、できないでは、できないでは、できないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	水時 事 業 複器	のは生物	6.8 目標 (6.5) 1 標 (6.8 目標 (6.5) 目標 (つています。		
果 指 標	① ②	出動だ	から放水ま、 急激な変化に 訓練を実施し	での時間 事業開始 二件職員の対	初期の火災 めの制を標と 時からの状況 各事情力の 市評価 その安全を	災がるし 	御動です 化 形並 ための。 と と と と と と と と と と	行ら平 - う放均 - い - い - い - い - い - い - い - い	水時事業複器	の戦化等	6.8 目標 (6.5) 目標 (b.5) Z善点等 し充実を図	6.8 目標 (6.5) 目標 (つ)	6.5	
果 指 標	②	出動に関する場合では、関連に関する。	から放水まで熱な変化に関連を実施し	での時間 事業開始 二件職員の対	初期の火災 めの消防隊 体制を指標と 間を指標と 時からの状況 各事情及び領 対応能力の向	災がるし 	御動です 化 形並 ための。 と と と と と と と と と と	行ら平 - う放均 - い - い - い - い - い - い - い - い	水時事業複器	の戦化等	6.8 目標 (6.5) 目標 (b.5) Z善点等 し充実を図	6.8 目標 (6.5) 目標 (つ)	6.5	
果 指 標	① ② 公会様	出動だ	から放水ま 熟な変化に 訓練を実施し う 記	での時間 事業開始 二件職員の対	初期の火災 めの制を標と 時からの状況 各事情力の 市評価 その安全を	災がるし 	御動です 化 形並 ための。 と と と と と と と と と と	行ら平 - う放均 - い - い - い - い - い - い - い - い	水時事業複器	の戦化等	6.8 目標 (6.5) 目標 (b.5) Z善点等 し充実を図	6.8 目標 (6.5) 目標 (つ)	6.5	
果 指 標	① ②	出動 出動 環境 の 続 関 効 性 度	から放水まで 急激な変化に 訓練を実施し うす。 うす。	での時間 事業開始 (本) 事業開始 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	初期の火災 めの制を標と 時からの状況 各事情力の 市評価 その安全を	災がるし 況 をり 一 アニー・アニー・アニー・アニー・アニー・アニー・アニー・アニー・アニー・アニー・	御動です 化 形並 た効 をかの。 及 態び め果	行ら平していている。これでは、いのでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、	水時事業複器	の戦化等	6.8 目標 (6.5) 目標 (b.5) Z善点等 し充実を図	6.8 目標 (6.5) 目標 (つ)	6.5 総合評価 B	
果 指 標	① ② 会様 有達効	出動 環な 効 成 率 位 度 性	から放水まで 急激な変化に 側練を実施し 3 4 3 4	での時間 事業開始 半い員 高いま 一 一 一 一 一 一 一 一 一	があるとと おからの状況の 時事能 おからのでの おからのでの おからのでの でするとともに でするとともに でするとともに でする。	災がるし 況 をり 一 アニー・アニー・アニー・アニー・アニー・アニー・アニー・アニー・アニー・アニー・	御動です 化 形並 た効 をかの。 及 態び め果	行ら平していている。これでは、いのでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、	水時事業複器	の戦化等	6.8 目標 (6.5) 目標 (b.5) Z善点等 し充実を図	6.8 目標 (6.5) 目標 (つ)	6.5	
果 指 標	① ② 会様 有達効	出動 環な 効 成 率 位 度 性	から放水まで 急激な変化に 訓練を実施し うす。 うす。	での時間 事業開始 半い員 高いま 一 一 一 一 一 一 一 一 一	があるとと おからの状況の 時事能 おからのでの おからのでの おからのでの でするとともに でするとともに でするとともに でする。	災がるし 況 をり 一 アニー・アニー・アニー・アニー・アニー・アニー・アニー・アニー・アニー・アニー・	御動です 化 形並 た効 をかの。 及 態び め果	行ら平していている。これでは、いのでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、	水時事業複器	の戦化等	6.8 目標 (6.5) 目標 (b.5) Z善点等 し充実を図	6.8 目標 (6.5) 目標 (つ)	6.5 総合評価 B	

											·		
	事	業 名	火災調査管	理事務						計	一般会計 消防費		01
	部	門	災害の防止	·							1500 <u>章</u> 消防費		01
	II. 施	 策		i民を守る体	制の整備						消防活動費	,	03
		部署	消防局消防		11.4	50	01				972-3559	•	1 2 2
事業の目的		火災調査				しる	ます。)	業務	をi	適正かつ円	こしたいのか 滑に実施でき	きるように
事業の内容				」に実施でき 予防施策に			うとも	ともに	· 、必	必要	となる資器材	才等を整備し	ます。
開	始	年 度	昭和 23	年度 根据	処法令・要組	岡等	消队	方法					
事	業費	・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	н і	Ι	名古	屋新	世紀	己計画2010第	2次実施計画	無 頁
事美	美費	(千円)	4, 212	4, 259	1, 495	撂	載	個別計	一画				頁
財	国•	県支出金				事	業の	り実績	責 単	鱼位	16年度	17年度	目標 年度
源	地	方 債				(1)		調查		口	3, 696	3, 088	_
内	その	他特定財源						施回数	义 .	ш	5, 090	3, 000	_
訳	l .	般財源	4, 212	4, 259	1, 495 4. 0	2	の火	あた! :災調3		寺間	25. 4	23. 4	_
493			的の成果を		指標設	定の		時間	単	鱼位	16年度	17年度	目標18年度
成			不明火率		火災調査 不明火率を	結身	果に:	おける	5		3. 2	3. 1	
果	1		不明火数		た。	1111	., C	0 50 1		%	目標	目標	3
+⊩.		l	火災件数	<u>J</u>							(3)	(3)	
指標標	2												
175		—]							目標()	目標()	
				事業開始	ー 時からの状え	兄変	化.及	が事	業 σ	为 公	<u></u>	,	
す。	ま	た、平原	は8年に名言	よが施行され	したことに付 情報保護条例	۴V١,	火	災調	査結	果	の開示を求	める例が増え 公開条例が加	
					市評価								総合評価
評	有達	効 性 成 度		を進め、経費削	火災調査書にう 削減を行っている	デジタ ます。	マル画	像を導	なし、	, J		のです。 用しやすい資料	A
価	効	率 性	· 4 ×	災一件あたりの)調査使事時間の	ク 前海	以に努	めてい	います。	0			, ,
Щ			· ·	行政記	平価委員会の	り外	部評	価					総合評価
(;	<u>_</u> (1)	事業に対	付するコメン	/トはありま		•							
I													۸

				3,23	-11-	_				<u>L</u>	<u> </u>		
	事業	美 名	消防水利の	管理事務				166 予算	会計款	一般会計 消防費			01 08
i	部	門	災害の防止					210 費		消防費			01
7	拖	策	災害から市	民を守る体	制の整備			2 目	目	消防活動費			03
•	作成	部署	消防局消防	部消防課		50	01	10 連絡	各先	972-3560			1
事			対象(誰を	[・何を)				意図	ظ)	ういう状態	にしたいのか	١)	
業	洕	肖防水利	(消火栓、	防火水槽、	プールな	Ş	総害	時に消防	方水	利を有効に	利用できるよ	こうに維	持
の目	ど)					管理	里し	ます。					
I 的													
	Ħ	万内の消	防水利は、	平成18年3月	31日現在、	消	火栓	39, 641	、防	火水槽2,00)6、プール等	≨558の台	信台
事			備されてお		を維持管理	する	らたと	め次の事	務	を行いました	F-0		
業			示 1,400億			- 14							
の			槽の水漏れ		る部分など	の個	》 埋						
内			槽用地の草 槽用地借地										
容		タノノヘハ	7月11201日20	11 07 X14									
開	始	年 度	昭和 23	年度 根据	処法令・要約	岡等	消隊	方法					
事	業費	・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	計	·画	名古屋籍	折世紀	紀計画2010第	2次実施計画	無	頁
事第	養	(千円)	17, 756	19, 099	12, 641	掲	載	個別計画					頁
財	围•	県支出金	,	<u> </u>	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	事	業(の実績	単位	16年度	17年度	目標18	
• • •		方債				7	1			10 172	17 172	Д ју го	1 /2
						1		く栓路面 ・施工数	箇所	1,400	1,400	1, 40	0
		也特定財源					1示7	、旭工数					
т		投 財 源	,	19, 099	12, 641	2							
職		(人)	0.8	0.8	0.8)							
	事	業の目	的の成果を	測る指標	指標設	定の)考	え方	単位	16年度	17年度	目標18	年度
成		光元	栓路面標示	の株工家	すべての					91	91		
	1	11170	住喧曲惊小	ルルエキ	標示を施工	.し、	位	置を明	%	91	91	00	
果	1	「 消力	火栓路面標示	施工数)	示します。				70	目標	目標	92	
		l	消火栓総							(100)	(100)		
指													
標	2	٢		٦						目標	目標		
										()	()		
		(車業問が!	L 時からの状況	口亦	ルエ	が重要	_ເ		/		
Ť	片 :某	上の輝勢	まめ坦三版も								標示の耐久性	生が高 L	- Ì
たこ	ン坦- - レ _:	上の保順	はて掲か物が けべての消火	・ 栓に 路面超	(性)宗戦のか 要示を施行す	「心」	エル	私下し/	レレ	ている。	(宗グトリフ川) グヘエ	土//* 14] 丄	. 0
, _ (/	v (2)	C 42 1112		Kv1. G WE [1]	ω.		CHW					
					市評価							総合計	平価
評	有	効 性			さいて、消防						n 4 1-		
	達	成 度	3	と書時におり	って、有効に	二估	用で	`きるよ	つ維	持管埋に努	めます。	В	
,		率 性	4										
価	効	华江	4				.					A	
					平価委員会(の外	部評	<u>"</u> 価				総合計	平価
(3	の	事業に対	すするコメン	トはありま	ミせん。)								
												ח	

事 業 名	可搬式ポン	プの維持管	·理			167 予	会計	一般会計 消防費			01 08
部門	災害の防止					210 費		消防費			01
施策	災害から市		制の整備			2 目		防災対策費	,		04
作成部署	消防局消防	部消防課		50	01	10 連絡	各先	972-3560			
事	対象(誰を	と・何を)				意図	'ځ)	ういう状態に	こしたいのか	١)	
常市民消火	:隊の使用す	る可搬式ポ	ンプ			庤に適፤	Eに	運用できる	ように維持管	管理しま	:
目				す。							
的	左 4 日 4 日		A 116 (4) = 31	1	1 0	, о т и	n. — 🕒 .	19 \ . 0 1 \ π ⊐ E	田 た に 一つ い ユ		
(((本 1 + 1 +	年4月1日 ほおいて、そ								置されていま テいました	9.	
	ポンプの修						_ 671	人(ソ す (力で)	14.7010		
・保管庫	用地賃借料				, 12						
内											
容											
開始年度	昭和 49	年度 根据	処法令・要約	岡等							
事業費・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	計	画	名古屋籍	折世紀	记計画2010第	2次実施計画	無	頁
事業費(千円)	5, 498	3, 003	2, 327	撂	載	個別計画					頁
財国・県支出金				事	業0)実績	単位	16年度	17年度	目標	年度
· · ·					1	プの		1112			1 (2
///				1		対け出	台	65	53	_	
訳一般財源		3, 003	2, 327		12 -						
	$0, \pm 00$	5,005	4, 541								
融昌数 (人)	0.4	· ·		2							
職員数(人)	0.4	0.4	0.4) 孝 范	· †	単位	16年度	17年	日煙	午
事業の目	0.4 的の成果を	0.4	0.4 指標設	定 <i>σ</i>			単位	16年度	17年度	目標	年度
事業の目		0.4	0.4	定σ	効に注	舌用で	単位	16年度 65	17年度 53	目標	年度
事業の目 ポンプ	的の成果を	0.4	0.4 指標設 災害時に	定σ	効に注	舌用で	単位	65	53	目標	年度
事業の目 成 ポンプ	的の成果を	0.4	0.4 指標設 災害時に きるよう必	定σ	効に注	舌用で		65	53	目標	年度
事業の目 成 果 ① ポンプ	的の成果を	0.4	0.4 指標設 災害時に きるよう必	定σ	効に注	舌用で		65	53	目標	年度
事業の目 成 果 ① 【 指	的の成果を	0.4	0.4 指標設 災害時に きるよう必	定σ	効に注	舌用で		65	53	目標	年度
事業の目 成 果 ① ポンプ	的の成果を	0.4	0.4 指標設 災害時に きるよう必	定σ	効に注	舌用で		65	53	目標	年度
事業の目 成 果 ① 【 指	的の成果を	0.4	0.4 指標設 災害時に きるよう必	定σ	効に注	舌用で		65	53 厚標()	目標	年度
事業の目 成 果 ① 【 指	的の成果を	0.4 測る指標	0.4 指標設 災害時に きるよう必 理します。	有効である。	動に注 こ応	舌用で じて修	台	65 目標 ()	53 厚標()	目標	年度
事業の目 成 果 ① 【 指	の修理台数	0.4 測る指標] 事業開始	0.4 指標設 災害時に きるよう必 理します。	定 の 有效 (元要)	かに流った。	舌用で じて修 な び事業	台の改	65 目標 () 目標 () z善点等	53 目標 () 目標 ()	_	
事業の目 成 果 ① [指 標 ② [的の成果を の修理台数 とし、市民消	0.4 測る指標 事業開始 海火隊から消	0.4 指標設 災害時に きるよす。 時からの状 対防団が可掬	定ので、有要にいる。	かに流った。	舌用で じて修 な び事業	台の改	65 目標 () 目標 () z善点等	53 目標 () 目標 ()	_	
事業の目 成 果 ① [指 標 ② [的の成果を の修理台数 とし、市民消	0.4 測る指標 事業開始 海火隊から消	0.4 指標設 災害時に きるよす。 時からの状 対防団が可掬	定ので、有要にいる。	かに流った。	舌用で じて修 な び事業	台の改	65 目標 () 目標 () z善点等	53 目標 () 目標 ()	_	
事業の目 成 果 ① [指 標 ② [的の成果を の修理台数 とし、市民消	0.4 測る指標 事業開始 海火隊から消	0.4 指標設 災害時に きるよす。 時からの状 対防団が可掬	定ので、有要にいる。	かに流った。	舌用で じて修 な び事業	台の改	65 目標 () 目標 () z善点等	53 目標 () 目標 ()	_	
事業の目 成 果 ① [指 標 ② [的の成果を の修理台数 とし、市民消	0.4 測る指標 事業開始 海火隊から消	0.4 指標設 災害に必 りまします。 りで りました りなりました	定 の 有好 の で で で で で で で で で で で た う く う く う く う く う く う く う く う く う く う	かに流った。	舌用で じて修 な び事業	台の改	65 目標 () 目標 () z善点等	53 目標 () 目標 ()	_) ,
事業の目 ポンプ 【 指 を 指 を と 説 は に が に が に し の 災 を み は の の の の の の の の の の の の の の の の の の	的の成果を の修理台数 とし、市民活 で運用するこ	0.4 測る指標 事業開始 当火隊から消	0.4 指標設 災害時に必 きるします。 時からの状 的団ました 市評価	上 定の	がに に に に に に に に に に に に に に	舌用で じて修 び事業 プの維!	おき	65 目標 () A善点等 理をするこ	53 目標 () 目標 ()	上により) ,
事業の目 ポンプ (1)	的の成果を の修理台数 と を は は は は は は は は は は は は は は は は は は	0.4 測る指標 事業開始 当火隊から消	0.4 指標設 災るしま きからの が団がま ち 市評価 た を た た た が で が で が で が で り た た た た た た た た た た た た た た た た た た	上 定の	がに に に に に に に に に に に に に に	舌用で じて修 び事業 プの維!	おき	65 目標 () A善点等 理をするこ	53 目標 () 目標 ()	とにより)、平価
事業の目 成果 指標 ② [的の成果を の修理台数 こし、市民消息 に関用すること	0.4 測る指標 事業開始 消火隊可能と	0.4 指標設 災るしま きからの が団がま ち 市評価 た を た た た が で が で が で が で り た た た た た た た た た た た た た た た た た た	上 定の	がに流 に応 化及 ポン	舌用で じて修 び事業 プの維!	おき	65 目標 () A善点等 理をするこ	53 目標 () 目標 ()	上により)、平価
事業の目 ポンプ (1)	的の成果を の修理台数 をし、市民作 を運用するこ	0.4 測る指標 事業開始 消火隊可能と	0.4 指標設 災るしま きからの が団がま ち 市評価 た を た た た が で が で が で が で り た た た た た た た た た た た た た た た た た た	上 定の	がに流 に応 化及 ポン	舌用で じて修 び事業 プの維!	おき	65 目標 () A善点等 理をするこ	53 目標 () 目標 ()	とにより)、平価
事業の目 成果指標 ② [的の成果を の修理台数 こし、市民消息 に関用すること	0.4 測る指標 事 業開始 当大隊可能と おとが可能と	0.4 指標設 災るしま きからの が団がま ち 市評価 た を た た た が で が で が で が で り た た た た た た た た た た た た た た た た た た	定 の方	かに流れている。	舌用で修 び事業 維持管:	おき	65 目標 () A善点等 理をするこ	53 目標 () 目標 ()	とにより)、
事業の目 成果指標 ② [的の成果を の修理台数 も は は は は は は は は は は は は は は は は は は	0.4 測る指標 事業開始 消火が可能と ポンプを操作 かになりまし	0.4指標設災るしま夢からのが 質的で で で で で で の で で で で で で の で で の で で の で の で で の で で の で で の で で の で で の で の で で の で り り で り り り い り り り り い り り り り り り <b< th=""><th>定の方</th><th>かに流れている。</th><th>舌用で修 び事業 維持管:</th><th>おき</th><th>65 目標 () A善点等 理をするこ</th><th>53 目標 () 目標 ()</th><th>とにより 総合i</th><th>)、</th></b<>	定 の方	かに流れている。	舌用で修 び事業 維持管:	おき	65 目標 () A善点等 理をするこ	53 目標 () 目標 ()	とにより 総合i)、

事 業 名	可搬式ポン	プの整備事	業			168 予算	会計款	一般会計 消防費			01 08
部門	災害の防止	•				210 費		消防費			01
施策		<u>.</u> ī民を守る体	制の整備			2 目		施設整備費			05
作成部署	消防局消防		71-4	50	01			972-3560	`		1
事	対象(誰る			0.0	Ů.				にしたいのか	١)	
* 市民消火	、隊の使用す		シプ	Ī				· · · · -	老朽化した可		ポン
の目									災害時に有効		
的				動る	を行	います。					
可搬式オ	『ンプは、手	引き台車に	持ち運びが	でき	る	動力付揚	湯水ス	ポンプ及びカ	汝水に必要な	ホー	スなど
	積み込みこ					_					
業 平成17年	医度は、可搬	対ポンプ14	台を更新し	、	きポン	ンプ446	台の	うち218台	の更新が完了	しま	した。
の											
内											
容											
開始年度	昭和 49		処法令・要約	_							
事業費・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	н і	画	名古屋籍	沂世 紀	記計画2010第	2次実施計画	無	頁
事業費(千円)	11, 610	23, 138	23, 240	捤	載	個別計画					頁
財国・県支出金				事	業(の実績	単位	16年度	17年度	目標	18年度
源地方債					ポン	ノプ更	,				
 内 その他特定財源				1		分数	台	7	14	1	14
 訳 — 般 財 源		23, 138	23, 240								
職員数(人)	0. 2	0. 2	0. 2	2							
	的の成果を		指標設	定の)考え	方	単位	16年度	17年度	日標	18年度
成			高性能な				-				10 1 12
	ポンプ更新	斤率	を行うことし	こよ	り、	市民消		47	49		
果①	更新数	ז	火隊による				%	目標	目標	5	52
	ポンプ総		ができるこれ	とと	拍倧	としま		(52)	(52)		
指	7.0 2 ///	200	070					(02)	(02)		
標(②)		,						目標	目標		
								H 1球 ()			
(車 类 問 仏 に	<u>l</u> 時からの状え	ᄓ亦	ルヤ	なが車業			()		
市内各学区	、の配置は多										
川川合子区、 	~♥ク目に10.1よれ	冬」し、 質に 個	11円段の百0	, 80	17/114	り順係と	之 利	していまり	0		
			市評価							総合	許価
評 有 効 性	4 3	大規模災害	寺において、	地:	域住	民によっ	る消	火活動は非	常に有効な		
達成度	4 もっ	りと考えてま	3り、その <i>た</i>	こめ	刊	(以示ン)	ノゼ	史 新する必	安かめりまし		A
±1 ÷ 14	/ 0										``
価 幼 楽 性	"	纪形	平価委員会の	n M	立尺量寸	価				松人	計価
(>の事業)>1	サナフ コーハ			ノブト	마하라	ТЩ				邢心 □	可計画
(この事業に対	対するコメン	/ トほめりる	にせん。)								
										-	

	•	123	>1 H I IF	_	/, \			Ľ	94211111	, ,,,
事 業 名	警防業務					169 第				
部門	災害の防止	<u>.</u>				費				
施策		- 5民を守る体	制の整備			2 目				
作成部署	消防局消防		11.4	05	01	10 連		972-3557		
事	対象(誰:	を・何を)							こしたいのか	N)
業 市民						こよる	被害	を軽減し、	市民の安全を	で確保しま
の目				す。						
的										
市内に	.6消防署44出	は張所及び57	方面隊を配置	置し	、24	時間体	制で	市民の安全	を守ります。	
事また、	名古屋空港内	可に消防航空	隊を配置し	てレ	います			, , , , , , , ,		
	.7年度中の火					* s.H.=	cı ı	□ 00 5 00		
の 火災 内 救助			ベ車両数 6 ベ車両数 2							
容警戒			、早岡数 2 延べ車両数						28	
救急	出動件数		延べ車両数							
開始年度	昭和 23	年度 根	処法令・要組	岡等	消防	組織	<u></u> 去			
事業費・人員			18年度予算額	_				紀計画2010第	2次実施計画	無 頁
事業費(千円)	10 1 12 10 15 15	17 1 12/01/91 112	10 1 /2 1 / 1 / 1	н	- - -	日日/至 固別計画	_			頁
財国・県支出	<u> </u>					実績	単位	16年度	17年度	目標 年度
				寻	1		甲亚	10平皮	17年度	日保 牛及
源 地 方 化				1		害出	件	105, 418	107, 062	_
内 その他特定財					動件	· 数		·	·	
訳一般財法				2						
職員数(人)	1628. 0									
	目的の成果を	測る指標	指標設	定の)考え	.方	単位	16年度	17年度	目標18年度
成し火災に	おける消防隊平	Z均現着時間	初期の火	災隊	方御る	行う		5. 0	5. 0	
1	, , = ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	*>= - ****	ための消防				分			5
果]	災害現場に 時間を指標					目標	目標	
lla l		J	时间を指除	ا ک :	ンより	0		(5)	(5)	
指										
···· 2										
標]								
l		J								
II A == - *	E- 14/ 3		時からの状況			- • .	•			
	急激な変化に									
多塚な相関	訓練を実施し	し、臧貝のメ	対かい 邦三ノナダノド	J_C.	単い	し賃布	村 寺	の元夫を凶	つしいより。	
						_				
			市評価							総合評価
評 有 効 性			を守るために							
達成り			迅速に災害泵 多様化する♡						た、増大す	Α
±1 -= 1		図念需要できます。	夕1來7119 つり	く古	ィーロスセ	性(こと)	کت (さるように	1央引化 9 9	, ``
価 郊 楽 『	<u> </u>	. , 0	证据未合合(D 4-1	_	 				総合評価
		1 1 1170 =	::::11111	リタト	出いますり	m				
(~の車業)~	分すスコイ		評価委員会の	ノクト	部評価	Щ				から口口口Щ
(この事業に	対するコメン			ソグト	部評(<u>Ш</u>				A

Į	事 業 名	救急業務指	道訓練					, ,	計款	一般会計 消防費				01 09
i	部門	災害の防止	•				210			消防費				01
	施策	災害から市	5民を守る体	制の整備				_		消防活動費	,			03
,	作成部署	消防局消防	部救急対策	室	50	01	15	連絡	先	972-3583				
事業		対象(誰	を・何を)				意	义 (. ځ	ういう状態に	こしたいのか	١)		
業の目的	職員				す。		隊員。	とし	て	の知識・技術	術の維持向」	こを図	図り る	ま
事業の内容	大学病院 指導助言医師()	愛矢	は センターを は 提携医療 を 士(1人) シ)の策定や	保有する医療 機関での番を を指導動のと 数付属病院、 部付、名古屋医	機をお客名を	関う文を与せる	うて養正方々教に務す立一、	救す。静と学名	かり 度の院屋	置を行う際に を制定し、 症例検討を 、藤田保健領 第一赤十字/	こ、必要に応 その中で、応え 実施していま、 新生大学病院、 病院、	急処¦ す。		
開	始 年 度	平成 4	年度 根据	処法令・要約	岡等	愛知	口県求	文急美	業務	8高度化推进	生事業実施要	領		
事	業費・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	計	画	名古	屋新	世紀	記計画2010第	2次実施計画	有	60	頁
事第	美費 (千円)	30, 298	27, 143	37, 315	撂	載	個別計	+画						頁
財	国・県支出	金			事	⋾業0	つ実績	責 単	単位	16年度	17年度	目標	票18年	F度
	地 方 代				1		iによる ·処置i ·数		件	1, 274	1, 422		_	
	一 般 財 i 員数 (人)	京 30,298 1.5	· ·	37, 315 1. 5	(2)		検討: 回数	会	口	56	45		54	
	事業の	目的の成果を	·測る指標	指標設	定の)考え	え方	単	単位	16年度	17年度	目標	票18年	F度
成果	1 目撃の1	可有る除細動 カ月後の救命 ロカ月後の生 余細動実施傷	対象の傷病 ^{冷率} 存者数]	プロトコ 処置を的確 より、傷病 上を目指し	ーノ ミに? 手者の	レにえ うう、 ひ数f	基づく こと	く こ	%	10 目標(20)	11 目標 (20)		20	
指標	2 [-]							目標()	目標()			
命外	心置を行う 対急活動の	法施行規則のことができるより一層の質法についても	の一部改正に ることになり 質的向上を図)ました。 図るため、今	ぞの	講習	を修ら事	了し	た	救急救命士				
証	有 効 ′	# 	対急需要は年々	市評価		はよ	り複数	维化•	• 高	度化していま	す。そのた	総	合評	価

					市評価	総合評価
評	有	効	性	4	救急需要は年々高まり、その業務はより複雑化・高度化しています。そのため、 め、傷病者に対する処置を迅速かつ的確に行うためには、医療機関と連携した指	
	達	成	度	2	導訓練、救急活動内容の検証を欠かすことはできません。 今後は、より実践性を高めていくよう研修内容の検討を行っていく必要があり	В
価	効	率	性	3	するは、より美政性を同めていくよう研修的各の傾的を行うていく必要があります。	
					行政評価委員会の外部評価	総合評価
()	_ (D)	事業	に対	けするコ	(メントはありません。)	
						В

				J) J -	→ □	IΨ	4 73					予小王 (1) H)	 .)/) T //
-	事業	美 名	救急資器材	等の整備				-	¹⁷¹	会計款	一般会計 消防費			01
i	部	門	災害の防止					6	210 費	項	消防費			01
7	施	策	災害から市	民を守る体	本制の整	備			2 目	目	消防活動費	,		03
	作成	部署	消防局消防	部救急対策	6室		50 (01	15 連		972-3563			•
事			対象(誰る									こしたいのか	١)	
業の目的		枚急隊					がで	きる	登器材を おようし	を整合こし	備し、適切 ます。	な救急活動を	行う	
事業の内容	しま 	きす。 点検に 主検な 主検 に 変用 が 呼吸循	いては年1 器材>	回、補充(。 器材 •		は年	2回@ 毒用B	の他	1、必要			_す うことがで ています。	きる	ように
開	始	年 度	昭和 39	年度 根	拠法令·	要綱	等 排	效急	業務実	施基	基準			
事	業費	・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予	算額	計画	<u> </u>	名古屋第	新世紀	記計画2010第	2次実施計画	無	頁
		(千円)	95, 083	92, 057		858	掲載	<u>.</u> ⊢	国別計画	_	OHI MITTING	- / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	7111	頁
		県支出金	00,000	02, 00.	00,	000	車者		実績	単位	16年度	17年度	目標	
• • •					-	+				丰位	10千度	17千皮	口作	录 十戊
		方 債			-	4			出動	件	98, 605	100, 117		_
内	そのイ	也特定財源	16, 374	16, 467	27,	623	1/2	牛数			,	,		
訳	— f	段 財 源	78, 709	75, 590	63,	235	2							
職	員数	(人)	2.0	2. 0)	2.0								
	事	業の目	的の成果を	測る指標	指	票設足	このす	考え	方	単位	16年度	17年度	目標	18年度
成		配備資	器材を整備	した救急車	出動	救急	車両	に常	に資		1.00	100		
.,.		の出動			器材が	-					100	100		
果	1	r 🛪	正足車の出重	h件数 η	とを指	標と	しま	した	-0	%	目標	目標]	00
714			全救急出動								(100)	(100)		
指			<u> </u>	11 200							100 /	. 100 /		
標	2	ſ —]							目標()	目標()		
				事業開始	時からの	ン計に	である。	人乃	7、「重業	の は		, ,		
			高度化に対応 なび調達を実	ぶするため、	、必要と	なる	資器	:材()種類	-		すが、資器材	才の言	十画的
													ž.c.	A == '-
				La Caraca		評価							総	合評価
評	有	効 性						に、	救急	資器	材の整備や	点検等は欠		
	達	成 度		けことがで NAt ト				∙ Ø '=	甘協の	たみ	計画的な	資器材の整		Α
/ 	効	率 性		7後も、よ 2点検等を2			火山直	. マノラ	▽心い	1 (V)	、 ロ 回 印パ	貝が竹り笠		*
価	נעצ	华江	4 VH '					, .	-				LI1	A == /
		La Mire :			評価委員		外部	भ	曲				総	合評価
(3	<u>-</u> の	事業に対	付するコメン	/トはあり	ません。)								

	車 :	 業 名	救急救命士	·			172	予	会計	一般会計		01
			~ · - · · ·					算		消防費		09
	部	<u>門</u> 策	災害の防止		光川の動性		210	費目		消防費		01
	施佐式	 記部署	災害から市 消防局救急			50	_			消防総務費 842-7588		01
事	1 1-112	いる	対象(誰を		4 <i>7</i> 71	50					こしたいのか	1)
業	2	枚急救命	士の資格を			j					、救急救命士	
の目的			<i>y</i> , , , , =	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						向上を図り		
			士の資格を持	つ職員に対	し、次のよう	な研	肝修を行	って	いま	す。		
事	1	就業前	教育 :救急救命士	·国家討驗合	枚							
業		5 6 時	間以上の救急			評問 ∅	0病院実	習を	実施	しています。		
の内	2	現任教		の次牧所组织	巡り年も奴に	ן <i>ו</i>	- 老ひで	** : =1:	巫,≇	こた田仏教	育から2年を約	収温1 た孝
容			・秋忌秋町工 間の病院実習			u し/	こ有及い	케(브)	又讲	・した現代教	ヨかり2午で河	強旭 した有
			,,		, ,							
開	始	年 度	平成 7	年度 根据	処法令・要約	岡等	救急救命士の 救急業務の高原	資格を有 度化の推	「する救 ┊進につ	急隊員に対して行う就 いて (消防庁通知)	業前教育の実施要領につ	いて (消防庁通知)
事	業費	・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	計	·画名古	屋親	斤世紀	紀計画2010第	2次実施計画	有 60 頁
事第	美費	(千円)	15, 001	15, 308	2, 272	撂	載個別	計画				頁
財	国•	県支出金				事	業の実	績	単位	16年度	17年度	目標18年度
源	地	方 債					就業前都	教育	1	1.77	1.1	1.1
内	その	 他特定財源				1	修了者数		人	17	11	11
訳	_	般 財源	15, 001	15, 308	2, 272		現任教	育	1	00	104	
韷	員数	女 (人)	0.7	0.7	0.7	2	修了者	数	人	99	134	_
7150												
7150	1	事業の目	的の成果を	測る指標	指標設	定の	考え方		単位	16年度	17年度	目標18年度
成		就業前	的の成果を 教育修了率		指標設 就業前教 指標としま	(育の				16年度 100	17年度 100	
	1	就業前			就業前教	(育の			単位			100
成		就業前	教育修了率	έ <u></u>]	就業前教	(育の				100	100	
成		就業前	教育修了率 修了人数	έ <u></u>]	就業前教指標としま 現任教育	育の	の修了率	を		100	100	
成果指		就業前	教育修了率 修了人数 目標人数 育修了率	<u>k</u>]	就業前教 指標としま	育の	の修了率	を		100 目標 (100)	100 目標 (100) 100	
成果	1	就業前	教育修了率 修了人数 目標人数 育修了率 修了人数	<u>k</u>]	就業前教指標としま 現任教育	育の	の修了率	を	%	100 目標 (100) 100 目標	100 目標 (100) 100 目標	100
成果指	1	就業前	教育修了率 修了人数 目標人数 育修了率	<u>(x</u>)	就業前教指標としま現任教育標とします	育の の で 。	の修了率を	を指	%	100 目標 (100) 100 目標 (100)	100 目標 (100) 100	100
成果指標	 ① ② 	就業前	教育修了率 修了人数 目標人数 育修了率 修了人数 目標人数	を (文 事業開始に すう応急処置等	就業前教指標としま現任教育標としますの質を保証するの状況	育ので、	の修了率 多了率を 化及び に、救急 に、救急	を 指 事業	% % の 改	100 目標 (100) 100 目標 (100) ヹ善点等	100 目標 (100) 100 目標 (100)	100 100 o下に行うべき
成果指標国の	① ② の 通 と	就業前 現任教 (教育修了率 修了人数 目標人数 育修了率 修了人数 目標人数 救急救命士が行った。名古屋市で	を (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大)	就業前教指標としま現任教育標としますの質を保証する 急救命士の研修	育のののいでである。	の修了率 多了率を 化及び に、救急 に、救急 に、報急 に、報急 に、報急 に、報急 に、報急 に、報急 に、報急 に、対急 に、対急 に、対象 に、対。 に、対象 に、対象 に、対象 に、対象 に、対象 に、対象 に、対象 に、対象 に、対象 に、対 に、対 に、対 に、対 に、対 に、対 に に に に に に に に に に に に に	を 指 事業 その他	% の 砂 の研究に分	100 目標 (100) 100 目標 (100) Z善点等 修に救急救命が	100 目標 (100) 100 目標 (100)	100 100 100 下に行うべき 策室で担当し
成果指標 国あいて	① ② 通とし絡	就業前 現任教 によてしいました。調整を行うに対していません。	教育修了率修了人数目標人数育修了率修了人数育修了率修了人数有修了率を持たる。これができる。これははばないである。これははばないである。これははばないである。これははないである。これははないである。これははないである。これははないである。これははないである。これははないである。これははないである。これははないである。これははないである。これははないである。これははないである。これははないである。これははないである。これははないである。これはは、これはは、これはは、これはは、これはは、これはは、これはは、これはは	を まま開始に する は、	就業前教 指標としま 現任教 で で の を 保証の の を 保証の で を な い で り と し で り で り り り り り り り り り り り り り り り り	育6 です。 での いたをつ の成 たの 成 た の 成 の 成 の 成 の 成 の の 成 の の の の	の修了率 **	を 指 事業 士他とは	% の が の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	100 目標 (100) 100 目標 (100) ヹ善点等 修に救急の所する り、命士に対ってあるかい。	100 目標 (100) 100 目標 (100) メディカルコントロールの ご養成所と救急対 る研修を救急業務	100 100 100 下に行うべき 策室で担当つ がカントロールにま があするま
成果指標	① ② 通とし絡の	就業前 現任教 によてしいない。 はないいかを行、 のいかした・後に	教育修了率修了人数目標人数育修了率修了人数育修了率修了人数有修了率を持たる。これができる。これははばないである。これははばないである。これははばないである。これははないである。これははないである。これははないである。これははないである。これははないである。これははないである。これははないである。これははないである。これははないである。これははないである。これははないである。これははないである。これははないである。これははないである。これはは、これはは、これはは、これはは、これはは、これはは、これはは、これはは	を	就標としま 指標としま 現と 現と のないての 意とって を保士の務として の を保士の務として の ないでの ままし がっ ないで も ないで も ないで も ないで も ないで も ないで も ないで も ないで も ないで も り、 も り、 も り、 も り、 も り、 も り、 も り、 も り	育す。 の	の修了率 「本を では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	を 指 業 五他とはが	% の が の の の の の の の の の の の の の の の の の の	100 目標 (100) 100 目標 (100) を 点等 修に、数つの対関である。 が、のかける。 が、のかける。 では、のができる。 では、ないでは関する。	100 目標 (100) 100 目標 (100) メディカルコントロールの ご養成所と救急対 気がそれぞれメディ	100 100 100 下に行うべき 策室で担当つ がカントロールにま があするま
成果指標	① ② 通とし絡の	就業前 現任教 によてしいない。 はないいかを行、 のいかした・後に	教育修了率 修了人数 目標人数 育修了 不 目標了 本 修 で 子 の で で 大 の で で 大 の で で 大 の で で か の で が の で が の で が の で が の で が の で で が の で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	を	就標としま 指標としま 現と 現と のないての 意とって を保士の務として の を保士の務として の ないでの ままし がっ ないで も ないで も ないで も ないで も ないで も ないで も ないで も ないで も ないで も り、 も り、 も り、 も り、 も り、 も り、 も り、 も り	育6ののでは、10ので	の修了率 「本を では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	を 指 業 五他とはが	% の が <i>の の の の の の の の の の</i>	100 目標 (100) 100 目標 (100) を 点等 修に、数つの対関である。 が、のかける。 が、のかける。 では、のができる。 では、ないでは関する。	100 目標 (100) 100 目標 (100) メディカルコントロールの ご養成所と救急対 る研修を救急業務	100 100 100 下に行うべき 策室し がカントロールにつ がを開始するま
成果指標	① ② 通とし絡のる	就業前 現任教 によてしいない。 はないいかを行、 のいかした・後に	教育修了率 修了人数 目標人数 育修 了 了 子 修 標 人 数 目標 人 数 日標 人 数 日標 人 数 会 表 会 表 会 表 会 表 さい ない 対 ない 前 か また か ない 対 ない	を 事業開始	就標と 現と 現と 所の急とっ救実 で	育すので、 現たをつ平、りかををかられて、	を	を 指 業 士他とはバラよ	% のののにと教がら	100 目標 (100) 100 目標 (100) な	100 目標 (100) 100 目標 (100) メディカルコントロールの 養成所と教急対 高がそを教急対 る研修を主管する 能を維持向	100 100 100 下に行うべき で行う担当 かパコントロールにつき を開始するまが 教急対策室が
成果指標 国あいてと当	① ② 通とし絡のる	就業前 現任教 にれい。調にとと いまていを行くし、	教育修了率 修了人数 育修 了人数 育修 了人数 育修 了 了 「	を 事業開始	就標と 現と 時の急とっ救実 では、	育すので、 現たをつ平、りかををかられて、	を	を 指 業 士他とはバラよ	% のののにと教がら	100 目標 (100) 100 目標 (100) な	100 目標 (100) 100 目標 (100) メディカルコントロールの 養成所と教急対 高がそを教急対 る研修を主管する 能を維持向	100 100 100 下に行うべき 策室パップトロールに で開対対策 対急対策室が 総合評価
成果指標	① ② のるま連そす 有達	就 第 現 任 教 り いました・後こ 数 性	教育修了率 修 了 人 数 目標 小 数 音修 了 人 数 音修 了 不 多 目標 で 子 人 数 を	を 事業開始	就標と 現と 現と 所の急とっ救実 で	育すので、 現たをつ平、りかををかられて、	を	を 指 業 士他とはバラよ	% のののにと教がら	100 目標 (100) 100 目標 (100) な	100 目標 (100) 100 目標 (100) メディカルコントロールの 養成所と教急対 高がそを教急対 る研修を主管する 能を維持向	100 100 100 下に行うべき 策室でで担当と かルコントロールにつま を開始するまが 教急対策室が
成果指標 国あいてと当	① ② 通とし絡のる 有	就 親 現 にれ。調にと 効 成 大・後こ 対 成	教育修了率 修了人数 育修了 人数 育修 了 人数 育修 了 人 人	女女 事業開始 一	就標と 現と 現と 所の急とっ救実 で	です。	を	を 指 業 士他とはバラよ	% のののにと教がら	100 目標 (100) 100 目標 (100) な	100 目標 (100) 100 目標 (100) メディカルコントロールの 養成所と教急対 高がそを教急対 る研修を主管する 能を維持向	100 100 100 下に行うべき 策策でで当れている が当れたのまが を含す価 A
成果指標 でていで担 評価	① ② のるま連そす 有達効	就	教育修了率 修了人数 育修了 人数 育修 了 人数 育修 了 人 人	な 事業開始等を受ける。 一	おま ボ標と 明の急とっ救実 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	です。	を	を 指 業 士他とはバラよ	% のののにと教がら	100 目標 (100) 100 目標 (100) な	100 目標 (100) 100 目標 (100) メディカルコントロールの 養成所と教急対 高がそを教急対 る研修を主管する 能を維持向	100 100 100 下に行うべきしっ デを室が出いた当にでも がカロットロールにる を開対対策室が 総合評価

	事業部施	美 名								/ H A - I		
事業			救急救命士	:養成事務			173	予算	会計款	一般会計 消防費		01
事業	佐	門	災害の防止	·			210			消防費		01
事業	心心	策	災害から市	i 民を守る体	制の整備		2	目	目	消防総務費	,	01
業	作成i	部署	消防局救急	救命士養成	所	50	10 01	連絲	各先	842-7588		•
			対象(誰る	を・何を)						<u> </u>	こしたいのか	
の	鵈	損									せ、救急隊員	員としての
目						肥ノ	りの向_	ことは	りり る	よ 9 。		
的												
事											経験に加え、排	対急救命士と
業			□識及び技術を 厚生労働大臣									
の	愛知	、岐阜及	び三重県下の	消防職員につ	いても受講生	とし	て受ける				•	
内容			会に定められる 6単位、専門									
容		期間:約			. (////// 10 4)114	.))					
毘	1 1/4	年 度	平成 3	年度 根拠	処法令・要約	図生	粉	7	·)土			
		<u>+ 及</u> ・人員		17年度決算額						2計画2010等	2次実施計画	有 60 頁
		· 八貝 (千円)	26,003				$\Xi \vdash$	山庄和川計画	八匹尔	记前四2010第	2久天旭前凹	1 頁
		県支出金	,	24, 220	30, 913		業の実		単位	16年度	17年度	月
財						事	* 未 の夫 	村	単位	10平皮	17年段	日保10年戊
		方 債		10.050		1	養成者	数	人	30	29	30
内		也特定財源										
訳		段 財 源	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	8, 164	10, 678	2	単位数	ζ	単位	27	27	32
墹	員数		1.3	1.3	1.3		<u> </u>	_		10左座	17左击	ᄆᄪᄱᇨᇠ
成		・耒の日	的の成果を	測る指標	指標設		万 て 人		単位	16年度	17年度	目標18年度
					数 刍 数 会		5世数2	$\simeq \sim$				
八		<u> </u>	国家試験の合	ì格率	救急救命 講者の国家		髮成教育 食合格≅			100	100	
	1	[3				試馬			%			100
果		<u>□</u>	合格者数	<u> </u>	講者の国家	試馬			%	目標	目標	100
果	1		合格者数 養成者数	<u> </u>	講者の国家 指標としま	試りす。	検合格≅	をを	%	目標(100)	目標(100)	100
	1	<u> </u>	合格者数	<u> </u>	講者の国家	武ります。	会合格率 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	をを		目標	目標	
果	1		合格者数 養成者数	<u> </u>	講者の国家 指標としま 救急救命	武ります。	会合格率 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	をを	%	目標(100)	目標(100)	100
果指	1		合格者数 養成者数	<u> </u>	講者の国家 指標としま 救急救命	武ります。	会合格率 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	をを		目標 (100) 421	目標 (100) 450	
果指	1		合格者数 養成者数	文 文	講者の国家 指標としま 救急救命	試す。士とし	会合格図の累計を表します。	をを成	人	目標 (100) 421 目標 (423)	目標 (100) 450 目標	
果指	2	[合格者数 養成者数 累計養成者	文	講者の国家 指標としま 救急救命 者数を指標	武士の一大と	会合格室 の累計者 シます。 化及び	を成成事業	人の改	目標 (100) 421 目標 (423) Z善点等	目標 (100) 450 目標 (453)	
果 指 標	① ② 平成1: 平成1:	「 「 5年3月の 6年3月の	合格者数 養成者数 累計養成者	女 女	講者の国家 指標としま 救急救を 者数を指標 時からの状 の指示がなくても 気管内挿管をす	試す。 士と 兄 もる	会合格 学	を を 成 事業 は ること	人の砂がな	目標 (100) 421 目標 (423) (善点等 できることになりました。	目標 (100) 450 目標 (453)	
果 指 標 1 2 3	② 平成1 平成1 平成1 平成1	「 「 5年3月の 6年3月の 7年3月の 17年度か	合格者数を成者数となる。 素が表している。 は、一般では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が	女 女 女 事業開始 の、救急救命出 の の り 変 り 変 り 変 り 変 り 変 り 変 り 変 り 変 り の の の の	講者の国し 国し 教急を指標 教を指標 を動物をのいるでは、 を動物をある。 おいるののは、 はでする。 は、 は、 では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	試す 士と 呪もるこい	会合内容内容内容内容内容中できれる中できる命中できる命	を 成 事 業 除ことの 養	人 の 動にな成	目標 (100) 421 目標 (423) (善点等 できました。 まもした。 ま名)	目標 (100) 450 目標 (453)	480
果 指 標 1 2 3	② 平成1 平成1 平成1 平成1	「 「 5年3月の 6年3月の 7年3月の 17年度か	合格者数 養成者数 累計養成者 製計養成者 以ま今改正により 法令改正により 法令改正により	女 女 女 事業開始 の、救急救命出 の の り 変 り 変 り 変 り 変 り 変 り 変 り 変 り 変 り の の の の	講者の国し 国し 教急を指標 教を指標 を動物をのいるでは、 を動物をある。 おいるののは、 はでする。 は、 は、 では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	試す 士と 呪もるこい	会合内容内容内容内容内容中できれる中できる命中できる命	を 成 事 業 除ことの 養	人 の 動にな成	目標 (100) 421 目標 (423) (善点等 できました。 まもした。 ま名)	目 標 (100) 450 目 標 (453)	480
果 指 標 1 2 3	② 平成1 平成1 平成1 平成1	「 「 5年3月の 6年3月の 7年3月の 17年度か	合格者参養成者参展では、大会の法令の改正により、法令の改正にはより、法令の改正には、もの法令の改来、等の費用を必ずを費等の費用を必ずを受ける。	女 女 事業開始 の 大きを の できる の	講者の国します。 者をして表している。 おおおいらの状ででするで、 を指標をしている。 おおいらの状ででするで、 を作り、これでするで、 です、 です、 でするで、 です、 でするで、 です、 です、 です、 です、 です、 です、 です、 で	試す 七と	会合格	を 事業 除ことのに 大 はるこ士成	人の砂がなり(まがなり(ま	目 標 (100) 421 目 標 (423) 活 点等 できることになりました。 1 名した。	目 標 (100) 450 目 標 (453)	480
果 指 標 1 2 3	① ② 平成1: 平成1: 平成1: 平成1: 平成1: ととし	「 「 5年3月の 6年3月の 7年3月の 17年度か	合格者数	女 本数 事業開始 の教物財団の教教財団の教教財団の教教財団の教教財団の教教財団の対象財所的すること 数急において、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	講者の国します。 者をして表している。 おおおいらの状ででするで、 を指標をしている。 おおいらの状ででするで、 を作り、これでするで、 です、 です、 でするで、 です、 でするで、 です、 です、 です、 です、 です、 です、 です、 で	試す 七と	会合格	を 事業 除ことのに 大 はるこ士成	人の砂がなり(まがなり(ま	目 標 (100) 421 目 標 (423) 活 点等 できることになりました。 1 名した。	目 標 (100) 450 目 標 (453)	480
果 指 標 1234	① ② 平平成は11 平平成は11 本平平とと	5年3月の 6年3月の 7年3月の 17年 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	合格者数 養成者数 累計養成者 果計養成之 以法令改改正により 以法令改改来事等の費用	女 本 事業開始 の教物を関すする を教を関すする を表する を表する を表する を表する ではは研える はは研える はは研える はは研える はは研える はは研える ははいまする。	講者の国し 国し 教会を 特からの状 を を 教教を おり を を が が が が が が が り を が が り を り を が い が り を が り と で う れ り で り で り と り で り で り で り で り で り で り で	試すったと、現もるこれ急におり、	会合合格型スびはみがかできるるできるのすさささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささ<	を 事業 はるこ士成 急 を を が も な の に 教 を	の 動にな成め 命	目標 (100) 421 目標 (423) 落点等 できることになりました。 1名) た。	目 標 (100) 450 目 標 (453) さりました。 は市救急救命士養 益々高まつ	480 総 合評価
果 指 標 12334 評	① ② 平平平と 有 達	「 5年3月の 6年3月の 7年3月の 7年7年費 効 性 放 度	合格者数 養成者数 累計養成者 累計養 ににににというとは今改改改正ににものというとび察費 でもましました。 なびを改改でいるである。 なびを発力している。 なびを表するである。 なびを表するである。 なびを表するである。 なびを表するである。 では、これでは、またした。 なびを表するである。 なびを表するである。 なびを表するである。 なびを表するである。 なびを表するである。 ないまたり、これである。 なっないまたり、これである。 ないまたり、これである。 ないまたり、これである。 なっないまたり、これである。 なっないまたり、これである。 ないまたり、これである。 ないまたり、これである。 ないまたり、これである。 なっないまたり、これでものである。 なっない。 なっな。 なっな	女 本数 事業開始 の教物財団の教教財団の教教財団の教教財団の教教財団の教教財団の対象財所的すること 数急において、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	講者 おおおお おおお おお おお お お	試すったと、現もるこれ急におり、	会合合格型スびはみがかできるるできるのすさささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささささ<	を 事業 はるこ士成 急 を を が も な の に 教 を	の 動にな成め 命	目標 (100) 421 目標 (423) 落点等 できることになりました。 1名) た。	目 標 (100) 450 目 標 (453) さりました。 は市救急救命士養 益々高まつ	480
果 指 標 1234	① ② 平平平と 有 達	5年3月の 6年3月の 7年3月度か 17年 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	合格者数 養成者数 累計養成者 累計養 ににににという法令改改改来等の費用 なび寮費等の費用	女 本数 事業開始 の教急財団の の教急財団の の教急財団の の教急財団の の教急財団の の教急財団の の教急財団の の教急財団の に関する でいま画的上 をいまでの といまでの	講者 おり おり おり おり まま おり おり から が が から が が が が が が が が が が が が が が が	試す 士と	全 全 体 素 ま 本 な かで急士 、 よ よ よ よ な のでき救の 教 が な かできなの 教 が な も な よ も な よ も な も で も も も も も も も も も も も も も	を 事業 はるこ士成 急 を を が も な の に 教 を	の 動にな成め 命	目標 (100) 421 目標 (423) 落点等 できることになりました。 1名) た。	目 標 (100) 450 目 標 (453) さりました。 は市救急救命士養 益々高まつ	480 総 合評価
果 指 標 1234 評 価	①	5年年7 劝成率 5年7 大成率	合格者数 養成者数 累計養成者 累計養 ににににという法令改改改改来等の費用 なびを発力を必要する。	女 数 事業開始 (教教) 事業開始 (教教) (教教) (教教) (教教) (教教) (教教) (教教) (教教	講者 教数 らの な管を引きる の な で を を を を を を を を を を を を を を を を を を	試す 士と	全 全 体 素 ま 本 な かで急士 、 よ よ よ よ な のでき救の 教 が な かできなの 教 が な も な よ も な よ も な も で も も も も も も も も も も も も も	を 事業 はるこ士成 急 を を が も な の に 教 を	の 動にな成め 命	目標 (100) 421 目標 (423) 落点等 できることになりました。 1名) た。	目 標 (100) 450 目 標 (453) さりました。 は市救急救命士養 益々高まつ	480 総 合評価

									_	∧= 1	一机合計		0.1
	事業	钅名	特定災害対	策事務							一般会計 消防費		01
	部	門	災害の防止						-		消防費		01
	 施	 策	災害から市		制の整備			2			消防活動費	,	03
	作成	部署	消防局消防	部特別消防	隊	50	13	12	連絡	先	361-3155		
事			対象(誰な	生・何を)				意				こしたいのか	
業の	特	持定災害	学対応			_		. — .		, -		的確に対応で	
目的						貝です。			U,	神	百守を囲し	職員の能力を	7円上しよ
ΕJ	+	下待や	P招高層建築	物における	災害 毒劇			针性组	勿質	17	トろ災害など	 ビに加え、テ	ロ行為かど
事												これらの災	
業	つ的	的確に対	応できるよ	う、資機材	の整備、職	員に	こ対	して	見場	活動	助知識・技術	析の訓練や講	習及び各種
の	貸格 1	子か取得	♪を行うとと 備資機材 低	もに、所轄・武数助姿機	の消防隊に はれ - 衣通災	対し	ン、 ⁽ た が に	和識 出姿は	• 技 [;] ※**	術の	り晋及に努る 映水姿機は	めました。	
内容			ゅり 成内 で 講講習等の↑									資格	
容												害、鉄道等	交通災害
毘	 	年 度	平成 13	年度 根	処法令・要約	図生	沿区	古紅紅	禁 注				
_		<u>+ 及</u> ・人員			18年度予算額					₩ \$	2計画2010第	2次実施計画	無 頁
_		· 八頁 (千円)	85, 992	68,899		н.		個別計				2久天旭可图	頁
		<u>、 </u>		00,000	00,002			の実績		単位	16年度	17年度	目標18年度
		方債				-	T .			+12	10十/文	17十段	口际10十尺
		プロート 也特定財源				1		留等受 人数	Z.	人	85	118	100
		*************************************		68, 899	65, 932		-		÷ ব্যব্ <u>য</u>				
		(人)	97. 0	97. 0		2	等争	東・講 ミ施隊	数	隊	176	144	160
4120			<u> </u>		指標設	定の				単位	16年度	17年度	目標18年度
成				אום ועו	特殊災害					-			口が「一人
150		講習等	の受講人数		講習等の受	:講/					85	118	
果	1	ſ		٦	としました	-0				人	目標	目標	100
		[—		 J							(100)	(100)	
指		拟古刑	災害等指導	沙米	都市型災						176	144	
	②	11111111111111111111111111111111111111	火豆 寸泪等!	小 秋	指導した消 としました		家数	を指植	襟	隊	170	144	160
標	Ū	[-0				1997	目標	目標	100
		l		J							, 100 /	(160)	
-	T -L	1 F F	上十一一十二十二		時からの状況			•				ナ.甘ウェー ボー	P1 CF2
											•	を基に、平原 重点的に救助	·
												重然のに扱う 防艇の運行管	
効=	率化る	を図る方	とめの経費が	計上される	ました。								
													総合評価
証	有	수는 남 <u>사</u>	 	自営の災害とH			話し 7分	害に	は	より	高い知識・共	術が必要であ	心口 計 Ш
		効 性											
			るた		る資機材を整								A
	達	成度	4 す。	今後も、実際	際に災害が発生	した	場合	に迅速	速か~	つ的	確に対応でき	るよう広い分	Α
		成 度率 性	4 す。 野の	今後も、実際	際に災害が発生	した	場合	に迅速	速か~	つ的	確に対応でき		A
	達		4 す。 野の	今後も、実際 講習等を通じ ます。	際に災害が発生	した の能	:場合 (土力向	に迅道上を図	速か~	つ的	確に対応でき	るよう広い分	総合評価
価	達 効	率 性	4 す。 野の	今後も、実際 講習等を通じ ます。 行政 記	深に災害が発生 て一層の職員 評価委員会の	した の能	:場合 (土力向	に迅道上を図	速か~	つ的	確に対応でき	るよう広い分	

	事業	名	教養施設の	管理事務					予算		一般会計 消防費		01
	部	門	災害の防止	<u> </u>					費		消防費		01
	[[施	 策	災害から市		*制の整備				目		消防総務費	,	01
	了 作成部	-	消防局消防		, ,,,,	50	15	13	連絲		736-2731		1
事			対象(誰									こしたいのか	n)
業	消	i防学校				3	効果に					滑に実施でき	
の目						校加	を 他 設 (の維持	寺管	9理	を行います。)	
的													
	次(の消防学	校施設の維持	管理を行いる	ます。								
事	//†	施設概要	(/)										
業				268 m²),	若鯱寮(3階	建	2,	1 4 5	5 m²)			
の					、防災技術訓								
内			注:1 1 階、地		473 m²)、水	実E 省X	以則訓	裸場	(1	作建	1, 458	m) 50m×;	0 1 - 7
容					La competition	H) 6 - 1 -	• • •		,				
-					を及び消防音楽			含む。)				
		年 度	昭和 43		拠法令・要組								
事	業費	・人員			18年度予算額	н і	Ϊ			近世	記計画2010第	2次実施計画	無 頁
事美	美費 ((千円)	11, 754	12, 904	11, 887	搖	載	個別計	一画				頁
財	国・児	県支出金				事	業(り実績	ŧ	単位	16年度	17年度	目標18年度
源	地	方 債				(術訓練セ		Ī	4.40	1.00	. = .
内	その他	 !特定財源			1	1	ター及練場の	び水難救! 利用回数	助訓	口	146	166	174
				12, 904	11, 887		防災技	術訓練セ	·/				
-			2. 0	2. (· ·	2	ター及練場の	術訓練セン び水難救」 延べ人員	助訓	人	4, 296	4,649	4, 881
493			的の成果を		指標設	$\pm \sigma$) 去 ?	方		単位	16年度	17年度	目標18年度
成		未の日	可の成本で	別の出法	施設の老権				許	中世	10千茂	17千茂	日保10千及
八		施討	段維持経費∅)増加率	理経費が増加						0.89	1. 10	
果	1	c	年度経費	ė,	念されますの					倍	口 / 面	D 4m	1以下
木					費額を超えた管理します。	-	より	に維持	守		目標(1八十)	目標	
指		ι	前年度経		日生しより。						(1以下)	(1以下)	
抇													
標	2	_											
િ											目標	目標	
		l		J # 55.4					- 1110		()	()	
	#.D.	0 fr its 1	۵ ۵ ۱ ۵ ۲		時からの状況							-1/	H4n 1
					、新規採用者 教育実施を行								
C /.	八九汉	こよれし	こいまりの	、、 口 作 () 3	以月天心で1.	١ノ١	(W)	(一)凹	収	ノ水田	バは里安な		く v ・
					市評価								総合評価
評	有	効 性			こめとして、消								
		成 度			円滑に活用でき 5化が進み、維								Α
			費て		きるように努め						, _ , , , ,	、・ハ・ノーハ・ノルエ	Λ
価	効	率 性	4										tn • == :-
				• • • • •	評価委員会の)外	部評	価					総合評価
(\	~ の	事業に対	付するコメン	/トはあり	ません。)								
(\	- Vノヨ												

3	事	業 名	職員教養関	係事務(肖防局)		176 予		一般会計 消防費		01
-	部	門	災害の防止				210 費		消防費		01
	iii 施		災害から市		本制の整備		2 目		消防総務費	,	01
			消防局消防		1 114 114	50	15 13 連絡		736-2731		
事		·	対象(誰を	上・何を)			意図	'ځ)	ういう状態に	こしたいのか	١)
業の	Ą	職員								に遂行するた	
目										して知識・技	技術の習
的		₩ 	1. Al . 7. Hale . 7.	> 1. 4/1 \			規律の保持			•	
	章 1	教養基本 学校教		えた教養な	丰間計画を定	(b),	次の事業を	美力	他していまっ	 f 。	
事	1	子仪教 初任教	• •	消防官に	なった者への	約6	るヶ月の全着		数音)		
業の		専科教			ゅったら 助・予防など						
内		幹部教	育(消防幹		必要となる知						
容	2	各種教			<i>2√1/2</i> + <i>1</i>		· 구###	h. ** \	15/日よいに	n 	
		导门機	メークが追	、导门的	な資格(クレ		/ • 玉掛抆雨	三寺)	取付など(ク夫他	
開	始	年 度	昭和 23	年度 根	!拠法令・要網	綱等	消防組織法	<u> </u>			
事	業費	・人員	16年度決算額	17年度決算額	預 18年度予算額	計	-画 名古屋親	折世紀	记計画2010第	2次実施計画	無 頁
事第	美費	(千円)	36, 872	28, 96	7 29, 193	捤	載個別計画				頁
財	国•	県支出金				事	業の実績	単位	16年度	17年度	目標18年度
源	地	方 債			-		学校教育				
内		 他特定財源				1	修了者	人	346	301	400
	<u> </u>	般 財 源	36, 872	28, 96	7 29, 193		各種教養				
ш/ \		13× 713 11131	00,0.2	10,	. 20, 100		1日1里状度	人	362	402	300
職	員数	女 (人)	9.0	9.	0 9.0		受講者		302	402	300
職		な(人) 事業の目	9.0 的の成果を	9. 測る指標			文冊乍	単位			
		事業の目	的の成果を	測る指標	指標設 年度中の受	定 の 法講者	 文 時 		16年度	17年度	目標18年度
成	=	事業の目		測る指標	指標設 年度中の受 の費用を算定	定の き講者	 × 時年) 考え方 音 1 人当たり らことによ	単位			目標18年度
成		事業の目教養	的の成果を 実施におけ	測る指標 る効率性	指標設 年度中の受	定 の 定講者 ごする	 × 時日 ラネえ方 5 1 人当たり 5 ことによ なします。前		16年度	17年度	
	=	事業の目 教養注 「 ^{年度}	的の成果を	測る指標 る効率性 ^{受講経費)}	指標設 年度中の受 の費用を算定 り、効率性を	定 の 定講者 ごする	× 時日)考え方 61人当たり らことによ なします。前	単位	16年度 1.33 ^目 標	17年度 0.78 目標	目標18年度
成	=	事業の目 教養注 「 ^{年度}	的の成果を 実施におけ (1人当たりのき	測る指標 る効率性 ^{受講経費)}	指標設 年度中の受 の費用を算定 り、効率性を 年度額以内と	定 の 定講者 ごする	× 時日)考え方 61人当たり らことによ なします。前	単位	16年度 1.33	17年度 0.78 目標	目標18年度
成果	1	事業の目 教養注 「 ^{年度}	的の成果を 実施におけ (1人当たりのき	測る指標 る効率性 ^{受講経費)}	指標設 年度中の受 の費用を算定 り、効率性を 年度額以内と	定 の 定講者 ごする	× 時日)考え方 61人当たり らことによ なします。前	単位	16年度 1.33 ^目 標	17年度 0.78 目標	目標18年度
成果	=	事業の目 教養注 「 ^{年度}	的の成果を 実施におけ (1人当たりのき	測る指標 る効率性 ^{受講経費)}	指標設 年度中の受 の費用を算定 り、効率性を 年度額以内と	定 の 定講者 ごする	× 時日)考え方 61人当たり らことによ なします。前	単位	16年度 1.33 ^目 標	17年度 0.78 目標	目標18年度
成果指	1	事業の目 教養注 「 ^{年度}	的の成果を 実施におけ (1人当たりのき	測る指標 る効率性 ^{受講経費)}	指標設 年度中の受 の費用を算定 り、効率性を 年度額以内と	定 の 定講者 ごする	× 時日)考え方 61人当たり らことによ なします。前	単位	16年度 1.33 ^{目 標} (1以下)	17年度 0.78 目標 (1以下)	目標18年度
成果指	1	事業の目 教養注 「 ^{年度}	的の成果を 実施におけ (1人当たりのき	測る指標 る効率性 ^{受講経費)} _{受講経費)}	指標設 年度中の受 の費用を算定 り、効率性を 年度額以内と	定の表示では、	文 冊 句 考え方 千 1 人当たり うことによ 対します。前 うことを目標	倍	16年度 1.33 目標 (1以下)	17年度 0.78 目標 (1以下)	目標18年度
成果指標	① ② 「 「 「 」 「	事業の目 教養: 年度 前年原 教急に加	的の成果を 実施におけ (1人当たりのき 度(1人当たりのき	測る指標 る効率性 る効率性 受講経費) 事業開始 高い市民の	指標設 年度中の受 の費用を算定 り、額以外と とします。 お時からの状 期待に応えると	■ 定 の た講する 次 を 次 を 次 を 次 を 次 を り	本時日 考え方 1 人当たり 5 ことます。 5 ことを目標 に、 で成19年	単位倍	16年度 1.33 目標 (1以下) 目標 (数字の大量退職 に対する。	17年度 0.78 目標 (1以下) 目標 (ののでは、100円のでは、10	目標18年度 1以下
成果指標	(1) (2) (1) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6	事業の目 教養: 年度 前年原 前年原 前年原	的の成果を 実施におけ (1人当たりのき 度(1人当たりのき え、防災など 必要がありま	測る指標 る効率性 受講経費) 受講経費) 事業開始 高いまた	指標設 年度中の受 の費用を算定 り、変額は を 年とします。 お時からの状 期待に応う消防力	上 定 が 注 注 注 注 注 注 注 注 注 注	本時日 考え方 千人当たり うこします。 しことを目標 に、軽針」に、 に、指針」によ	単位倍の改以、	16年度 1.33 I 標 (1以下) I 標 (変化) (本語の大量退職 消防職員とし	17年度 0.78 『標 (1以下) 『標 (加水でのです。 (1) でも、 (1)	目標18年度 1 以下 1 以下
成果指標 防合育	1 ② 解析の解析の解析が表現の解析が表現の解析を表現しています。	事業の目 教養 年 前年 原	的の成果を 実施におけ (1人当たりのき 度(1人当たりのき 次要ががいる がが示めな「 中長期的な「	測る指標 る効率性 る効率費) 事 市 た屋 事 に た屋 また た屋 に た屋	指標設 年標中の受定 年費用効解す。 年度日本を 年とします。 お時ののでは のので のので	上た。 注 注 注 注 注 注 注 注	と	単位倍の砂以、応	16年度 1.33 I 標 (1以下) I 標 (東の大量退職) な善点等 降の大職員と いするため、「	17年度 0.78 ■ 標 (1以下) ■ 標 (1以下) which is a minus of the image o	目標18年度
成果指標 防合育	1 ② 解析の解析の解析が表現の解析が表現の解析を表現しています。	事業の目 教養 年 前年 原	的の成果を 実施におけ (1人当たりのき 度(1人当たりのき 次要ががいる がが示めな「 中長期的な「	測る指標 る効率性 る効率費) 事 市 た屋 事 に た屋 また た屋 に た屋	指標設 年度中の受定 の要にを の事の のでで のでで のでで のでで を のでで のでで ので ので ので ので ので ので ので	上た。 注 注 注 注 注 注 注 注	と	単位倍の砂以、応	16年度 1.33 I 標 (1以下) I 標 (東の大量退職) な善点等 降の大職員と いするため、「	17年度 0.78 ■ 標 (1以下) ■ 標 (1以下) which is a minus of the image o	目標18年度
成果指標 防合育	1 ② 解析の解析の解析が表現の解析が表現の解析を表現しています。	事業の目 教養 年 前年 原	的の成果を 実施におけ (1人当たりのき 度(1人当たりのき 次要ががいる がが示めな「 中長期的な「	測る指標 る効率性 る効率費) 事 市 た屋 事 に た屋 また た屋 に た屋	指標設 年標中の受定 年費用効解す。 年度日本を 年とします。 お時ののでは のので のので	定がまた。 定様ではする 変も整こ」リ	と	単位倍の砂以、応	16年度 1.33 I 標 (1以下) I 標 (東の大量退職) な善点等 降の大職員と に対するため、「	17年度 0.78 ■ 標 (1以下) ■ 標 (1以下) which is a minus of the image o	目標18年度
成果指標 防合育	1 (1) (2) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	事業の目 教養 年 前年 原	的の成果を 実施におけて (1人当たりのき 度(1人当たりのき 次要に がががあった。 で を ががあった。 と と と と と と と と と と も も も も も も も も も	測る指標 る	指標設 年費のり年と 一時の ののの のの のの のの のの のの のの のの のの	■ 定がまた。	************************************	単位倍の改以、応施く	16年度 1.33 I 標 (1以下) I 標 (事か) A	17年度 0.78 I 標 (1以下) I 標 (1以下) I 標 () I 時期に計画的に I があったまさせる I があったまさまさままままままままままままままままままままままままままままままままま	目標18年度
成果指標	1 (1) (2) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	事業の目 教養 有機 が保験を関する が保験を度 がに行力めか 体験を度 効性	的の成果を 実施におけ (1人当たりのき 度(1人当たりのき え、要に がががあったなりさい で中各 4	測る指標 る 講経	指標設 「特に関する 「特別では、 「特別では、 「特別では、 「特別では、 「は、 「は、 「は、 「は、 「は、 「は、 「は、 「	■ 定様されて 定様されて 一一で ではまる。 では、一つで では、一つで では、一つで では、一つで では、一つで では、一つで では、一つで では、一つで では、一つで では、これで では、これで のは、一つで のは、これで のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、	************************************	単位倍の度り対。実いでは以、応施くす	16年度 1.33 I 標 (1以下) I 標 (事か) A	17年度 0.78 I 標 (1以下) I 標 (1以下) I 標 () I 時期に計画的に I があったまさせる I があったまさまさままままままままままままままままままままままままままままままままま	目標18年度 1 以下 1 以下 contain the contain
成果指標	(1) (2) (in) (in) (in) (in) (in) (in) (in) (in	事業の目 教 度 前 独保務を年 効 成 性 度	的の成果を 実施における (1人当たりの) 支(1人当たりの) 交換の場所がある なりさな中の と対し 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 6	測る指標 る 講経	指標設 年費のり年と 一時の ののの のの のの のの のの のの のの のの のの	■ 定様されて 定様されて 一一で ではまる。 では、一つで では、一つで では、一つで では、一つで では、一つで では、一つで では、一つで では、一つで では、一つで では、これで では、これで のは、一つで のは、これで のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、	************************************	単位倍の度り対。実いでは以、応施くす	16年度 1.33 I 標 (1以下) I 標 (事か) A	17年度 0.78 I 標 (1以下) I 標 (1以下) I 標 () I 時期に計画的に I があったまさせる I があったまさまさままままままままままままままままままままままままままままままままま	目標18年度
成果指標	(1) (2) (in) (in) (in) (in) (in) (in) (in) (in	事業の目 教 度 前 独保務を年 効 成 性 度	的の成果を 実施におけ (1人当たりのき 度(1人当たりのき え、要に がががあったなりさい で中各 4	測る指標 る 講経 要	指標設 「特別では、 「特別では、 「特別では、 「おりでは、 「おりでは、 「おりでは、 「ないでは、	■ 定がませばす	 大字 大字 大字 大字 大字 大字 大字 大字	単位倍の度り対。実いでは以、応施くす	16年度 1.33 I 標 (1以下) I 標 (事か) A	17年度 0.78 I 標 (1以下) I 標 (1以下) I 標 () I 時期に計画的に I があったまさせる I があったまさまさままままままままままままままままままままままままままままままままま	目標18年度 1 以下 1 以下 こ対応し、消 にあると でいきます。 総合評価 A
	(1) (2) (B) のな対対 (内) な対対 (内)	事業の目 教 度 度 年	的の成果を 実施におけて (1人当たりのを (1人当た) (1人当たりのを (1人当た) (1人当た) (1人当も) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	測る指標 る は	指標設 「特に関する。 「特に関する。」 「特にの一般では、 「は、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	■ 定様ではす	************************************	単合の度り対。実いで、	16年度 1.33 I 標 (1 以下) I 標 (善 の防る 職場) R 解 は	17年度 0.78 I 標 (1以下) I 標 (1以下) I 標 (1) I 標 (1) I 時複数す (1) I によりのべき させ できる 大人 の率 I が のが 変	目標18年度 1 以下 1 以下 contain the contain
成果 指標	(1) (2) (i) (i) (i) (i) (i) (i) (i) (i) (i) (i)	事業の目 教 度 度 年	的の成果を実施におけったりので(1人当たりので支(1人当たりので次の方がが期署なりさな中と的と的体持資格	測る指標 る は	指標設 「特別では、 「特別では、 「特別では、 「おりでは、 「おりでは、 「おりでは、 「ないでは、	■ 定様ではす	************************************	単合の度り対。実いで、	16年度 1.33 I 標 (1 以下) I 標 (善 の防る 職場) R 解 は	17年度 0.78 I 標 (1以下) I 標 (1以下) I 標 (1) I 標 (1) I 時複数す (1) I によりのべき させ できる 大人 の率 I が のが 変	目標18年度 1 以下 contact

			_			-				L			
	事業	名	鑑識事務					177 予	会計	一般会計 消防費			01
	<u></u> 部	門	災害の防止					算 210 費		消防費			09
			災害から市		制の整備			2 目		消防総務費	,		01
	作成音	将署	消防局消防	学校消防研	究室	50	17	14 連糸		736-2201			
事			対象(誰を	・何を)							こしたいのか		
業の	火	災調査	業務						务を)	適正かつ円	滑に実施でき	さるよう	に
目的						U à	ます。)					
ከህ	火	災の原因	刃調査を、分	が機器等を済	 舌用した科学	:的3	5法に	こより行	いま	す。			
事	\ <u>-</u>	主な事例	列等〉	7 7 7 7 C 1	H/11 0 12 11 1			-01/		, 0			
業		油分の材		を活田1 て	ル巛租場か	الم	7 土 1	た怯き	物に	油分が今まれ	ኂているか確 詞	辺します	
の			質の特定) / () () () () () () () () ()	. 54	X	ZICMEC.	199 (C	1四刀 //* ロ み /	してく のい 神田	心しより。	0
内容			光光度計を活 等の鑑定	用して、出生	火原因の解明	に必	公要な	は油脂類	の不	明成分を特別	定します。		
Т				を活用して、	電気配線及	び検	後器 類	頁の透過	画像	を撮影し、	異状箇所を特別	定します。	0
罪		年 度	昭和 45		処法令・要綱					<u> </u>			
	業費・				18年度予算額		_		近世紀	記計画2010第	2次実施計画	無	頁
_	<u>業費(</u>		1, 412	1, 123	1, 110		Ξ.	個別計画				7	頁
財	国・県	支出支	,	,			業0	実績	単位	16年度	17年度	目標 5	F度
源	地 :	 方 債					1	哉実施		, ,,,	, ,,,,		
内	その他	 特定財源	1, 412	1, 123	1, 110	1	件数		件	96	74	_	
訳	 一 般			<u>-</u>									
職	員数	(人)	1.0	1.0	1.0	2							
	事	業の目	的の成果を	測る指標	指標設:	定の	きょう きょうしょう きょうしょう きょう しょう きょう しょう きょう きょう きょう しょう きょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう し	方	単位	16年度	17年度	目標 年	F度
成			鑑識実施件	÷₩ /	科学的な					96	74		
	1		<u> </u>	一刻	火災の原因 災予防を推				件	90	74	_	
果		ſ]	火丁別で1世	、连(ノエ	9 0		目標	目標		
115		l		J						()	()		
指													
標	2	,											
175										目標	目標()		
		(事業開始F	<u></u> 時からの状況	见 亦	化及	7『重業	のみ	/ z盖占 笑	(
7	平成 7	年6月	の消防庁予								推進すること	ととされ	,て
	ます。	,		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			, , , ,	,, ,, , , , ,			,,,		
					市評価							総合評	[個
評	有 3	効 性			芽定する上で	· , ;	科学	的な手	去は	欠かすこと	ができない		
	達	成 度)です。 :後も 火災	&予防の推進	色 の :	ため	効率的:	分離	識事経の宝	施に終めす!	В	
価		率 性		, ix 0 、 /\/	くすがなりは足	ニ マノ ,	, _ w)	<i>/y</i> 』 HJ^	み 単皿	₩₩ 尹 幼刀 Vノ 大	ルピィーイ刀 ペノ み		
Щ			_	行政訓	平価委員会 <i>0</i>)外	部評	価				総合評	陌
(;	この事	業に対	するコメン										
												B	
												ı D	

Į	事 業	名	危険物確認	忍試験				178 予		一般会計 消防費			01 09
3	部	門	災害の防止	<u> </u>				210 費		消防費			01
	施	策		万民を守る体	制の整備			2 目	L	消防総務費	,		01
1	作成	部署	消防局消防	方学校消防研	究室	50	17	14 連絡	各先	736-2201		_	•
事業				を・何を)							こしたいのか		
業の目的		正険物研 ———	望認試験事務					物確認認します。	式験 [:]	事務を適正 	かつ円滑に手	尾施で	きる
#											を確認する記 類に応じた記		
事業の内容	めら 討	れてレ は験は事	ヽます。 耳業所や事業 食方法:落₹	巻者からの申	請に基づき 試験、小ガ	実旗	直し、	その絹	き果る	を示します。			
開	始	年 度	平成 2	年度 根	処法令・要組	岡等	消队	方法、危险	険物	の規制に関	する政令、火	災予防	方条例
事	業費	・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	計	画	名古屋籍	折世紀	紀計画2010第	2次実施計画	無	頁
事業	美費	(千円)	596	772	396		<u> </u>	個別計画					頁
財	国•	県支出金				事	業()実績	単位	16年度	17年度	目標	年度
源		 方 債		-			危険	物確認					
				772	396	1	試験件数	の実施	件	182	85	-	_
		5 財源 5 財源					1十岁	(
т		(人)	1.0	1.0	1.0	2							
			的の成果を		指標設	定の)考え	方	単位	16年度	17年度	目標	年度
成			確認試験の		危険物確	認言	式験(の実施		182	85		
-	1	101771/	甲氏中□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	ノ ヘル 色 1 <i>双</i> 入	により、危 進を図りま			攻の雅	件			_	_
果		[—				, , 0				目標()	目 標 ()		
指										, ,	, ,		
標	2									D 1200			
尓		[—]						目標()	目 標 ()		
				事業開始	時からの状況	兄変	化及	び事業	の改	文善点等			
7	区成:	13年	7月の消防	法改正により)、新たな物	"質	が危	険物にi	追加	されました	0		
					市評価							総合	評価
評	達	効 性成 度	– *	危険物の保 今後も、危限 す。							実施に努め		3
価	効	率 性	3	公二元十三	证据未是合金	D FM	立7 = 11	/ 				纵 △	-≣ ग /∓=
(>		事業)ァー	出土ファン		評価委員会0	ソグト	可給	·1Ш				総合	評価
	_ ∨⊅≒	尹釆に)	似りるユメ、	ントはありる	にせん。)								3

			7	加 事 :			ς			4)作 市 四	子加	尹木
:	事業	名	航空活動関	係事務			179 予		一般会計 消防費			01
	部	門	災害の防止				210 費		消防費			01
	<u>施</u>	策	災害から市	民を守る体	制の整備		2 目		消防活動費			03
	作成		消防局消防	部消防航空	隊	50 1	9 16 連絡	各先	0568-28-01	119		
事			対象(誰を	・何を)						にしたいのか	١)	
事業	舶	空消防				災害				寺性を生かし		速かつ
の目										うに、「いつ		どこで
的						t. E	ごんな任務	にも	対応できる原	態勢」にしま [、]	す。	
	現	有のへ	リコプター	2機が、災	害業務、応	援業務	多及び警覧	方業を	务において、	即応できる	態勢	を維持
事業の内容		た実関任航空に実際	、次の事業 に備え各関 令等に基づ 行に必要な	を行います 係機関との 各種装備かの 整備士及	。 災害対応訓 計画的な点 取得充実と び航空救助	練の 検整 が 習熟 員) 及	ミ施 前の実施 川練の実が ひが航空退	<u>t</u>		句上訓練の実		
開	始	年 度	昭和 48	年度 根拠	処法令・要約	岡等 射	ī空法、消	的抽	抗空隊規程			
事	業費	・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	計画	名古屋第	折世紀	紀計画2010第	2次実施計画	無	頁
事業	Ě	(千円)	101, 318	130, 391	123, 564	1 1					7,	頁
_		県支出金	101,010	100,001	120,001		の実績	単位	16年度	17年度	日擂	18年度
• • •						尹未	の天限	甲世	10千戊	174段	口际	10 牛皮
源		方 債				(1) 総	飛行時間	時間	382	344	4(00
内	その他	b特定財源				•	. > 4 4 1 4			0.11		
訳	一般	段財源	101, 318 3. 8	130, 391	123, 564 3. 8	(7) - \	害出動及 応援活動	時間	176	159	18	30
中以			的の成果を		指標設			単位	16年度	17年度	日堙	18年度
<u> </u>	7	未のロ	山の八人未で	別の旧法	火災等の			平世	10千尺	17千皮	口作	10千皮
成	i	飛行時	間の割合		業務におけ				46	46		
	1				状況により			%			5	0
果		災害	出動及び応援活動		の程度を評	価しる	ます。		目標	目標		
II.a		l	総飛行時間	数					(50)	(50)		
指												
	2											
標		ſ)					目標	目 標		
									()	()		
				事業開始	時からの状え	兄変化	及び事業	の改	Z善点等			
1			当火タンク等									
2			地下火災等									
3	名日	占屋空港	きの国際線化	1と路線の拡	大による個	関数の	増加に伴	う出	発遅延等の	制約		
4	名言	5屋空港	きの県営飛行	「場への移覚	常に伴り制約	可の緩っ	村					
					市評価						総合	許価
■亚	+	사 사	/ ~	こうションナナ			借にトス	瓜行	不能問題の	長期化、及	中心上	і д і Ірц
pT'		効 性								年度に比較		
	達	成 度			パイント向」			/	· /-/4///1011	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		Α
価	効	率 性		·	. , , -		Ü					
Щ	1	,		行政制	平価委員会の	0外部	評価				総合	評価
()	- DE	直業 に き	するコメン			· / I HI	- 1				410, F	. н г јин
	- ッ クラ	r 7<1	,, J - / V	1 14 <i>0</i> 77 7 4	· = 100 /							
1												//

3	事	業 名		耐震事前詞	調整会・審査	会			180	予 算	会計款	一般会計住宅都市費			01
7	部	FF.		災害の防」	Ŀ				210	費		住宅費			02
ţ	施	策		地震や火気	災に強いまち	づくり			3	目	目	設計監理費	,		08
1	作成	部署	-	住宅都市局	司営繕部営繕	全直課	11	01	27	連綿	各先	972-2	989		•
事				対象(誰	を・何を)				意	义	ظ)	ういう状態に	こしたいのか	١)	
業の目的					断・対策調査		り、 が自	診 均確;	断手なも	法 のに	· 診 こな.	断結果を指 るようにし		診園	断結果
事業の内容	識	を有っ	する		で診断結果及 ザーが診断手 す。										
開	始	年	度	平成 8	年度 根	処法令・要約	岡等								
事	業費	・人	員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	ні		名古	屋親	折世紀	记計画2010第	2次実施計画	無	頁
事業	美費	(千F	9)	3, 870	2, 438	2, 580	掲	載	個別	計画					頁
財	国•	県支	出金				事	業0)実	漬	単位	16年度	17年度	目标	票22年度
源	地	- <u></u> 方			-										
内		 他特定			-		(1)	審査	[棟	数	棟	112	137	累計	2100
訳	_	 般 財	 源	3, 870	2, 438	2, 580									
職	員数	人))	0.	1 0.4	0.1	2					(累計1919)	(累計2056)		
	1	事業(り目	的の成果る	を測る指標	指標設	定の	考え	方		単位	16年度	17年度	目標	22年度
成		耐震	診	断・対策調] 查実施率	耐震診断・ 施率が当該						91	98		
果	1	ر	診断	調査実施済根	東数(累積) ヿ	を示してい			土八人			目標	目標		100
		1 1 -		調査の必要								(91)	(93)		
指															
	2														
標	2	ſ.]							目標	目標		
		Į			J							()	()		
					•	時からの状況									D
度が ます	らに i設え が、	は直営 建築物 平成	で実 は、 13	施していま 平成16年 年度に耐震	運営を、平成 1 す。 度までに営繕・ 診断基準が改訂 査を想定してV	学校施設15 「されたことや	6 9	棟及	び市	営住	宅2	24棟のすべ	ての耐震診断	を完了	アしてい
						市評価								総	合評価
評	有		性	4	当該事業は「			震診	断•	対	策調	査の実効性	を担保する		
	達	 成	度	<u> </u>	めに必須のす	もので、耐息									Α
価	効	 率	性	4	上がっている	よ す。									/\
1Ш	793	7	1-	- T	行孙	評価委員会の	フタト:	部証	価					終	合評価
(>	- D	重業	によ	 すスコメ	ントはありる		77T	HIT	іші					JAC.	н н і іш
	_ v /	7 *	, ω <i>Δ</i> '		→ (ΦΟ) 7 c	~ €10 ₀ /									Α

				7万 寻	*	未计训	Щ ;	汞				(4)在 市 印	子仍	尹未
į	事業	名	市設建築物	の企画	· 計	画・調査			181 子	; 会計 [款					
ì	邹	門	災害の防止						210 費	項	-				
7	施	策	地震や火災	に強い	まち	づくり			3	间					
,	作成i	部署	住宅都市局	営繕部常	営繕	企画課	11	01	27 連	絡先	9	72 - 2	972		
事			対象(誰を	・何を	.)				意図	(ど	うし	ハう状態に	こしたいのか	١)	
業の目的	, ,,,		の建設・改 ′算出等の依										を活かして、 な相談対応に		
事業の内容	計所見設市環す	画図等の管理を関係のでは、関係のでは、関係のでは、関係のでは、関係のでは、関係のでは、関係のでは、関係のでは、関係のでは、関係のでは、関係のでは、関係のでは、関係のでは、対象のでは、としいのでは、対象のでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	の作成、工事・たのの作成、工事・チェックを表える。 かいい かいい かい かい かい でいる かい かい でいる かい	費等の見録 おります おります おります おります かっと おります かっと おいます かっと	見積りを基準の基準を	りを行います 下具合の相談 の作成を行い 造計算書・構 物への多様な	。に対き造った。	すし、 ト。 図の 5	て原因のチェック	の究明], : :- ://	適切な修約 ます。	現地調査の 善方法の指導 基準や指針	、業者	
開	始	年 度	昭和	年度	根拟	処法令・要組	岡等								
事	業費	・人員	16年度決算額	17年度決	算額	18年度予算額	н	画	名古屋	新世	紀言	†画2010第	2次実施計画	無	頁
事第	美費	(千円)					掲	載	個別計画	E					頁
財	国•!	県支出金					事	業(の実績	単位		16年度	17年度	目標	18年度
源	地	方債			 			計画 成・	「図作 見積り	件		417	430		- 1 i
		也特定財源 						件数	ζ						
		段 財 源					(2)	相記	炎件数	件		69	84		
職	員数	(人)	12.8	1	2.5	12.8)	ТПН	X11 3X	''		00	0.1		
	事	業の目	的の成果を	測る指標	票	指標設!	定の)考	え方	単位		16年度	17年度	目標	18年度
成		計画図作	試・見積り・	相談件数		計画図作成 り・相談業系						486	514		
果	1	(,,,,,			数を表してい				件	目	標	目標		
^		[—									()	()		
指															
標	2	ſ			,						目	標	目標		
		[—									()	()		
				事業開	月始日	寺からの状え	兄変	化刀	なび事業	集のご	女善	点等	<u> </u>		
Ī		建築物の	つ設計・施工										市の財政が崩	赦しい	状況
													内容が難しく		
てい	いまっ	ナ。													
						市評価								公と	計価
量亚		- 1 12	Λ π <u>υ</u>	中华三十			ر الم	か ^z 由	始胎	107	 /	空日がた	宝祖〕でい	₩ <u>₩</u>	
計	有	効 性				スト縮減な							夫児してい より重要性		_
	達	成 度				おり、的確に									Α
価	効	率 性				大善を推進し						, _П .,			
Щ		, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	• • •	% =	ાત⊦≑	平価委員会の) M :	±r ≘₁	価					松之	と 記しま
/ >		上本)~ に	(上フ·・) ×				ノクト	타하	-1Щ					花石	計評価
(3	_(/) =	事業に対	付するコメン	/トはあ	りま	:せん。)									

	事業	業 名	市設建築物	の設計・施	工監理				予 会計 算 款	一般会計 住宅都市費		01
	部	門	災害の防止							住宅費		02
	<u>ii-</u> 施	 策		<u>.</u> に強いまち	づくり					設計監理費		08
				語営繕課、住宅	•	11	01	道			975, 2	
事			対象(誰を	を・何を)				意図	[(ど	ういう状態	にしたいのか	n)
業の	市記		の施設			所領	ទ 部 គ	 引から	依頼	を受け、環	境配慮などの)社会的
目						=-	ーズし	こ応え	200	、専門的な	技術知識を生	こかし良質
的										価に整備し		
											次の業務を行	「います。
事			7谷につい、・設計業務	ての所管部局	可、関係部制	者と	の調	整、請	 没 計	と準の作成		
業	(2			委託の発注及	なび指導、記	安計	図の	作成、	積貨	1業務		
の内	(3		・監理業務	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			1177	1272	1 714474		
容					監理、工事	現場	易近隊	峰の住	民対	応、工事費(の執行管理	
		共同	監理委託の	発注								
	始	年 度	昭和	年度 根拠	処法令・要約	岡等						
				17年度決算額				名古居	多新世	紀計画2010第	2次実施計画	無 頁
_		(千円)	2, 205			1	Ξ.	個別計		10H1 M=0.00		頁
	1	県支出金	_,	2, 020	-,			実績		16年度	17年度	目標18年度
		方債				7				10-12	17-12	口际10十次
		・フェート ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				1	工事の契約	及び委詞 的件数	件	348	354	
							,					
713	I — 1	般 財 源				(2)	一事 :	till A #	酒 千田	14, 679, 635	15, 738, 642	
			C2 0	ΓΟ Ο	Γ0. 0		上尹)	又四金額	以 111	14, 013, 033	15, 756, 042	
	員数	(人)	63.0 竹の	59.0	53.0							口捶10左车
職	員数	(人)	63.0 的の成果を		指標設	 定の	 考え	方.	単位		17年度	目標18年度
	員数	(人) 事業の目		測る指標	指標設 職員1人あ7	。 定の たり	考え のエ	方 事及	単位			目標18年度
成	員数	(人) 事業の目 職員1人	的の成果を あたりの工事	測る指標 事·委託件数	指標設	定の たり は は は は は は は は は は は は は は は は は は)考え の工 数を打	方 事及	単位	16年度 5. 52	17年度 6.00	目標18年度
職	員数	(人) 事業の目 職員1人	的の成果を あたりの工事 事件数+委	測る指標 事·委託件数	指標設 職員1人ある び委託契約	定の たり は は は は は は は は は は は は は は は は は は)考え の工 数を打	方 事及	単位	16年度 5.52 ^{目 標}	17年度 6.00 ^{目 標}	目標18年度
成果	員数	(人) 事業の目 職員1人	的の成果を あたりの工事	測る指標 事·委託件数	指標設 職員1人ある び委託契約	定の たり は は は は は は は は は は は は は は は は は は)考え の工 数を打	方 事及	単位	16年度 5.52 ^{目 標}	17年度 6.00	目標18年度
成	員数	(人) 事業の目 職員1人	的の成果を あたりの工事 事件数+委	測る指標 事·委託件数	指標設 職員1人ある び委託契約	定の たり は は は は は は は は は は は は は は は は は は)考え の工 数を打	方 事及	単位	16年度 5.52 ^{目 標}	17年度 6.00 ^{目 標}	目標18年度
成果指	員数	(人) 事業の目 職員1人	的の成果を あたりの工事 事件数+委	測る指標 事·委託件数	指標設 職員1人ある び委託契約	定の たり は は は は は は は は は は は は は は は は は は)考え の工 数を打	方 事及	単位	16年度 5.52 ^{目 標} ()	17年度 6.00 目標 ()	目標18年度
成果	員数	(人) 事業の目 職員1人	的の成果を あたりの工事 事件数+委	測る指標 事·委託件数	指標設 職員1人ある び委託契約	定の たり は は は は は は は は は は は は は は は は は は)考え の工 数を打	方 事及	単位	16年度 5.52 ^{目 標}	17年度 6.00 ^{目 標}	目標18年度
成果指	員数	(人) 事業の目 職員1人	的の成果を あたりの工事 事件数+委	測る指標 事·委託件数 託件数]	指標設 職員1人あ7 び委託契約 して設定し	定の たり け件数 まし	 のまえ の工 数を打 した。	方 事及 旨標と	华	16年度 5.52 目標 ()	17年度 6.00 目標 ()	目標18年度
	員数 ① ②	(人) 業の目 職員1人 【	的の成果を あたりの工事 事件数+委 職員数	測る指標 事・委託件数 託件数] 事業開始	指標設 職員1人あっ び委託契約 して設定し	定の たり件数 に の の の の の の の の の の の の の の の の の の	 考え の工 対を打 ンた。	-方 事及 旨標 と	単位件	16年度 5.52 目標 () 財務	17年度 6.00 目標 ()	
職 成果指標 応	員数	(人) 業の目 職員1人 工 り り で安	的の成果を あたりの工事 事件数+委 職員数	測る指標 事・委託件数 託件数 事業開始に 市設建築物に	指標設 職員1人あ7 び委託契約 して設定し 時からの状 こついて福祉	定の り件まり で で 境 環 環 環 環 環 環 環 環 環 環 環 環 環 環 環 環 環)考え のをすった。 化 整備	方 事及 旨標 と	業ので	16年度 5.52 目標 () 日標 () 女善点等 配慮、耐震效	17年度 6.00 目標 ()	ケニーズへ対
職成果指標応じ	員数	(人) 業の目 職員1人 工 り対で安け。	的の成果を あたりの工事 事件数+委 職員数 沈沢のなか、 全な施設整備	測る指標 事・委託件数 託件数 計件数 事業開始 市設建築物に 前を行うとと	指標設 職員1人あっ び委託契約 して設定し もこ、既存が もに、既存が	定の りました。	 大大 1 1 1 1 1 1 1 1 1	方 事及 も標 と り いック	業ので境で	16年度 5.52 目標 () 女善点等 配慮、耐震ダ	17年度 6.00 目標 () 対策等の社会的 推進すること	カニーズへ対 が求められ
職 成 果 指 標 応で	員数 (1) (2) 厳たま善 	(人) 業の目 職員1人 「 い財政状 とす。 いでは平	的の成果を あたりの工事 事件数+委 職員数 沈沢のなか、 全な施設整備	測る指標 事・委託件数 託件数 計件数 事業開始に 市設建築物に 指を行うとと で、営繕業務	指標設 職員1人あっ び委託契約 して設定し もこ、既存が もに、既存が	定の りました。	 大大 1 1 1 1 1 1 1 1 1	方 事及 も標 と り いック	業ので境で	16年度 5.52 目標 () 女善点等 配慮、耐震ダ	17年度 6.00 目標 () ()	カニーズへ対 が求められ
職 成 果 指 標 応で	員数 (1) (2) 厳たま善 	(人) 業の目 職員1人 「 い財政状 とす。 いでは平	的の成果を あたりの工事 事件数+委 職員数 院況のなか、 全な施設整備 成16~17年度	測る指標 事・委託件数 託件数 計件数 事業開始に 市設建築物に 指を行うとと で、営繕業務	指標設 職員1人あっ び委託契約 して設定し もこ、既存が もに、既存が	定 の た件ま 況 環設 い、	 大大 1 1 1 1 1 1 1 1 1	方 事及 も標 と り いック	業ので境で	16年度 5.52 目標 () 女善点等 配慮、耐震ダ	17年度 6.00 目標 () 対策等の社会的 推進すること	カニーズへ対 が求められ
職 成 果 指 標 応で	員数 (1) (2) 厳たま繕めに 対される 	(人) 業の目 職員1 い関では は では では では では では では でも でも でも でも でも でも でも でも でも でも	的の成果を あたりの工事 事件数+委 職員数 沈沢のなか、 全な施設整備 成16~17年度 更を行いまし	測る指標 事・委託件数 託件数 ・委託件数 ・要託件数 事業開始に 市設建うとと で、営繕業務 で、営繕業務 で、営繕業務	指標設 職員1人数が して設定し 時からの状 ついて、既存が もに、直し で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	定の り数し 況 環設 い に で 変 境の い に 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変	(化整 の 平 いて)	方 事標 と び事 地ク 年 上め	単位 件 業 ので境へ がかか	16年度 5.52 F 標 () F 標 () F 禁 が で、 で、 で で で で で で で で で で で で で で か で で で で	17年度 6.00 目標 () 対策等の社会的 推進すること 務執行と新た 震性・安全性	ウニーズへ対 が求められ な課題推進
_ 職 成 果 指 標	員数 事 ① ② 厳たま繕め 有	(人) 業の目 職員1 以東京ので組織 対質。で組織 対数安・平変	的の成果を あたりの工事 事件数+委 職員数 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	測る指標 事・委託件数 託件数 ・委託件数 事業開始に 市設するとと で、対象を で、が、対象を で、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が	指標設 職員1人契し して設定し 時からの状 ついて既し もの見直しを行 からでしていまする である である である である である である である である である であ	定の り巻し 況 環設 い に () に で () で () で () で () で () で () で	 人 	方 事標 び、、 対18年 上層 め高	単位 件 業 ので境へ がまった	16年度 5.52 F 標 () F 標 () F 禁 が で、引き	17年度 6.00 目標 () 対策等の社会的 推進すること 務執行と新た 震性良質な施	ウニーズへ対 が求められ な課題推進 総合評価
職 成 果 指 標 応でか 評	員数	(人) 業の目 職員1人工 い関すのでは織 効成 を 対度。で組織 対度。で組織 対度。で組織 対度。で組織	的の成果を あたりの工事 事件数十番員数 沈況の施設を 成16~17ましまさん な設と な設と	測る指標 事・委託件数 事・委託件数 事業開始に 市をでは、 本に対して、 本に対して、 本に対して、 本に対して、 本に対して、 でにするとと、 を、のでにする。 でにすると、 でにする。	指標設 職員1人契定 しているののででであると ものででであると は、方面では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	定の り巻し 宏 境の いにに工に 変 境の いっこ ここ で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1	 	方 事標 び 、、 対18 止層見。 か高直今	単位 件 変形で 度 がます後	16年度 5.52 F 標 () F 点標 () F 点等 E があるなまりので、引いているいまりのではよりのではよりのではない。 これによりのではない これによりのではない これによりのではない できるいまりのではない できるいき いっこう できるい これにより できる はいまり できる はいまし はいまし はいまし はいまし はいまし はいまし はいまし はいまし	17年度 6.00 目標 () 対策等の社会的 推進すること 務執行と新た 震性・安全性	ウニーズへ対 が求められ な課題推進
_ 職 成 果 指 標	員数 事 ① ② 厳たま繕め 有	(人) 業の目 職員1 以東京ので組織 対質。で組織 対数安・平変	的の成果を あたりの工事 事件数十番員数 沈況の施設を 成16~17ましまさん な設と な設と	測る指標 事・委託件数 事・禁開始に 事を対 事を対 事を対 事を対 事を対 事を対 事を対 事を対	指標設 職員1人契定 一時からの 一つに もの ものでで で もので は対して で もので で は対して で で で で に るっすと 向を で に の に の に の に り に り に り に り に り に り に り	定のの た。件ま ので ので ので ので ので ので ので ので ので ので	 大 	方あすびいはをとが事はととよよとととよととととよととととよととととよとととよとととよとととよとととよとととよとととよとととよとととよとととよとととよとととよとととよととととよとととととよとととととととよとと	単位 件 変形で 度 がます後	16年度 5.52 F 標 () F 点標 () F 点等 E があるなまりので、引いているいまりのではよりのではよりのではない。 これによりのではない これによりのではない これによりのではない できるいまりのではない できるいき いっこう できるい これにより できる はいまり できる はいまし はいまし はいまし はいまし はいまし はいまし はいまし はいまし	17年度 6.00 目標 () 目標 () 対策等の社会と 推進するる新た 接性きマネション	カニーズへ対 が求められ な課題推進 総合評価 B
職 成 果 指 標 応でか 評	員数	(人) 業の目 職員1人工 い関すのでは織 効成 を 対度。で組織 対度。で組織 対度。で組織 対度。で組織	的の成果を あたりの工事 事件数十番員数 沈況の施設を 成16~17ましまさん な設と な設と	測る指標 事・委託件数 事・禁開始に 事を対 事を対 事を対 事を対 事を対 事を対 事を対 事を対	指標設 職員1人契定 しているののででであると ものででであると は、方面では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	定のの た。件ま ので ので ので ので ので ので ので ので ので ので	 大 	方あすびいはをたがよりよよよ <t< th=""><th>単位 件 変形で 度 がます後</th><th>16年度 5.52 F 標 () F 点標 () F 点等 E があるなまりので、引いているいまりのではよりのではよりのではない。 これによりのではない これによりのではない これによりのではない できるいまりのではない できるいき いっこう できるい これにより できる はいまり できる はいまし はいまし はいまし はいまし はいまし はいまし はいまし はいまし</th><th>17年度 6.00 目標 () 目標 () 対策等の社会と 推進するる新た 接性きマネション</th><th>ウニーズへ対 が求められ な課題推進 総合評価</th></t<>	単位 件 変形で 度 がます後	16年度 5.52 F 標 () F 点標 () F 点等 E があるなまりので、引いているいまりのではよりのではよりのではない。 これによりのではない これによりのではない これによりのではない できるいまりのではない できるいき いっこう できるい これにより できる はいまり できる はいまし はいまし はいまし はいまし はいまし はいまし はいまし はいまし	17年度 6.00 目標 () 目標 () 対策等の社会と 推進するる新た 接性きマネション	ウニーズへ対 が求められ な課題推進 総合評価
職 成 果 指 標 応て の 評 価 F	員 ① ② 厳たま繕め 有達効 員	(人) 業 職 (人) 業 の目 (人) 以表すの 財質。で組 効成率 以対安 平変 性度性 る	的の成果を あたりの工事 あたりの工事 事件数目数 次況の施設の施設の施設の施設の方式 は16~17年ましています な設ン計を 1接執行業務	測る指標 事・委・共和	指標設 職びし 特別でした。 おおさりでは、 おかい、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	定 た 件 ま	 	方 事標 び 、、 対 ・ 性層見。あ ・ し ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ も ・ も ・ も ・ も ・ も ・ も ・ も ・ も ・ も ・ も	単位 件 変 で で がます後ま *** *** *** *** *** *** *** *** *** *	16年度 5.52 F 標 () F 点標 () F 点等 E があるなまりので、引いているいまりのではよりのではよりのではない。 これによりのではない これによりのではない これによりのではない できる はいまり できる はいまり でんしょく かいしょく はいしょく かいしょく はいしょく かいしょく はいしょく はい	17年度 6.00 目 (り 大策 か 大き か 大き 大	カニーズへ対 が求められ な課題推進 総合評価 B

			-3-	. <u></u> .	/ \	щ	>1 <				小小工 112 H 2	T-101 T- 2/
-	事業	名	市設建築物は 気設備の設		战・給排水等 里(相談)	及ひ	電	183 予	会計款			
ì	部	門	災害の防止	·				210 費	項			
7	施	策	地震や火災	に強いまち	っづくり			3 目	項目			
•	作成音	『署	住宅都市局]営繕部設備	i 課			連		972 - 2	2996	Į.
事			対象(誰る	を・何を)							にしたいのだ	
業	市設	建築物	の機械設備	及び電気説	设備						などの社会的ニー	
စ						つ、す。	导門	的な技術を	は誠 を	(生かし、艮質	で安全な施設を	女価に登佣しま
目的										生工事や施設の コスト縮減を	光熱水費の削減の 目指します。	の相談を受け、
			の機械及び電			司か	ら依	頼をうじ	ナてど	欠の業務を行	います。	
			内容について 、監理業務	.の原向との								
事	(2)		、血性末況 計委託の発注	三、設計指導	及び検収							
業		· I	事発注、工事			工	事費	の執行管	9理、	新増築等の	工事監理	
の内	(3)	委託	業務 レビ障害調査	: 連卦回の	化出 北俊 -	上車/	空 の	丁東欧耳	H - 	<u>.</u>		
容	(4)		レロ障音調質 建築物の機械								或額: 5,000 ⁻	千円)
											或額: 2,956	
開	始。	年 度	昭和	年度 根据	処法令・要約	綱等						
事	業費・	人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	計	画	名古屋	新世紀	紀計画2010第	2次実施計画	無 頁
事第	養費(千円)					載	個別計画				頁
財	国・県	支出金				車	業(の実績	単位	16年度	17年度	目標18年度
		`` 方				7	T T			10 172	17 172	口以一人
						1	工事の契	及び委託 約件数	件	474	374	
		特定財源										
		財源				②	工事	支出金額	千円	5, 810, 969	7, 145, 296	
戦	員数		29. 0	28. 0					1 4	405-	476-4	
	事	業の目	的の成果を	測る指標	指標設				単位	16年度	17年度	目標18年度
成	耶	裁員1人	当たりの工事	• 委託件数	職員1人当委託契約件					16. 3	13. 4	
l	1				設定しまし		1 H.M		件			
果		$\begin{bmatrix} -1 \end{bmatrix}$	事件数+委							目標	目標	
11-		l	職員数	J						()	()	
指												
1==	2											
標		ſ]						目標	目標	
		l		J						()	()	
					時からの状況							
											社会的ニーズに 求められている	
											大幅な人員削減	
率化	どを図る	るため、	17年度まで	ごの機械設備記	果及び電気設備	備課 (の業績	務を統合	し、	設備課を設立	しました。	
					市評価							総合評価
評	有	効 性			かった工事量に	つい						72172117
	· ·		に対		覚配慮に対する り導入など公共							٨
	· — ·	哎 度	実施	においても難易	易度が高まって	おりこ	ます。	このよう	な状	況をふまえ、業		Α
価	効	率 性	4 改善	等の検討を行い 	いながらの事業	逐行/	が必要	要であると 	考え	ます。 		
				行政記	平価委員会の	の外	部部	平価				総合評価
			直接執行業務									
			ります。また				1 —	エンジ	ニア	リング)活	動を通し	В
て、	工事	支出会	金の縮減を国	凶ることがえ	求められま	す。						טן

		事 務 事 業 評 1	曲				(4) 経常的	り事務事業
Pil	事 業 名	河川水路管理		184	算		一般会計 緑政土木費	01
7	部 門	災害の防止		210		項	治水費	04
ţ	施 策	大雨に強いまちづくり		4	目	目	治水総務費	01
1	作成部署	緑政土木局河川部河川計画課	12 01	13	連絲	各先	972 - 2882	
事業の目的	水路等	対象(誰を・何を)		の現 適正	況をに保	:明 R全	ういう状態にしたいの らかにすることにより 管理し、併せて、市民 。	、公の財産
事業の内容	てデジタル ②河川水路	補正 した水路の水路台帳管理図及び水 データ化を図ります。 境界明示測量 接する土地所有者の申請に基づい						

開	始	年 度	昭和	年度	根抄	処法令・要組	岡等	水路	各台帳整	備領	管理要綱			
事	業費	・人員	16年度決算額	17年度決算	額	18年度予算額		画	名古屋新	折世紀	记計画2010第	2次実施計画	無	頁
事業	養	(千円)	67, 591	66, 7	17	59, 843	捤	載	個別計画					頁
財	国・	県支出金			_		哥	業(の実績	単位	16年度	17年度	目標	票18年度
源	地	方 債					(1)		各台帳	km	18	40		30
内	その	他特定財源					\odot	補工	E延長	KIII	10	40		30
訳	— _f	般 財 源	67, 591	66, 7	17	59, 843	2		界明示	件	110	180		180
職	員数	(人)	2.6	2	. 9	2.9	L	処理	里件数	11	110	100		100
	事	事業の目	的の成果を	測る指標		指標設	定の)考え	え方	単位	16年度	17年度	目標	票18年度
成		水路の・	台帳整備率			前年度の水 施工等によ					100	66		
H	1			r =		悪上せによ 要となった				%				100
果			台帳補正延 E延長(前年度改			台帳に反映	さ	せた	割合		目標()	目標		
指					<u>ا</u>	当年度に受	什儿	ナた	申請件		()			
10		法定外	公共物境界	坍示処理:		数に対し、	前年	干度	の未処		80	105		
標	2	(自	年間処理件)	理分を含む	当年	 手度	処理件	%	目標	目標		100
			6該年度受付			数の割合					()	()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

水路台帳のデジタル化については、敷地調査図をはじめいくつもの画面に即座に切り替えることが可能なため、市民等からの様々な問い合わせに、より迅速に対応することが可能となっています。

					市評価	総合評価
評	有	効	性	4	当該業務は行政財産である水路を適正に保全し管理していくうえで不可欠なものであり、本市においては、水路台帳整備管理要綱によりその調製・	
	達	成	度	4	保管が義務付けられている。当該業務については外部委託することにより	Α
価	効	率	性	4	受託者の専門性を活用し、効率化・コスト削減を進めました。	
					行政評価委員会の外部評価	総合評価
泪	則量	と台	帳補	正の対	1率化に努めてください。	
						В

4経常的事務事業

											<u>-</u>			
1	事業	美 名	ポンプ所維	持			18	5 子		-1-	一般会計	,		$\frac{01}{07}$
3	部	門	災害の防止	•			21				录政土木費 含水費			$\frac{07}{04}$
	" 施	 策		<u>.</u> \まちづくり)		4				a水質 a水総務費	, 		$\frac{1}{0}$
		<u></u> 部署		<u> </u>		12						72-28	9 5	[0]
事業			対象(誰る					意図				こしたいのか		
	糸	最政土 オ	木局所管の市		ポンプ所	遁	通切な	維持		-		により、確認		雨水を
の目	等0)施設				排力	くしま	す。						
的														
			木局では、雨											
	進入	υでいん ᢞ+⊬=πク	る東南部丘陵	地の雨水排	水を主に受	とけれ	手ち、汗	浸水	対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	上	、重要な	役割を果た	してし	ハるポ
事			等を現在50か 非水機場の運											
業の			非水を行って											
内			旦を実施して						, ,			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	_	
容	,, ,		Lista											
			への支出 しをよるませ	- 凯古光山	ばっ 田田	/ = =	- 111 1 11 -	- \ - +∀K	« ↓ E	THT	中光光中	A 01 00C	207	π\
	只	1凹伝	人名古屋市建	設 争来り ー	- E 人則凹		1/11 9 F/	小饿	36分官	(争耒佣助	金 81,830,	387	寸)
開	始	年 度	昭和		処法令・要約									
事	業費	・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	н		古屋	新世	紀記	計画2010第	2次実施計画	有	頁
事業	美費	(千円)	307, 240	388, 052	423, 891	掲	載 個別	別計画	画					頁
財	国•	県支出会	È			事	業の多	€績	単位	Z	16年度	17年度	目標	[18年度
源	地	方	 5				AA 111. 1	-			a. .			
内	その	 也特定財》	京 70,086	67, 248	81, 324	(1)	総排力	全	手n	n³	64, 532	44, 204	_	
		 投 財 派							-					
		(人)	65. 1	65. 1	65. 1	2								
7150			的の成果を		指標設	定の	老えず	-	単位	7	16年度	17年度	日桓	[18年度
成	7	· // U/ L	1 1 JUJ / 2 A C	אוםוטוא	効果的な設				+12		10-12	17-12	ПМ	(10-1)
,,,		ポンフ	で設備の故障	発生率	備・定期点				ξ .		7/139	10/139		
果	1	ſ	重故障発生		施して、故						標	目標	0	/138
			ポンプ設置	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	極力減少さ		うこと	を指	i		0/139)			
指		· ·	か ノ ノ 以 恒	口	標とします	0				(0/139)	(0/139)		
+===	2	C									標	目標		
標														
		l		事業開始!	<u>l</u> 時からの状え	口亦.	(P 75 7)	重	坐 のi	⊥ ਪਨ੩ੇ) 套占空	(
F	古ば	につい	ては、田畑の									北機能の茎	1.1/	低下を
			出水などに。									(/)(I)X(I)L(/)/E	UV	PEN I C
Ŧ	見在	まで、	所管するポン	/プ施設は5	曽加しており	りまっ	すが、	遠フ	け 監礼	見制	削御設備の	設置等によ	り、	管理水
準を	と維持	恃しつ	つ増員を抑制	削し効率的な	な維持管理体	本制	をとっ	てV	ハまっ	す。				
					市評価								総·	合評価
評	有	効 性	<u> </u>	事業は、大雨	可という自然災		対して	迅速	かつ	確実	ここ 雨水排水	くを行い、市	4402	ш и і іш
"			4 民の	方々の生命と	財産を守ると	いう	重要な	使命	を伴	うも	っのでありま	ミす。この使		Ь
	達	成度	学 带		一層効率的に 見及び適切で維									В
価	効	率 性	E 3	ıvm r+'IIŊ∨ノ 大 グ		エルソレロン	・よが良く	正畑	1 G 1 1	<i>ر</i>	、11 、心女//	· Wノソ み ソ o		
				行政語	平価委員会(の外も	邹評価						総	合評価

ポンプの操作についての外部委託の検討が必要です。

	事	業 名	排水路維持	<u> </u>			186			一般会計 緑政土木費			01
	部	門	災害の防止				210	費」		治水費	`		04
	施	策	大雨に強い	まちづくり			4	目盲	▋	治水総務費			01
•	作成	部署	緑政土木局	河川部河川	工務課	12					72 - 28		
事			対象(誰る								にしたいのカ		
業の目的	Ä	緑政土木	:局所管の排	水路及びた	め池	ます		境保全	全村	幾能を充分	に発揮できる	るよ	うにし
事業の内容	る <u>i</u> 等i	重要な役において	割を踏まえも迅速に対	、洪水調整 応できるよ	能力の維持 う維持管理	を図を行	ること	を目的	勺に		いて、その治どを行い、加		
開	始	年 度	昭和		処法令・要約								
		・人員			18年度予算額	100	∓ —		世糸	2010第	2次実施計画	無	頁
		(千円)	166, 760	159, 444	155, 510								頁
財	国•	・県支出金				事	業の実績	績 単	位	16年度	17年度	目標	票18年度
源	地	方 債				1	浚せつ	₽ ₽ m	13	2, 762	4, 697	2	, 800
内	その	他特定財源					校ピッ		10	2, 102	4,031	۷	, 000
訳	_	般財源	166, 760	159, 444	155, 510	2							
	0	L / L \				(∠)							
職	貝数	女(人)	4.0	4. 0	4.0	O							
職			4.0 的の成果を		4.0 指標設		考え方	単	位	16年度	17年度	目核	票18年度
成	=	事業の目 浚せつ			指標設 自然堆積し せつ量を目	定の た排	*水路の	浚 り		16年度 2,762	17年度 4, 697		
		事業の目 浚せつ	的の成果を		指標設 自然堆積し	定の た排	*水路の	浚 り	13	2,762	4,697 目標		票18年度 , 800
成	=	事業の目 浚せつ	的の成果を		指標設 自然堆積し せつ量を目	定の た排	*水路の	浚 り	13	2,762	4, 697		
成果指	1	事業 の 目 浚せつ:	的の成果を		指標設 自然堆積し せつ量を目	定の た排	*水路の	浚 り	13	2,762 目標 (2,800)	4,697 目標 (2,800)		
成果	=	事業 の 目 浚せつ:	的の成果を		指標設 自然堆積し せつ量を目	定の た排	*水路の	浚 り	13	2,762	4,697 目標		
成果指	1	事業 の 目 浚せつ:	的の成果を	測る指標]	指標設 自然堆積し せつ量を目	定の た排標と	⊧水路 の ∶してお	浚 り m	13	2,762 目標 (2,800) 目標 ()	4,697 目標 (2,800)		
成果指標	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	事業 の 目 浚せつ: [的の成果を 量 (m3) 二制定された ご維持管理に	測る指標	指標設 自然堆積し きなす。 時からの状 整備管理要	定の た標と 没郷 (変)	作水路の た た た た た た た た た だ だ だ だ で だ う に う に う に う に う に う に う に う に う に う	渡り m 事 業の が 路対 に 路対	n3 排涉 線 排漆	2,762 ^{■ 標} (2,800) ^{■ 標} (** (** ** ** ** ** ** *	4,697 ^{目標} (2,800) ^{目標} () 池などの各 ⁵ 増加が見込	2	,800
成果指標	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	事業 の 目 浚せつ: [的の成果を 量 (m3) 二制定された ご維持管理に	測る指標	指標設 自然堆積し せます。 時からの状 悪整ります。	定の た標と 没郷 (変)	作水路の た た た た た た た た た だ だ だ だ で だ う に う に う に う に う に う に う に う に う に う	渡り m 事 業の が 路対 に 路対	n3 排涉 線 排漆	2,762 ^{■ 標} (2,800) ^{■ 標} (** (** ** ** ** ** ** *	4,697 ^{目標} (2,800) ^{目標} () 池などの各 ⁵ 増加が見込	2	,800
成果指標一維	1 2 和浚務	事業 の 目 浚せつ: [的の成果を 量(m3) 二制定された ご維持管理に こおいては、	測る指標	指標設 自然です。 時からの状 長整に見 で で で で で の で で の で で の で で の で で の で で の で で の で で の で で の で の で で の の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	 定の 次 標	化及び (化 及び に、とに に、とに よい。	事業の 素 素 ま 数 経 り	13 排線 排線 費	2,762 I 標 (2,800) I 標 (** (** (** (** ** ** **	4,697 ^{目標} (2,800) ^{目標} () 池などの各 増加がます。	2 種施 まれ	,800
成果指標一維	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	事業 の 目 浚せつ: [的の成果を 量(m3) 二制定された ご維持管理に こおいては、	測る指標 事業開始で 二、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	指標設 自然です。 時か ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	 定の た標 没 綱毎う には、	 化及び 下と 下と 上と 上 上	変り 事 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 対経 ・ 環境	13 は	2,762 ^{目標} (2,800) ^{目標} (** (** ** ** ** ** ** *	4,697 I 標 (2,800) I 標 (2,800) National Manual Manu	2 種施 まれ	,800 設の修 ます。
成果指標一維	1 2 和浚務	事業 の 目 浚せつ: [的の成果を 量(m3) 二制定された ご維持管理に こおいては、	測る指標 事業開始に ・ ・ ・ ・ ・ が ・ が ・ が ・ が ・ が に ・ が の の が が が の の が が が が が が が が が が が が が	指標設 自せま 然つす。 のででまし を いるでする ででする ででする ででする ででする ででする ででする でです	定の 排と 没 綱毎う は施が 変 川年こ	化 及び 水 と ・ 次 要 が で が よ か 要 で か よ か 要 で か よ か 要 で か よ か 要 で か よ か 要 で か よ か 要 で か よ か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま	渡り 事業 き路り 環も 境の	13 一 保で	2,762 ^{■ 標} (2,800) ^{■ 標} (** ** ** ** ** ** ** **	4,697 I 標 (2,800) I 標 (2,800) Name of the control of the co	2 種施 まれ	,800 設の修 ます。
成果指標	1 2 和浚務 有	事業の目 浚せつ: [] 5 2 年に させの発注に 効 性	的の成果を 量(m3) 二制定されたり維持管は、 4 いき 4 いき	測る指標 事業開始に ・ ・ ・ ・ ・ が ・ が ・ が ・ が ・ が に ・ が の の が が が の の が が が が が が が が が が が が が	指標設 自せま 然つす。 か ら が が が が が が が が が が	定の 排と 没 綱毎う は施が 変 川年こ	化 及び 水 と ・ 次 要 が で が よ か 要 で か よ か 要 で か よ か 要 で か よ か 要 で か よ か 要 で か よ か 要 で か よ か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま	渡り 事業 き路り 環も 境の	13 一 保で	2,762 ^{■ 標} (2,800) ^{■ 標} (** ** ** ** ** ** ** **	4,697 I 標 (2,800) I 標 (2,800) National Manual Manu	2 種施 まれ	,800 設の修 ます。 合評価
成果指標一維	1 ① ② 和浚務 有達	事業の目 浚せつ: [的の成果を 量(m3) 二制定されたり維持管は、 4 いき 4 いき	測る指標 事業開始に 式の発達 事業の 事業の がの が <th>指標設 自せま 然つす。 か ら が が が が が が が が が が</th> <th>定た標 没 網毎う に に に に に に に に に に に が よ か に に に か じ か に に か じ か に か じ か に か に か</th> <th>化 及び 水 と 水 と 水 と 水 要 の 水 要 の 水 要 の</th> <th>渡り 事業き路り 環も 境の</th> <th>13 一 保で</th> <th>2,762 ^{■ 標} (2,800) ^{■ 標} (** ** ** ** ** ** ** **</th> <th>4,697 I 標 (2,800) I 標 (2,800) Name of the control of the co</th> <th>2 種施 まれ</th> <th>ショックを ショった ショックを ショックを ショックを ショックを ショックを ショックを ショックを ショッと ショった ショった ショった ショった ショった ショった ショった ショった</th>	指標設 自せま 然つす。 か ら が が が が が が が が が が	定た標 没 網毎う に に に に に に に に に に に が よ か に に に か じ か に に か じ か に か じ か に か に か	化 及び 水 と 水 と 水 と 水 要 の 水 要 の 水 要 の	渡り 事業 き路り 環も 境の	13 一 保で	2,762 ^{■ 標} (2,800) ^{■ 標} (** ** ** ** ** ** ** **	4,697 I 標 (2,800) I 標 (2,800) Name of the control of the co	2 種施 まれ	ショックを ショった ショックを ショックを ショックを ショックを ショックを ショックを ショックを ショッと ショった ショった ショった ショった ショった ショった ショった ショった
成果指標一絲	1 1 2 和浚務 有達効	事業の目 浚 [的の成果を 量(m3) 二制定されたり維持管は、 4 いき 4 いき	測る指標	指標 情報 情報 情報 情報 情報 情報 おい はい はい はい はい はい はい はい はい はい は	定た標 没 網毎う に に に に に に に に に に に が よ か に に に か じ か に に か じ か に か じ か に か に か	化 な び が が が が が が が が が が が が が が が が が が	渡り 事業 き路り 環も 境の	13 一 保で	2,762 ^{■ 標} (2,800) ^{■ 標} (** ** ** ** ** ** ** **	4,697 I 標 (2,800) I 標 (2,800) Name of the control of the co	2 種施 まれ	,800 設の修 ます。 合評価